京城日報
夕刊　十二月六日（金）
印刷人 編輯人 發行人
京城府太平通一丁目 京城日報社

漸く下火と思つた 疑獄事件また擴大か
降旗元太郎氏の收容で 政府與黨俄かに狼狽

【東京電話】越後鐵道事件の擴大により五日突如收容された元鐵道政務次官降旗元太郎氏は長野縣選出代議士で目下收容中の小川前鐵相と共に長野縣出の政界巨頭である、然もその二人とも鐵道疑獄のためたゝられたことは不思議の因緣といふべきである。降旗氏は仙石貢氏の鐵相の下に鐵道政務次官であつたが井上子が鐵相となつた爲め政務次官には佐竹三吾氏が入り降旗氏は海軍に廻つたが、越鐵事件は佐竹氏が次官就任前の降旗氏が鐵道政務次官の時に同次官に對し盛んに請解運動を試みたらしく、この事が目下收容中の佐竹氏がべらく自白し茲に電光石火的に降旗氏の收容となつたものである。この結果元鐵道次官もまたその身邊の危險迫つたといはれ、小橋文相の疑惑晴れざる前に降旗元次官の收容となり、政府與黨は狼狽し本日の閣議でもこの處置を研究するものと見られその成行きが憂慮してゐる

閣議に先ち 首相等凝議
降旗氏の收容に就て

【東京電話】民政黨の降旗氏が收容されたにつき六日午前十時閣議に先だち濱口、安達、松田、渡邊各大臣は山崎次官等は善後處置につき重要協議をなした

形勢急轉に 政友氣勢を擧ぐ

【東京電話】越後鐵道事件は益々擴大し遂に降旗元鐵道次官の收容をみたが、政友會ではこの形勢は當然であるのみならず與黨內への飛火は更に擴大し現閣僚よりも或は一名の犧牲者を出すものと確信してゐる。即ち越後鐵道の久須美氏のばら撒いた百五十萬圓は政民各派幹部のすべてに關係を有し、その手先きとなり活動した佐竹勅選は檢事局の取調べに對し事情の細大を自白してゐるから第二の小橋前文相が出るは免れぬところであり、この十日より十五日迄の間にはきつと形勢急轉を告げるものと期待してゐる、而して過般の閣議で小橋前文相の辭職を容認するに際し、宇垣陸相は「小橋文相の辭職で閣僚が責任を負はぬことは容認するも今後第二の小橋を出した時は自分は考慮せねばならぬ」と豫め釘を打つた事實あり、若し第二の小橋を出せば內閣は瓦解すること間違ひなしと政友會では大いに氣勢を擧げてゐる

簡保契約高 十九億圓突破

【東京電話】簡易生命保險十一月中契約高は三千二百萬圓で總額十九億圓を突破した

航海初ての 月明の夜
兩全權以下元氣で シ博士と軍縮意見換交

【サイベリア丸五日無電國際】五日夜は航海初めての月明の夜で、午後八時船はエスキモウの住むアリウシアン列島から百八十浬の南にある。橫濱から一千八百五十浬未だ航程の半に達しない。若槻、財部兩全權以下一同元氣で若槻全權は午後船室にショットウエル博士をお茶に招き軍縮問題などについても意見を交換し、更に晩餐には博士夫妻と食卓を共にし若槻氏自らも時々英語にて話し寸劇を紹介したりなどした

七割主張は合理的

【サイベリア丸五日發無電】若槻全權はショットウエル博士との會見で不脅威不侵略と軍縮問題に論及し我七割主張がアメリカに脅威とならずたゞ合理的自己防衛の最低限度なることを力說した

フ大統領の 日本全權歡迎
午餐會を開く

【ワシントン五日發電】ロンドン會議日本全權は十六日當地着の豫定であるが、フーヴァー大統領は十八日又は十九日中にホワイトハウスで若槻、財部兩全權歡迎午餐會を開くはず

聯盟理事會 開會を延期

【ゼネヴァ五日發電】國際聯盟理事會は五國軍縮會議に先だち佛、伊兩外相がゼネヴァにて豫備協定を遂ぐる機會を與へるため一月二十日の總會期を一月二十三日に延期を決定した

英佛の休戰記念

歐洲大戰休戰記念日に去る十一月十一日各國一齊に擧行されたが、英國ではロンドンでウエールス殿下御臨出の下にフランスではパリで大統領ドーメルグ氏以下大官參列して盛大に行はれた（上）ロンドン大戰記念碑前に於ける休戰記念祭（下）パリ凱旋門下の式場におけるドーメルグ大統領以下の政府高官（左端は我が駐佛大使安達峰一郎氏）

時事小言
强い外交

爪せ形の長身、その上、禿げ上つた頭の下に長い顔、全體に亘つて間が伸びて居るやうで、何だか、ノッソリ牛のやうな感じを相手に與へるが、それで居て指で彈くと、ピンと音を出すだけの底力があるのだから馬鹿にならぬ、テキパキとやつてのける手腕はなかく凄いもので、聊か、頑骨じみた處はあるが、男性的の明るさを持つた處が、わが、新任小幡酉吉大使の身上と言へやう、その小幡氏は自殺した佐分利氏の後を受けて支那公使就任を受諾したといふのは多分事實であらう。大使から、公使へ逆戻りは、一見、格が下つたやうに見えぬこともないが、トルコ大使よりは支那公使の方が、仕事も重大で働き甲斐もある。第一、駐支公使の適材を天下に求めて、小幡氏がその指尖端に立つのだから仕方はない。

◇

小幡氏は故林權助や、山座圓次郎等と共に外交官中の硬骨組みで、流行の縞ズボンで毛脛を包んでは居るが、一擧一動に骨の太さが現はれる處、最も支那公使として誂へ向きに出來てゐると言つてよからう、事實、小幡氏は最も長く支那に駐在し、氏の智惠袋の大部分は支那問題で充たされてゐる筈だ、一番評判のよかつたのは、天津總領事時代だつたやうに思ふが、公使時代も中々動いたものである、トルコから支那への返り咲きは小幡氏としても惡い心持ちはしないであらうが支那側でも小幡氏の選任を聞いて、舊友でも迎へる氣分で、手を擧げて待つて居るやうである、支那官民中には小幡氏の「强さ」に怖れて居るものもあり、又その「强さ」に期待をかけて居るものも多いから面白い。

◇

幣原外交が割鉢で、小幡外交が擂小木であるや否や、その邊、多少の疑ひがないでもないが、ジメくせる中華の空氣を一掃する簡明直截の小幡式がよいといふことに大體向いてゐるらしい、實はそれは、日本の方で言ふ事だ、暗い處へ逃げ込みたがる支那へ雷霆の代りに禿げた頭を持つて行つて見るか、そろく强い外交を持ち出してもよい時分かも知れない、是非・乘り出して貰ひたいものである」

海軍力均勢の 要求を棄てよ
伊太利大使に對し 佛國外相主張す

【パリ五日發電】佛外相ブリアン氏と駐佛伊太利大使マンツォニ伯爵との佛伊海軍軍縮豫備交渉において、ブリアン氏は若しイタリーが海軍力均勢の要求を棄てねばならぬと主張した模樣である

小幡氏は好評

【南京五日發電】佐分利公使の後任として小幡氏が有力だといふ報道に接し國民政府では佐分利氏のほかには小幡大使が適任だらうといつてゐる

盟主は唐生智氏 根强い反蔣聯盟
湖北の灰色軍も呼應 京漢線不通となる

【漢口五日發電】今回の叛亂は唐生智氏を盟主とし馮玉祥、石友三、陳調元、閻錫山、張發奎、孫良誠、劉鎭華等が、閻錫山氏とも連絡し、更に西北派や湖北の何鍵氏も聯絡なり一大反蔣聯盟のほう火をかゝげたものといはれ、湖北各地の灰色軍も呼應し、京漢線は本日から不通となつた

韓復榘、劉鎭華氏等は大擧丸で六日青島着、濟南に赴きいよいよ時局の舞臺に乘出すこととなつた

閻氏を擁立し 蔣氏を討伐
石友三氏の第二回通電

【北平五日發電】五日午後石友三氏の第二回の通電が當地に到着した。該通電は、閻錫山、張學良、馮玉祥氏等にあてたもので閻氏を擁立し蔣介石氏を討伐し交那時局收拾策を議せんと提議してゐる

軍事行動を 停止せよ
石友三氏の通電

【北平五日發電】石友三氏は四日左の如き反蔣通電を發した

蔣介石が徒らに自己の軍隊を動かすは人民を安んずる道にあらず、蔣は速かに隴東及び濟南に對する軍事行動を停止すべきである。余も亦蔣一個人の目的の爲に自己の軍隊を動かす事には反對する

なほ石友三氏は目下臨淮關にありその軍隊は全部臨淮關、蚌埠一帶に集結を終つた。南京では市民及び學生も一人も殘らず浦口に撤退し市內外に配置された

石軍代表の 軍費調達

【上海五日發電】石友三氏の參謀長曾萬鍾氏は本日石友三氏代表として上海南京路某旅舍に現れ、各方面と連絡をとり、軍費調達に努めてゐる。蔣氏は蔣介石氏の下野は必至と見てゐる

反政府要人 青島に消く

【青島五日發電】上海にあつた反政府要人は本日青島に消く

中央軍 先づ敗る
石軍の猛擊に 浦口人心不安

【上海五日發電】浦口鐵路筋にはいつた情報によれば石友三軍の討伐に向つた中央軍の前衛部隊は石軍の攻擊に堪へずして算を亂して敗走し五マイル退却した。浦口の人心は極度に不安に陷り避難民續出しつゝあり

南京大混亂
軍夫の徵發＝彈藥の輸送 我軍艦急行警備

【南京五日發電】蔣介石氏は上海滬寧間の軍隊の輸送を行ひ南京に於ては續々津浦線軍隊を光方面に送りつゝあり、南京、浦口はさながら戰時の如く今朝より盛んに軍夫を徵發し彈藥その他の輸送に忙殺されてゐる。なほ政府要人の家族は續々上海に引あげ、南京は混亂狀態を呈し、長江航路各國艦船も南京寄港を中止し危險を避けてゐる。我海軍は昨日より非常警備をなし軍艦安宅も上流より來たり都合三隻で邦人の警備につき萬全を期してゐる。

蔣氏逃亡 下野の通電 を六日發せん

【上海六日至急電報】その筋入電によれば蔣介石氏は五日午後英國軍艦に逃亡し六日午後三時下野の通電を發せんと

內相の私見 響き强し
專行だとて非難さる 首相からそれとなく注意

【東京電報】安達內相の擔負たる選擧法改正に關する大體の意見を閣議は閣內の諒解もなく獨斷に私見が發表されたもので、內相の專行的の態度に閣僚間の意嚮を懼たかまり來たり、一方與黨内でも小派の反對があり……

內相の 改正私案

【東京電報】安達內相は五日夜選擧公營を中心とする選擧法改正私案を左の如く發表した

選擧公營

一、政黨を法律的に承認す

二、候補者は政黨の推薦に依る推薦を要する、無所屬候補者は數千人の選擧民の推薦あるを要す

三、一定期日に候補者の屆出をなさしめ、候補者名にこれを告示し候補者の官費制、政見發表書は政府にて印刷配布す

四、演說會場の公設

五、選擧費用 選擧費用は豫め豫算をつくり一定額を候補者より納入せしめ不足額は追徵す、納入金は落選の場合返附せず

六、買收その他候補者の違反行爲選擧事務者たる市町村吏員の政治的不當行爲は刑罰を併科す

選擧區制

現行區制を尊重するも三人區を六人區となす程度は可なるべし

北部方面委員 後援會
成績のよい 東部と北部

京城府の社會事業施設として設置せられた東部北部兩方面委員の社會的活動は頗る成績良好にて、さきにその活動を援助すべく組織された東部方面委員後援會の設立に鑑み、今回北部方面においても經濟上その必要を感じ齋洞公立普通學校內北部方面事務所において六日午後二時から北部方面委員後援會創立總會を擧行し北部方面委員の活動を援助することゝなつた。因に同方面委員は東部方面委員は李康赫氏外十名であり、北部方面委員は李某氏外十四名である

平壤商議 解決陳情
商工課長訪問 福島氏等三名

平壤商業會議所では平壤電氣問題につき福島氏外二名上京陳情のため六日午前十一時商工課長に面會陳情した

自動車網 八十二線を採擇
黨署利用を慮かる

【東京電報】鐵道省では自動車網豫定線の調査小委員會において全國八十二線を決定採擇することになつたが、豫算の關係上來年度着手するのは僅々四、五線に過ぎず、その選擇は鐵道大臣の裁量になることになつてゐるので黨略的に利用されるおそれがあると憂慮されてゐる

故朴氏に 勅使御差遣

故朴泳孝侯の葬儀に際して六日午前十一時今村內務局長を勅使として御差遣あらせられた

法王廳と皇室の 確執全く解く
伊帝法王を御訪問

【ローマ五日發電】イタリー皇帝皇后兩陛下には五日自動車公式にてヴァチカン宮殿に法王ピオ十一世を御訪問、過般ラテラン條約に基づき政府法王廳の半世紀にわたる確執の實際上の終結を示された

【ローマ五日發電】イタリーと法王廳間七十年來の確執は全く解けイタリー皇帝、皇后兩陛下は五日法王廳を御訪問あらせられたが法王は陛下の指輪に御接吻あらせられた

京城府議 初會議開會

府協議會議員改選後の第一次京城府の初會議は九日午後二時より京城府廳會議室において左記議案を附議のはず

一、府協議會員席次決定の件

一、府協議會議事細則名人決定の件

辭令（五日附）

任總督府事務官（三等）熊本縣事務官 立田清辰

總督府官房審議室勤務を命ず

學務局長 武部欽一

朝鮮史編修會委員被仰付

……醫院長を訪ひ午後一時半を過ぐるもなほ協議を遂げた

會

◇第一高普學父兄會 京城第一高普校內朝鮮教育會では七日（土）午後二時半から總督府圖書館で例會を開く

◇番組親友例會 京城番組親友會第一回例會は七日午後七時から開會、來會希望者は電本四一四八番へ

人

◇吉穗利四郎氏（咸北知事）新任挨拶のため六日本社來訪九日晩出發赴任の筈

◇高安彦氏（全北警察部長）九日午前十時京城驛發列車で赴任

◇西龜三圭氏（新任咸南道視學）京城府學務課勤務の同氏は四日附發令、近く赴任の筈

◇陣之內鹿雄氏（京城武德會々長）十七回武德會の挨拶のため六日本社來訪

◇佐々木仁氏（遞信局技師）工務課長會議列席のため東上中の處五日午後七時歸府赴任

◇吉田秀次郎氏（國際運輸取締役）東上中の處五日歸城

◇恩田銅吉氏（朝郵社長）四日夜出發釜山へ七日歸城の豫定

◇三浦直氏（平壤日本郵船取締役）五、六兩日入城朝鮮ホテルへ

◇福島莊平氏（實業家）六日朝入城朝鮮ホテルへ▲井上清兵衛氏（穗積三井物產重役）同上▲小澤正直氏（同上）同上▲堀川稔氏（同上）同上

◇石田千太郎氏（平南警察部長）五日入城不知火旅館へ▲神谷小一氏（慶南財務部長）六日入城同上▲石川清澄氏（殖銀平壤支店支配人）同上

◇齋藤茂一郎氏（鮮銀南浦支店支配人）六日朝入城朝鮮旅館へ▲長尾正元氏（淀郡高雄土木出張所長）同上▲平澤富藏氏（群山米穀信託會社支配人）同上

◇中村寅吉氏（前忠南知事）退官挨拶のため六日本社來訪

今月今日

德川光圀卿薨ず 元祿十三年十二月六日、大日本史の著者として名千載不朽、かつて將軍を諫めて曰く「治國必依仁」晚年西山に隱れ、村民時折これを盜んで食す、これ貧困の爲なるべしとて村民に自活の方途を講じ獨西の業を興む

◇ステンゲ生る 千七百卅二年今月今日、英領印度開拓のため偉業を立つ第一代印度總督となる

あすの天氣（7）

豫報 曇小雪後晴

六日正午　五日最低零下

濟州島 めかり 各食料雜貨店にあり
元賣發賣元 三井物產株式會社 特約店 辻本商會

朝日乾電池
お決め遊ばせ品はよい結局はお德
通信用 ラヂオ用 燈火用
專賣特許
製造元 朝日乾電池株式會社
代理店 京城府本町四丁目 京城府長谷川町

ポプラインク
¥0,35

新刊 結核豫防治療 先發
A○（結核ノ理想的）
A○（肺結核ノ初期）
A○（肺結核ノ中期）
A○（腺病ルイレキ）
A○（骨關節結核）
A○（眼科的結核）
A○（副睪丸結核）
A○（泌尿器結核）
A○（肋膜腹膜炎）
A○（皮膚結核）
A○（結核發病）
A○（不快ノ反應）
A○（世界唯一）
文獻贈呈 發賣元 須美商店 大阪市東區北濱二ノ四〇

子宮藥 美神丸 各地有名藥店特約店にあり
本舖特別廣告取扱 大阪高麗橋三 昭廣舍

兇猛な拳銃犯人 三名の初公判
けふ京城地方法院で 八月振りで開かる

春川街道磨石峠の赤行聯自動車襲撃三人組ピストル強盗として世人を震駭せしめた祖聖玉、金正連、李龍九は事件發生の四月十八日より僅々二日間を置いて京畿道警察部の敏捷なる活躍によつて同廿一日三名とも逮捕をみたが、再び京畿道警察部によつて取調べを續け、五月十日京城地方法院檢事局に送致、中野次席檢事これが審理に當つてゐたが、六月上旬同檢事は祖聖玉、金正連の兩名は治安維持法違反銃砲火藥取締令違反強盗の四つの法規に觸れるものとし李龍九は臨時資金調整法違反、強盗にわたるものとして京城地方法院に廻附し六月二十一日第一回公判開廷のはずのところ、種々なる理由に四回延期となつたが、いよ〳〵今五日午前十一時より末廣裁判長かゝり小野、渡邊判事陪席、中野檢事立會ひ許憲、金、李兩辯護士列席にて開廷をみるに至つた

入廷せんとする被告　前から祖聖玉、李龍九、金正連

傍聽者殺到
女生徒卅餘名も交つて 四號法廷を彩る

事件に一大ショックをあたへた事件だけに、傍聽者は午前七時はやくも公判廷前におしかけ、中にも城成神學校の女生徒約三十名の姿が異彩を放つてゐた、かくてあらかじめ公判廷整理のため發行されてゐた八十の傍聽券は死にもぐるひの傍聽者に看守の手からもぎとられ、一段落とともに嵐の前の靜けさを漂はせて靜かに開廷が待たれ、あとから續々つめかけた百數十の傍聽者はかたくしめられた第四號法廷の扉の前に三々五々うづくまつてゐた。なほ祖、金の家族が公判廷の後方に着席不安の色を浮べてゐるのが眼をひいた

豪然と入廷

午前一時裁判長等三名は約八ヶ月の未決囚としての生活にも似ず如何にも元氣に祖は白色金は紺色李は白のツルマキを着し濃綠被に傍聽者の中をぬつて通りぬけ第四號法廷に誠に豪膽な態度をみせて入廷した

裁判長から 握手を許す
八月振りの顔合せに 劇的場面を演出

被告祖聖玉、金正連に對する裁判長の型の如き、氏名年齡住所等の訊問がすみ李龍九になると、李龍九は裁判長に對して、自分達の公判は四回も延期になつた。傍聽者を除かない限りに入廷させてくれ又、自分達三名は八ヶ月ぶりにはじめて顔を合せたのでなつかしい限りであるから握手を許してくれと申出で、裁判長はそれを許したところ被告三名は欣然として交互に握手を交し劇的シーンを演じた。

犯行の經路

時　昭和十三年九月中旬
場所　支那河北省石家莊の一民家
人物　支那上海佛國租界三番路 大韓獨立共鳴團長 安革命（五〇）
同團財政部長 李英（四〇）
平安北道龍川郡楊□面出身（無職） 金正連（三五）
江原道原州郡富面中□面里 崔養玉（三五）

安革命は李英を從へ、崔養玉、金正連に諄々として說きたてたのは〇〇〇〇獨立、〇〇運動の計畫であつた、これが主義に共鳴した崔、金は直に同團に加盟、李英の下に

小手調べに 平北で強盗
數名を縛りあげ ピストルで威嚇

財政部員として働し、鮮内に軍資金獲得のプランを立て、計畫的の赤行聯自動車襲撃方法は秘密裡に研究され秋の還鄕組は石家莊から姿を消した

支那河北省石家莊の夕闇に姿を消した祖聖玉、金正連の兩名は本年三月だいそれた計畫を立て國境に向つた。そして遂に犯行を遂行した、時は四月四日午後九時

平北龍川郡陽光面德里四三、金江方に強盗の目的でおし入つた。金正連は門外に見はり祖聖玉は内に入つた。隣人數名をもつて數名を縛しピストルをつきつけ時局を認めして一萬圓出資を迫つた。拒絶すると殺害すると脅迫して百六十圓を得た。これに味をしめた兩人は祖の友人李龍九を加へ第二段の計畫へをしていよ〳〵最後の目的のプランを立てた

春川街道 磨石峠へ
三人で待伏す

時、昭和十四年四月十八日午後一時、場所は、春川街道磨石峠に

赤自動車を まづ襲撃
ついで乘合 自動車を

石峠（楊口面と和洞面との境界）これがいはゆる『春川街道ピストル強盗』事件である。彼等三名はおの〳〵ピストルを携帶し磨石峠の頂上に立つて、鴨をまつた。それとは夢にも知らない、京郵第七號自動車は春川を發し京城にむけて疾走して來た

峠の頂に差かゝると、金正連は道路を見張り李龍九は手をあげて停車を命じ李、祖は直に飛びのりつけ運轉手、助手を縛して助手台にのせ、李は自ら金谷方面に運轉した。途中春川方面へ京城より驀進して來た京畿自動車會社第四四七號に出會つた祖は直にピストルをつきつけ運轉手白南基および乘客楊州郡李

照宮樣
第五回の御誕辰を迎へさせらる

【東京電話】第一皇女照宮成子内親王殿下は六日御目出たく第五回の御誕辰を迎へさせられたが、山岡女官、北村女官を御供に午前十一時賢所皇靈殿神殿に御參拜の儀の御拜を遊ばされた上、御内儀で天皇、皇后兩陛下に御禮言上遊ばされ、うるはしき御服御務を拜受の上、正午御殿に御歸りあらせられたが、午後一時四十五分には岡本事務官、山際御用掛女官の御供で青山東御所に皇太后陛下を御訪問御挨拶ありて午後三時御歸還、御殿化の平山、飯島兩乳の人に拜謁を許された、秩父宮妃、高松宮、澄宮各殿下、竹田宮妃殿下を初め四内親王殿下、閑院宮殿下は午後五時四十分參内御祝ひ申上ぐる

三人強盗の主魁は 說教強盗と判る
けさ安養里で捕へた 永登浦署のお手柄

去る二日午後十一時頃始興郡東面山本里五一七番地農業韓某方の裏戸を破つて押し入り就寢中の主人が起きると見るや矢庭に

短刀
を突つけ現金何圓と時價三十五圓十錢を強奪して逃走した三人組覆面強盗事件に關しては永登浦署手賀署長のもとに極力犯人捜査中のところ六日朝十時に至り前記三人が同郡西二面安養里十二番地先、自動車路傍に入り込み

大膽
にも自轉車を借り受け、その仕事をなしてゐる事を探知し折から自轉車にタイヤを入れかけてゐる

取調の結果、この三人組中首魁と目される金龍天はかつて三月十五日の夕方同郡安養里農業安江正三方に押し入り主人に拳銃をつきつけて十三圓餘を強奪して逃走、證跡一つも殘さぬ巧みな犯罪手段と大膽極まる說教もどきに當時假く永登浦署の惱みとなつてゐた安江正三方の說教強盗犯人であることを自白するになつた

寸分
たがはぬ事が判明し自白とともに永登浦署では直に犯人の供述により當時の現場狀況を調べた結果全く

町のかくれ家に潜伏中を、逮捕した犯人は木浦生れ、前科二犯金致龍（三七）とて昨日前より大邸に入りこみ市場町に根據を構へ五名を手

警官へ度量衡の講習　（本町署で）

忽ち傍聽禁止
開廷後十分にして

午前十一時、被告三名は珠子繋ぎになつて看守の警戒のもとにまづ公判廷に入り、次いで首枷袋二つの證據および數百枚の記錄が運ばれ嚴粛にして、末廣裁判長外か丶りの着席をみまづ祖より氏名、年齡、職業等型の如き訊問の一應はおごそかに始められたがかんたんな訊問だけで檢事が犯罪要旨についての起訴理由を述べた後いよ〳〵事實審理の本筋に入らんとしたの丶束の間に開廷十分で傍聽禁止となつた

審理進む
傍聽禁止のまゝ午後も引續いて

公安を害するものとして開廷後十分傍聽禁止となつたピストル強盗事件は傍聽禁止のまゝ審理中のところ祖聖玉に對する裁判長の審理は午後一時終了し、裁判長以下退廷するため休憩した、祖聖玉に對する審理はこれにて結末をつげ午後二時再開後は金正連、李龍九に對して審理が行はれてゐる

郵便自動車にひき入れた。そこで祖は旅行鞄をさぐつたが鞄あしく現金がなかつた。そこで彼等は自から二圓、李から廿四圓を強奪した。彼等は更に錦溪をかへて楊川より京城に向ふ京畿第一自動車五〇一一號に出逢ひ運轉手李起鎬をピストルでつきつけておどかし停車せしめて京畿道春川郡楊川面成山里一夫から金十圓および金側時計を強奪付内乘客大門五丁目支那人曲樂之からも金側懷中時計を奪ひ取つたのである

足の如く手下として働かし盛んに強盗を働いてゐたもので尚ほ余罪あるは込みで目下嚴重取調べをつゞけてゐる因に知事官舍で強盗した犯人は前科者その他の我金盜犯は全部そのまゝ知非の手にかへつた。事件の發生から犯人逮捕まで四十時間を出でなかつたことは大邸署近來の大出來であつた

發動汽船 轉覆す
大漁の鯖を積み過ぎて

二日午後八時頃江原道高城郡高城面濟州號汽船（十九トン）が一匹の鯖をとるため船も約十マイルの個所で鯖約二萬匹を漁獲しての歸途の鯖の重量過多のため船體の動揺激しく遂に顛覆した、乘組員六名は全部救濟されたが損害は船價千五百圓、漁獲の鯖千五百圓、漁具千五百圓、合計四千五百圓である

說諭して釋放
培材高普生 六名を

してゐる年齡廿二歳位の朝鮮人女があるのを通行人が發見、附近の陵谷派出所に屆けたので所轄西大門署から係員出張して檢視したが、他殺の形跡なく目下身もと調査中

一週間にわたつて西大門署に檢束中であつた培材高普退學生張太鎬（二七）外六名は思想的事件も一段落をつげたので、六日午前九時頃、嚴重に說諭を與へて釋放した

佛國代理領事 新聞代表招待
◇—領事館の午餐會

在城フランス領事ゲズネック氏夫妻は五日午後零時半から府内日丹新聞代表者たる朝鮮新聞權藤四郎介、京城日報新聞有馬純吉、朝鮮日報中鉉錫、セウルプレス宮館貞一、中外日報李相協、京城日報、每日申報中田男、鮫島宗也（東亞日報社長旅行のため缺席）諸氏を船洞の領事館に招待してマーテル、ナポレオン、シヤンペン等の豪華な午餐會を開き、陪賓としてマーテル、ナルディ兩氏も出席、席上ゲズネック氏からフランス語を以て非常に親しみある挨拶があり、自分が昔新聞記者時代フランスで新聞記者をした經驗、フランスに於ける新聞紙の歷史、關係に四人の「開聞者出身」の首班者を有する現フランス内閣の首班タルデュー氏自身が生へ拔きの新聞記者なることなど興味ある話があつて、來賓のために乾杯、鮫島氏之を受謝して來賓に傳へた、之に對しセウルプレス社長宮館氏來賓一同を代表して答辭を述べ、日本が開國六十年以來フランス文化に負ふ所大なることを力說し、ゲズネック氏が常に日佛親善のため盡す所甚大なるに對して謝意を表するとありし夫人夫妻の健康を祝して散會、食後別室にて、念撮影をなし午後三、散會した

京城春秋會
組織の議纏る
十日四創立總會を開く

朝鮮全道、まづ發先に京城における愛國精神の親睦團體を計りその使命を全うするため五日夜千代本に各社代表一合し、京城春秋會を組織することに一決し、來る十日正午後創立總會を開くこととなつた、發起人は左の如くである（イロハ順）

朝鮮公論社　石森久彌
帝國通信社　山副
京城日報社　松岡正男
朝日新聞社　權藤四郎介
京城新聞社　帝國新聞太郎
京城日々新聞社　有馬純吉
朝鮮及滿洲社　釋尾春彷

大橋新太郎氏 けさ召喚さる
麴町の自邸から 大宮電鐵事件で

【東京發至急電報】動選議員京城電氣株式會社長大橋新太郎氏は六日午前九時麴町上六番町四三番地の自邸より東京地方裁判所檢事局に召喚せられ石郷岡檢事の取調べを受けてゐる、事件は埼玉縣大宮電鐵に關するもので同時に同社重役二名も召喚取調べを受けてゐる（寫眞は大橋氏）

參考人としてか
京電森庶務課長談

右について京電森庶務課長は左の如く語つた
社長からは府協議員會選の報が來た切り、何等通信がない、今回の召喚は入電がないので詳細判らぬが、たゞ參考人として呼ばれただけで大したことはなからう

三人 組強盗犯人を逮捕

鍾萬（一九）を逮捕するとゝもに内房に押し寄せ潜伏中の崔鍾萬（二七）も李龍吉（二四）の二人をなんなく逮捕へこゝに組強盗強盗犯人を逮捕するに至つた。逮捕とゝもに直に嚴重なる取調べを開始したが

てカリメア 櫻花祭
日本娘を招いて

【ワシントン四日發電】ワシントン市當局は明春同市ポトマック貯水池の岸に植ゑてある日本櫻の繼続を期し櫻花祭を催しかつ美しい日本娘の一團にこの櫻花祭に出演を添へて貰ひたいといふ意向を有しこの程同會議所より國務長官スチムソン氏、出淵大使その他關係當局に對し日本より美人團を特派方斡旋を依賴することゝなつたと

今村知事邸の 犯人捕はる
前科二犯の賊

【大邱特電】今村慶北知事邸を襲つた窃盗犯人はその後大邱署員の活動により五日午後六時府内市場

をつけるに至つた

第二回審理か
一回では疑惑は解けぬ

【東京電報】小橋前文相に對し東京地方裁判所檢事局より寄せられた警視廳内容は佐竹三吾氏及越後鐵道社長久須美氏の陳述中小橋氏關係の部分を詳記し問題の二萬圓授受に至る事情を箇條書にし答辯を求めたもので小橋氏のこれに對する答辯書によると刑事上の犯罪を構成すべき性質のものでないことになるが檢事局ではなほ疑惑を一掃するに至らぬものとして第二回書面審理をなすか都合によつては臨檢召喚取調べをなすも知れぬ模様である

不正事實は 斷じてない
書面審理を否認して 小橋前文相語る

【茅ヶ崎電報】茅ヶ崎別邸に靜養中の小橋氏を訪へば書面審理事件を否認しつゝ左の如く語る
私は巷間傳へらるゝやうな不正事實はない、併し世の人が私に對し非難の矢を向けてゐることは私の不德の致すところで文政の府にあるものとして忍び得ざるところである。殊に非難とあるから潔く退くに至つたものゝある

今朝來 怠業狀態
東京市電の 爭議惡化

【東京電報】東京市電ボーナス二割減に原因する爭議は六日夜半に至り俄に惡化し今朝來從業員の命令が各方面にむけ發せられたが市電の運轉系統の雁擧を缺ねたる事擬ひに六日午後六時までストライキに入るべしとなり今朝來從業員は怠業狀態にて電車を運轉してゐるが危險狀態に迫つてゐる

若い女の 行倒れ
他殺の疑ひ はない

五日午後二時頃、京畿道高陽郡恩平面鷺梁津里附近に乳嬰を懷出して死亡

洗濯中に 盜まる

五日午前十一時頃、府内大島町卅八番地羽生田房一の妻女が裏で洗濯中表入口より何者か忍び入り戸棚の内に入れてあつた二十圓三十錢入り財布を窃取されてゐるのを發見し、驚いて所轄龍山署に屆け出した、近來府管内の被害屆け出で件數は日々七八件を下らず、各家庭の注意を切望してゐる

心中の片 割れ死亡

關東容に猫イラズを呑まされて、池上病院で手當中の、西四軒町の鮮人遊廓褐月樓抱妓山紅事井桂順（二〇）は遂に五日午前十一時死亡した

木綿デー
七日・八日・九日……三日間
均一提供
一圓・一圓三十錢
一圓五十錢・二圓
木綿反物各種、ナフトール着尺、文化モス、ネル、久留米絣、レヨン友禪、本モス友禪、富士絹友禪、本モス着尺等

時間特賣
午前十一時
午後二時
白足袋・新モス・白、赤、時オランダネル縞ネル・モス友禪・富士絹友禪・レヨン友禪・着尺物等

優良メリヤス
特價廉賣
七十錢
九十錢

男子供マント
紺サージ女子供服
女子供オーバ
洋裝雜貨
コドモ雜貨
特價品半額品多數提供

夜間營業 午後九時迄
丁子屋

感冒の襲來……豫防に蔘精
蔘精は政府の製造する人蔘エキス劑の一杯は終日ポカ〳〵溫まり心地で
貴生堂

土曜 日曜
特別奉仕品
丸一空前の大奉仕値提供お德益品の山品切れせぬ内に御早く御光來の程を

西陣本御召　十五圓也
錦波小紋着尺　十四圓也
本場銘仙　四圓也
本場久留米　二圓八十錢
綿英、ネル　九十五錢
ネル大巾一丈時　七十五錢

一口より景品附又は步引等何れにても御好みに應じ引續き大賣出開催中
丸一呉服店

冬に罹り易い小兒病に就て……（五）

京城帝大助教授 醫學博士 原弘毅

さうかといつて赤ちゃんのお湯を濫用にしやうと思つてあんまり強くふき取る時にはかへつて口の中を傷める事がありますから氣をつけねばなりません。

次ぎに猩紅熱の豫防であります。が、これはすでにお話したやうにふだん手足を洗つたり、うがひをしたりなどして充分に氣をつける事と、豫防注射をすることであります。しかし豫防注射はいつでも有効であるとは限りません。豫防注射を有効にしたいならば、猩紅熱が、未だ流行しない内に、豫防注射を完全に濟ますのであります。よく豫防注射をしてゐながら猩紅熱に感染するのを聞きますがそれは、注射の回數が不足のためや、又注射すべき時期を誤つたものであるのが多いのであります。卽ち上の子供や、クラスの友達が猩紅熱に罹つてから、あわてゝ豫防注射をするのはかへつて感染期において、その子供の抵抗力を減らせることがあるからであります。このことをよく注意して、ほしいものであります。豫防注射が有効であることは勿論、私は、決して否定しませんが、右のことは、注意すべきことゝ思ひます。

以上で大體、冬に起こる呼吸器の病氣と傳染病の代表者のお話をしたつもりであります。他の病は、今まで申上げた根本的な見方および注意によるならば容易に處置せらるゝと思ひます。

おはりに、普通の住宅の一部を病室にした場合にどんな事を注意したらいゝかごく簡單に申上げませう。卽ち第一にその部屋の温度を適當にすること、第二、室内の空氣をよごさぬこと。この二つの目的を達するやうに、工夫せねばなりません。

第一の目的には、日本住宅は不適當でありますが、しかし少しの注意を致しますと、これでも充分に役に立つのであります。卽ち障子の側だけに厚地のカーテンを一面にはれば、いゝのであります。或は又、障子の中ほどから下だけに、木綿のカーテンをはります。この場合には室内の暖かい空氣は上にのぼつて、障子の上部分から室の外に逃げてゆきます。卽ち室中のよごれた空氣は、逃げてゆくことになります。又室の外にある冷い空氣は、障子と木綿のカーテンとの間から徐々に入つて來るので、その室の空氣を自然に淨化させることはなく、この場合には第一および第二の目的にかなふ方法であります。幼稚園内は適當な暖房装置をつけて、夜も晝と同じ温度にすることが必要であります。室温は攝氏十八度乃至二十度位にしたらいゝと思ひます。

なほ、これを正確に知るために必ず病室には寒暖計を備へる必要があります。又、寒暖計を備へても、これを大人の立つてゐる高さに置くことは、なんにもなりません。なんとなれば、室内の温い空氣は、上へ上へとのぼり、比較的冷い空氣が室の床の方卽ち子供の休んでゐる所に集まるといふことになり、寒暖計が、この際さす温度は、子供の休んでゐる附近の温度ではないのでありますから。それゆゑに、寒暖計は、子供の寝てゐる枕邊の高さに置く必要があります。こんなことも一寸氣のつかぬことでありますが大切なことであります。

次ぎに、室内の空氣を汚さぬことであつて、これには、二重窓をとつた所を用ひるのがいゝのでありますといふためであります。直接の通風は患者に與へないでも子供の室にゐる大人の數が大勢いつまでも子供の室にゐることも空氣をよごすことになりますから、これも氣をつけて頂きたいことの一つであります。（終）

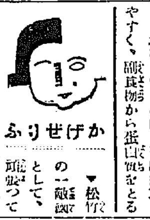
日本人はなぜ丈が低いか
米を食ふ民族は過食に流れ易い

日本人は西洋人に比し身長が低い。それは何故か、生活の狀態—主として食物の關係からもあらうがなほ食物の種類の原因してゐはしないかを調べた結果、次ぎの樣な統計を得た。もと東大醫學部柳樫博士が民族別に身長と食品を對照した處

	身長(呎)	食品
アジア及び歐洲	五・七	麥、獸肉、牛乳
	五・四	米又は米、魚
アメリカ	五・六	獸肉、牛乳
	五・八	肉、玉蜀黍
	五・七	魚、タピオカ
マレイシャ	五・三	米、獸肉
	五・四	魚、さこ
	五・五	肉、さこ、ころなつ
ボリネシヤ	五・三	米
	五・六	獸、根菜
アフリカ	五・八	肉、玉蜀黍
	五・九	植物脂

この様な關係にあるが、米を常食にしてゐる民族は大概五フキート四インチ以下、麥、獸肉玉蜀黍その他を常食して居る民族は五フキート五インチ以上なのである。何故米食民族が身長が低いかを

アミラー氏の調査によれば米には良質の蛋白質を含有してをり他の穀類に劣らぬのであるが他よりもおいしいために、自然過食しやすく、副食物から蛋白質をとる事が少く又ビタミンおよび纎物質とが乏しい結果と考へられる。[illegible]



▼松竹の一敵國として、頑張つてゐた浪花座が、とうく松竹の軍門に降つてしまつた。名目は一時間の借價關係となつてゐるが、内容は身賣に等しい。で松竹は、完全に松竹王國を實現したことになる。

▼そこで、話は朝鮮だが、京城の京劇や、釜山の國際館が據失以來再建行き悩みとなつてゐるが、一肌ぬいで朝鮮まで松竹の手を延ばしてもらへば早く埒があく。建物だけ出來上つても、どうせ役者の方は松竹に厄介になるわけだから……。

山本最商店 改稱披露宴

十一月二十八日午後五時より中央公會堂において元山本最六商店の改稱披露宴は店主山本最純氏の挨拶、商業會議所會頭矢柴国雄氏の祝辭あり次いで二三來賓の祝辭は何れもさきに浴したるセンターストーブの紛糾問題解決に盡力したる山本氏の功をたゝへ同商店の發展を祝つた。當夜の來賓は府政廳府鐵局購入その他知名の府市官民工業者三百餘名で稀に見る盛會であつた。

書畫骨董賣立

南山町三丁目美術俱樂部では七、八日兩日に書畫骨董入札賣立を行ふが出品者は下、明治町において多年骨董商を營んでゐる富永氏の所藏品であるが出品中主なる物は足利時代古銅抹茶風呂、木彫蠟燭耕机、同五段膳、錦山燒、菓子器、慶利、等珍品多くその他硯石類、朝鮮膳、螺鈿、木工品、刀劍、李朝高麗燒、陶器合稱八百餘點あり本年掉尾の賣立會と盛況を呈するだらう。

大正館の斬人斬馬劍

一記者

映畫の藝術價値を論ずる人にはこの『斬人斬馬劍』は幾分かの不滿があり、期待した程のものでないとの失望を感ぜしめるかもしれぬ。がしかしあくまで大衆をねらひこれをスローガンにして作成された『映畫』はおのづと藝術價値の出發點とは異にした一點からスタートを切つてゐる。といつて藝術的價値が皆無であるといふのではない、それが大衆的興味に比しいくぶん減じてゐるといふにとゞまつてゐる。◇

テーマの性質にみなぎる鮮いはゆる『藝術的空氣』を臨が否定しようしかしてその實を大衆の興味に投じた事實は現在の本邦映畫界、否少くとも世界映畫界の動きがスピードとテンポにある今日高踏すぎる藝術映畫に滿足するファンに向つて『一甘いもんだ、なさけない』とこれに評する映畫批評家、映畫者のすべてではなくたとものでとを斷術くといつてゐるごく少數な人々にのゆるさるべき論である。◇

『斬人斬馬劍』擬態的作品その一隊にファンの注視をあつめた監督界の第一人者伊藤大輔の次期作品をわれくに如何に期待したことであらう。中里介山の『大菩薩峠』を撮影云々の話題を提供した彼は突如月形プロに入り、カメラマン唐澤の協力を得て製作した斬人斬馬劍は伊藤イズムをふんだんに盡はてゐる。前半における撮影すべきは、唐澤のキャメラである。撮影全部にみなぎる鮮さ、殊に最後の馬の追躍場面は、フオックスのトムミックス劇をみるような愉快さ、カットフラッシュを巧に用ひ、ピッチをあげ、千篇一律の手法を大膽にあらはした、今日までの本邦映畫界にかくも愉快なるスピード味をもつた作品はないといつても過言ではない。◇

月形は熱演に終始してゐる、やみなく動いてゐる。監督、撮影に押された形はあるが阪妻、右太衞門が何れも松竹入社第一回としてファンに見へた作品に比べて、その距りの大いなる點こゝ、彼はこの一點によつて從來とした輕きを斯界に放たう。以下の各俳優も申分ない。◇

惡のないこの映畫はあらゆる階級人がみていゝ映畫である、要せねばならぬ作品である。

花嫁花婿　新郎は三中井鎮山支店長水原氏、新婦は陸軍少將安倍良夫氏令嬢幸子さん

今晩の課題

讀方（昭和四年 釜山高女）

一、左の文のわけを書きなさい。
七代七十餘年の帝都として、咲く花のにほふが如しと誇りし奈良の都も、色移り香失せて年既に久しく、今は唯畿内の一孤市として僅かに古の名殘を留むるのみ。

二、左の文の圏點を施せる處のわけを書きなさい。
君は德を以て一家をなせる人なるに、數年の間一度も我を取り給ひし事なし。我もとより衣食の資をいとふにあらざれど、何時までもかくてはすべきにあらねば、今は何處へなりとも行きて君の技をふるひ給へ。愚僧も所用ありて京に上り、一二年滯在もはかり難し。

算術（昭和二年 龍山中學）

1、甲乙丙3人の米が百五十六俵ある。之れを甲乙丙三人に分かつに甲は乙より[illegible]

2、或る人田畑を有す。7町6段8畝持つてゐる。そらして田地は畑の$\frac{1}{3}$である。田と畑とを各何程か。

3、甲乙丙3人が資本金を出し合せて共同事業を營み1,400圓の利益を得た。甲の出資は6000圓、乙は5000圓、丙は3100圓であつた。此利益を出資の割合に分けるとすれば各何程か。

JODK プログラム

十二月七日（土曜日）

午前一〇、三〇　氣象概況、各地天氣實況
同一一、〇〇　料理獻立『三色おろし雜炊』日用品値段
正午　時刊、ニュース
午後〇、二〇　ラヂオ學校『面白い物理のお話』五龍山中學校　大迫靜二
同二、一五　婦人講座『冬の婦人手藝に就て』三　吉井竹堂
同三、四五　ニュース、官廳公示事項
同五、三〇　初等英語講座　笠谷保太郎
同六、〇〇　童話　伯無鬼　鬼塚弘兆
同六、三〇　朝鮮管律『雞山別曲』　短歌　金相淳／楊琴　東郁淳／短簫　超龍九／長杉　池龍九
同七、一〇　ニュース、官廳公示事項（鮮語）
同七、二五　ニュース、官廳公示事項
ラヂオ大學講座第六講『藥草の話』京城帝國大學醫學部講師　石戸谷勉
同八、〇〇　筑前琵琶『竹生島』太山興志
同八、三〇　浪花節（東京）越後騷動『忠臣片山雅人』一心亭辰雄
同九、〇五　室内音樂（東京）
一、歌と絃樂の五部曲『葉の山』山田氏物語より　イ、藤壺、口、雀八、若草　鈴木カルテット
第一ヴァイオリン　鈴木鎭一
第二同　鈴木喜久雄
ヴイオラ　鈴木章
チエロ　鈴木二三雄
二、歌と絃樂の五部曲『ロ日』　木間文作詞　鈴木二三雄作曲
聲樂　木下保
同九、三〇　翌日プログラム發表　氣象概況、各地天氣實況、ニュース、時報

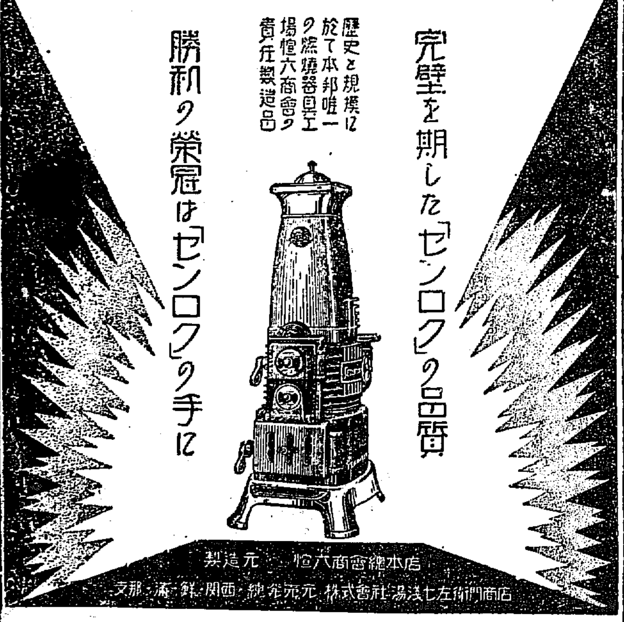
維新秘錄 井伊大老（153）

松林伯知演　吉川保正畫

長岡の驛に屯集をいたした三百人の壯士を解散させるについて、その鎭撫を高橋多一郎と金子孫次郎に命ずる事にした、この二人を水戸にては金郡と申して最も重く用ゐられ家中の者もこの二人には平伏いたしをる、目下は閉門の上謹慎中、そこで烈昭公の命を含み召出された。前門が參つて閉門御免の命を傳へ長岡の驛に集まりをる人々を解散させるようにと申し渡したので二人は直に登城して烈昭公にお目通りをいたし、これから馬に乘つて二人打揃つて長岡の驛に來た。（……）『又來たぞ、何者が參れば……てわれくに一寸も退かぬ、今度來た者は誰か』△『戸田忠生が逃げて戻つた臆だ、ヒヨロく武士が參ればとて解散いたさぬは判つて居る、察するに鐵砲組の足輕でも押出し、われくを發かして解散なさしめるであらう』○『不埒な奴だ鐵砲組の足輕共が參つたならば片ッ端から切つてしまへ、ツツムこれは足輕ではないぞ、から見たところでは二人だぞ』△『誰だ』一同はぢつとそれを見てゐた近付くまゝにその人はありくと判つた。○『これは不思議だ高橋金子の兩先生が見えられた、謹慎中の身としてこれへお出ましになつたか、さても面妖しき事』と申してゐた、そこへ二人は騎を揃へて來たが、金子孫次郎が『各御揃ひ、われく二人には御相談申すべき儀がござる』○『左樣か、ついては先生に申し上げて戴きますがわれく共はこれに居るは嫌の上に集合いたした事ではござらぬ。[illegible]にもお聞きなされた事と存ずるが』金『イヤその儀は承知いたし居る各が立腹いたすは道理至極これ迄の勇氣がなくば大事をあげる事はならぬ、乃でたゞ今われくがこれへ參つたは前中納言の御沙汰にて各方解散するためである、又解散いたすようにとそれを申し渡すためであるが、各は決死の覺悟を以て鄕里を出立した以上は何かうるところなく解散なさる事は出來まい』○『左樣、御先生の申す所ならば何なりと承知いたすが、この度の一事は』金『イヤそれも存じて居る、ところで各にお聞申すべき一事がござる、又御聞きたき事もある、しかしかく多人數に向つて申し上げる事は出來ない、それにこれは内密の事でござるゆゑ、この中から總代として十人程お選出し下さい、その方々とお話しいたしたいでござる』○『承知いたした、まづこれへお通り下さい』とドウッと左右に分れた。そこへ二人は馬を入れました、こゝにゐる人々は評議の上で十人の總代を出した、金子は總代を用して、二人は中に入り馬から下り五人づゝにわけて金『さて各に申し談ずる事がある、よく御聞き屆け下さい各も知られる如くこゝ暫三年の幕府のいたし方を何と思はれる、天下の志士を瓜を切る如くその首を刎ね又前中納言樣を押込め、その上賢家に迫つて謹愼なさしめ、しかも港を開いて外國人を賓客の如く扱ひ、彼の申する事は何なりとも承引いたす、これ皆幕府の役人共が彼等を恐れるゆゑ我日本の國體を失墜いたす、このまゝにすぎ行けばこの後天下のために盡くす志士仁人は皆幕府によつて獄中の鬼となるであらう、われく閣門中は皆に屆く志士と談し合せまする一に彦根大老を切つて寃罪にて死せし人々の靈をなぐさめ、幕府を改革いたし、後朝廷を奉戴して外國人を打攘ふ各方はこれを何と思召す』といつたが、大勢な人を鎭撫に出したもの、これでは話が大きくなる許かり。

京染なれば京屋へ

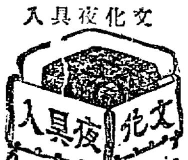
京城明治町二丁目　中央婦人科院　院主 衣笠茂



朝鮮各地代理店

京城本町一丁目	橋口金物店
京城本町三丁目	佐藤半次郎商店
釜山元町	三並商店
仁川新町	大井金物店
鎭南浦三和町	釘本支店
平壤大和町	矢野長商店
新義州常盤通	常盤洋行
元山本町	長岡壽一商店
咸興軍營通	森永寅雄商店
咸南北靑	成元福商店
清津新生町	太田直太郎商店
羅南生駒町	田中廣太郎商店
雄基本町	桑原金物店
群山全州通り	柳原竹商店
全州本町	大木良作商店
全北井邑	佐藤孝助商店
光州北門通	朝倉重次郎商店
木浦常盤町	藤木久之助商店
大田本町	土井深商店
大邱京町	小林文治郎商店
釜山本町	山本吉松商店

製造總發賣元　煌六商會全國總本店
支那、滿鮮、關西總代理店　株式會社湯淺七左衞門商店



商店の時御物任の而非常火災の時上等夜具保存に長持代りに是非無くてはならぬ最も便利な極めて安價な經濟的文化夜具入れ
茶帆布別上（五枚入 七圓五十錢／四枚入 六圓五十錢／三枚入 五圓五十錢）
茶帆布上（五枚入 六圓五十錢／四枚入 五圓五十錢／三枚入 四圓五十錢）
生ズック上（五枚入 五圓／四枚入 四圓五十錢／三枚入 四圓）
（外に三木綿革附あり綿革附きの分は各々壹圓上り）
（地方の御注文は代金引替にて送ります）
京城本町一丁目　鞄製造販賣　高木鞄店　電話本局 二一五三四番

◎ノーシン　ノーシン!! 頭痛にノーシン!!!

朝鮮鎭南浦第一の金　南浦リンゴ大量輸送
◎送先區域　朝鮮、内地（本州、九州、四國）
△鮮内は局線、内地は省線の配達區域内
△配達區域外は最寄驛止
◎國光一等品四貫目入壹箱金三圓二十錢（運賃荷造共）
鎭南浦産業組合
申込取次所
京城南大門通一丁目　富田商會（電話本局長三二〇九）
京城本町二丁目　富田出張店（電本五五五四）

日東カセ藥

醫學博士 佐藤小五郎　内科一般　特ニ 呼吸器病 循環器病　京城本町二　佐藤内科院　電本五〇一番

婦人病
血の道、こしけ、月經不順、子宮病、ヒステリー、産前産後の諸症に惱む人は重い輕いを論ぜず「神仙湯」を是非一度のんでご覽なさい、神仙湯は頭痛によくきく「ノーシン」本舗で調製された良藥でのむと同時に血のめぐりをよくし、からだを溫め、筋肉のはたらきを扶け、血のめぐりをやわらげる特殊の效能がある。故に是等の婦人病には最も有效で根本的のききめがある、論より證據、神仙湯は面白い程よくなる。いづれの藥店にもあるから先づのんでごらん、價は十八錢、五十錢、一圓　東京荒川太郎合名會社

A殿方衣裳特賣會
十二月七日ヨリ
御式服のサービス
黑羽二重紋付　十五圓　西陣無地御召　十五圓
仙台平袴地　十三圓　綸羽長襦袢　十五圓
高級縞着尺　十二圓　朱珍額裏　七圓
羽二重肩裏　五圓半
丸英呉服店

七日と八日と九日　お正月柄新品奉仕
三日ぎり　大割引
店内全部正札ヨリ二割引提供
京城本町二　大綱呉服店

財界を顧みて (一)

將來のための追憶 大づかみに瞥見

昭和四年もアト僅か少なになつた。多事であつた本年財界の越し方をこれから追想しやうとするのであるが、それは只徒らに過去をいつくしむといふやうな雅懐からではない。又死兒の齢を數へるやうな感傷をいふためでもない。昭和四年に強ひられた足跡から財界の在るがまゝの姿をハッキリと確認しそこから將來への再設、緊要のための新らしい力や意味を發見し創造しやうとするにある。他の言葉でいふならば何をなしたかの残滓の中から、何をなすべきかを發見し創造しやうとするためである。

現年の財界もかつてそうであつた如く、矢張り金解禁問題を中心として動いて來た、といふことが最も目立つてゐる流れである。政友會內閣の下にあつた上半期を見るに、昭和二年春における金融恐慌の跡仕末を二年下半期から三年にかけて敢行した結果、金融緩漫は遂に沈滯して來、それが殆ど慢性的症狀を呈した。そして一時は經濟界はこれに助けられて稍々利潤り採算を假トしたやうであるが物價も何等積極力の特別の品漲を見たのでなくして底入れ氣分を漂はせやうとした。しかし、この經濟界や物價の安定氣分に誘はれて、漸和に押れやうとする時に、時ならぬ波風を捲き起こさせたものは、時折り表面に頭を出して來る金解禁の聲であつた。[illegible]

米問には多少消極的[illegible]であるが、今度は政局が安定[illegible]財界は依然透明を期する際に行かなかつた。

◇

これが遂に上半期の季末決算を[illegible]にをへた七月二日に至つて、政友會內閣の總辭職、民政黨內閣の出現となつたので、財界もいちじるしく動搖の兆を現した。たゞ先に三土藏相に金解禁不促行の[illegible]を持する民政黨內閣に井上氏が入つて藏相の椅子についたので、金解禁もそう早急に實現しまいといふ觀測もあり、殊にこの觀測は株式市場方面において相當有力視されたのであるが、濱口首相並にその內閣の下の井上藏相は、金解禁の促進、財政の緊縮整理を高唱し、かつ一方では實行豫算の編成において[illegible]額の分から九千一百萬圓を節じ十六億八千二百萬圓としたので、濱口內閣の向ふところがハッキリして來たと同時に財界はこれに適應すべき準備を始めた。かくて下半期に入つてからの財界は上半期とは雖然たる區別をつくつて緊て消極的となり、產業調節の洗禮と、いはゆる不景氣とは漸次深刻化して來たやうである。しかし金解禁內閣と自ら名乘を上げただけこれに對する準備に健全、緊密なる財政の回復や貿易の改善は財界全般としては好感をもつて迎へられたらしく十一月に入つていよ〳〵勅令一月十一日金解禁斷行といふ發表を受けても斷る經濟界を甚し少くも動搖の跡をうかゞへなかつた。

◇

これを要するに、本年財界は、上半期と下半期とにおいて[illegible]

機、概略の未曾有を示したことはなく、又金解禁問題といふ特殊的政策を掲げただけ、今般の政變までの影響が財界にハッキリと特色を現したことはなかつた。この時において朝鮮はどうであつたか內地と同一歩調をとりながら一方では預金問題の紛糾、特殊銀行の擬行と貯銀の出現、簡易生命保險の實施時期すべき出來事もあつた。金融、貿易、產業、商品、市場等を始めその他の各部門について順に頭を改めてそれ〴〵の擔當者から追想されるはずである（以久平）

歳末を控へて 籾保險閑散

近頃に珍らしい

[illegible]籾保險も相當の契約高にのぼるを例とするが、本年は擬近になつても殆ど目覺しい契約なく、全く閑散を呈してゐる。朝鮮火災では籾を地方に派遣し各地方倉庫につき實地調査を行はしめたが、倉入數量が激減してゐることが判つた。これは米穀法調査會の鮮米に對する方針が未だ決定せず、一方米價の前途も內地より入注はないが、歳末を控へての處分に迫られてをり、目先の見込みが全くたゝぬ爲め倉入れを手控へてゐるのではないかと見られる點に角か、近年まれに見るに閑散であると

今後益多事なので 朝鮮米調會の設置

要望の聲が起て來た

今回の米穀調査會で朝鮮米移出統制は[illegible]米穀調査會をして一任せしめることに決定したが、これが調査については目下東上中の松村殖產局長、三井拓務省局長と[illegible]朝鮮に有[illegible]、鮮米統制の[illegible]を作成中で右三氏は[illegible]の上、七日に同案を提出する豫定である。そして鮮米統制案が決定する際であるが、これに對して鮮內では[illegible]こと[illegible]當業者を[illegible]する必要ありとの議が[illegible]本府のみで決定せるためその後に[illegible]鮮米統制案を作成するに當たりて見せられたのに鑑み、本府が今回は是非民間關係者の意見を聽取する必要ありといふにあるが、これと共に[illegible]朝鮮米穀調查會設置が唱へらるに至つた、即ち今回の統制案のみならず、今後の內地關係の問題か相當おこつて來るに相違ないから、これに對する朝鮮側の意見を統一し步調を揃へるためには官民合同の機關を設けて常に備へておく必要があるといふのであるが、朝鮮商議內においてもこの意見は相當有力視されてをり、朝鮮のみの米穀會議の際は漸く高まつて來た。これに對して本府が如何なる方針をとるかが注目されてゐる

中間驛の 業績査定終る

運合事務進捗

運合組合の進捗を期するため運合事務所では特別委員を各地に派して着々と創立準備を進めてゐるが、昨今中間驛の[illegible]査定が終了したので、これを[illegible]とし、他方直轄店の收支豫算も五日までに十一ヶ所の特別委員から創立事務所に廻送して來たから、これがため收支豫算の全部出揃ふのは本月二十日頃の豫定であるそして二十日までには業績査定も全部終了する模様なので、何れまでには創立の基本的準備は片づく譯であり、かくて年內には創立總會が開かれるやも知れないと

小農側の 農倉利用

研究を要する

[illegible]ばならぬことになつてゐる、從つて[illegible]すべての生活維持をまかなはねばならぬから結局農家の手に殘るところは十石內外となる譯で、この十石を食入れすることが出來るかどうか、小農は[illegible]となる譯であるが、小農の利用の範圍を見るためには、まづ金融的に資金を出來るだけ引下げると同時に、小農には倉入れの[illegible]保管金を交付することも一つの方法であらうとする說も擡頭して來た、これに對して本府が果して同案を實施するかどうかは別として農倉の利用を小農に徹底させるためにはなほ余地が少くないとされてゐる

朝鮮の繭は 研究が必要

三井物產取締役 井上治兵衛氏談

三井物產取締役生絲部長井上治兵衛氏は東洋紡糸の相談役たる關係で視察旅行をかね[illegible]の視察のため[illegible]

◇…氏は語る

◇…朝鮮が養蠶に適してゐる事は內地で聞いてはゐたが實地を見て、話以上であることを知つた。第一に乾燥することが何よりも適してゐる、その他勞銀や地價の關係からみて、將來日本生絲の強敵として一部に設置されてゐる支那の蠶絲に對して、內地が行詰つてゐる今日對抗し得るのは朝鮮であらう

◇…內地では製絲工場の濫設弊種の不統一で今のところ手がつけられない狀態になつてゐるが、朝鮮では蠶種が內地に比して一定して居り、製糸工場も許可制度となつてゐることは將來のために甚だ結構であることと類似した制度とな[illegible]の方針を切に推して行くことを切望する、只現在朝鮮の糸は品質は甚だ上等といへぬ、この點は官民一致大いに研究を要するが當局が獎勵してゐるにかゝわらず研究機關が整つてゐないのは遺憾である、總督府は今少し研究に力を入れる必要があると思ふ

◇…我國の製絲工業は近年ますます機械が發達して來て、今回原種製絲所で說明した機械の如き女工を要せず全く、機械の力ばかりで出來るやうになつた、こうした風で製絲が紡績の如く機械化して來ると、結局いい原料を安く作るところが勝つことになり、或は內地の製絲も支那の繭を原料とする樣な時代が來ぬとも限らぬ。そこで、今後は蠶糸の合理化となる譯であるが大資本を投じて大量生產を圖ることが果して出來るかは、疑問である。やはり農家の手でやるのがいゝのではないかとも思ふ

◇…生糸關稅撤廢問題については私は反對である、農林省の意向も反對であるが、只[illegible]だけは撤廢されやう

◇…生絲相場は單なる金解禁だけでは今後大した變化はないと思ふ米國の生絲消費が一時の旺盛さからその後株式の暴落で買行が案じられてゐるがこれも大して心配する程のこともないらしく、金解禁接近と共に米國の機屋が仕入急ぎの傾向もないでないがそう大して抱込んでもない相場はすでに解禁を織込んでゐるからこの方では大した變化はあるまい。しかし、國內の群小糸屋や力の弱い問屋が、評出者が焦り出すとなんでもないことになるかも知れないこの方が却つて心配である。いつも生絲の値は日本側からくづして行く

◇…本年の繭は大體春繭でも秋繭でも製絲工場が現在の相場で採算出來ぬといふ譯はない、乾繭でも[illegible]高値で抱込んでゐる、これが苦痛の重大原因になつてゐる、元來日本の考へとしては生糸の相場は千二百圓程度が適當でこの位なら人絹におされる心配もなく、國內でも養蠶家も製糸家も充分採算が出來るやうな合理的經營方法を見出し得られるものと思つてゐる

綿布不振

相場ヂリ安 手持筋は採算難

綿布は十一、十二月の需要期に入つてから綿布小口ながら引續き實行良好であつたが、昨今は[illegible]が細り商內は極めて閑散を示すに至つた、右の原因は

一、相場が十一月初めから漸落歩調をとつて來たため、地方問屋が先安見越して極度に直接へ方針をとつてゐること

一、一般地方農家の購買力が非常に委縮してゐること、即ち北鮮地方は水害による被害が甚だしく、南鮮地方は旱害が豫想外に深刻であつたこと

等にあるといはれてゐる。一方相場も漸く漸落歩調をとり、六日の如きも市場に買物が現れたので三エーは二百十五圓見當と二三圓方がた落した、これがため市中問屋は可成り苦境に陷つてゐるむきも少くない、即ち一時問屋は現在手持ちを整理[illegible]二百三十四五圓見當で仕入れてゐるから現在相場では採算上から見て勘定そろばんはもて[illegible]

回株式回

阪地不變に 依然堅調

前場 五日後場引際小締りし戻して東新は百九圓六十錢と前日の止値より二十錢高に初まりたるも仕手の整理ありて依然小浮動を續けてゐるが引際阪地の引締りに刺戟され結局前日の後場止に比し京取同東新四十錢高であつた

閑散不味

後場 前場手堅き歩先、後場は阪地の不味を入れて仕手は全く氣乘らず大新五十九圓東新百九圓十八、三十錢と各一本の付値があつたのみで一齊見送り不味な商狀であつた即ち昨後場止に比し取引所東新四十錢高であつた

買氣も薄く

暫くは小競合

前日の猛落でこの邊で一つ安値を見せるかとも思はれた〃投物一巡の折柄相場に厭いて安くけならず却つて軟派の利喰ひによつて安値へ喰止め幾分小反歩調となつた、何分東新は一時の大取組も小康を保つ株に比し最近は幾らか減じたとはいへ未だ可成りの取組を擁し人氣は依然東新一本に集中して無得にも崩れず[illegible]關係からは却つて底堅い處を見せてある、かくの如く軟派は値頃から安値の突込みは警戒すると同時に硬派にしても歳末と解禁、控へて一時に買氣は萎縮してゐるから下押し後の反動として小反撥はあつても興味深き場面は望めず此處暫くは年末を挾んで双方の小競合を演ずるより外あるまいと觀測された

大勢から見て

小相場觀有望

相場の小鞘りしてゐる處から見てこの邊で節〃係による所謂餅搗相場を演ずるのではないかと見る向もあるが本年は例年と各方面に於て趣を異にしてる丈けこの出現は稍難の樣に思はれる、即ち目先一般に金解禁斷行後の財界推移に對し無迷ひ深く商內も概して見送られてゐる、玄人筋では中旬に一落を見ば下旬には當然反撥すべく〃見解を下してゐるがそれは相場の常道であつて不可思議とする處ではない、要するに以上の如く氣迷ひ材料の横はつてゐる限り四、五月場も動き難く年內は先要觀測する向が多い

値頃に強味あり

買氣筋の東新率側策から鐘紡の買叩きとなり保株は一齊低落したが肝付の新は投げ一巡後は却つて底堅い商狀を示してゐる、かくの如く相場の下げ足鈍さは即ち値頃關係からモハヤこれ以上低落する餘地なしとの見解から突込み賣りを警戒せるためであつて現在の値頃が如何に低いかゞ判る、一方大新は於ても六十圓臺割れの五十九圓臺に崩れ其の上鑑の思惑も買惑しくないのにその後買乏揚ぎも係からの人氣…かんとしてゐる、それも要するに前頭の係による強味、あつて今後何なる成り行の上向はあつても下は大して望めまいと觀測する向もあつた

買氣添はず

商內依然不振

今朝も阪地の堅調に依然硬りの商狀を呈してゐたが仕手は氣乘らず東新に對し小口商內があつたのみで市場は依然閑散を現してゐた一方京取は今朝無氣と財界不況の打撃で續落しまたこれに對し一洪數の出來高は京取一八〇大新四〇枚でも相當二五〇合計五七〇枚以上の手口左の如し

今日の手口

京取 賣り 德榮一三〇松山五〇▲買方松山一二〇洪政六〇

大新 賣り小口▲買方田中稍六〇東鉛五〇新田四〇▲買方京鉛一〇〇德榮九〇京鉛四〇

東新 …

本玉

六日前場までに於ける百枚以上の建玉左の如し

京取 賣方新山五七〇田中道四二〇德榮三三〇正崎三一〇京鉛二〇〇[illegible]

大新 賣方德榮四七〇▲買方松山二〇〇洪政一四〇

東新 賣方京鉛一九〇新田一五〇、德榮四〇白樂三二〇、立山一二〇▲買方正崎七〇新田四六、松山三六〇松山三一〇大林一三〇、京鉛二〇

回期米回

双方採合ひ 結局保合

前場 材料難と年末買方は一方に躊躇の折柄今朝は又復阪地の下放れを受けて當限四圓三十錢中物四圓三十九錢先限四圓五十一錢と前日の止値より十錢安に寄付きしも阪地の上放れに二十錢方小戾しに下げ止まり又さ阪の小反しに揚げた分は戻り賣りの押目買ひでこの後に保合ふの外なき狀勢であつた

小浮動で 新味乏し

後場 前場小浮動の機先、後場も阪地の穩りなきを入れて先限二十四圓六十錢と前止より一錢安に寄付たも動意乏しく二節六十一錢二節六十四錢依然浮動を繰返し結局別掲の如く大引した

人氣一變と 底値一巡か

期米 この邊の相場は安くなるかと思へばピンと跳返し酷いと見ればすぐ崩れ全く餅搗きをはじめたかの觀がある

▲朝けば大手筋は早くも年末の玉整理に眼りかかり押目買の戾り賣をやつてるとかこれでは一寸に押除せる相場の大相場は一寸望まれそうにない

▲といふて十二月に入つて買方の豫想に反し正米の買物がすくないことや打ち續く相場の不良に口々して人氣が落膽はれんとする所を見るといつピンと跳返し買方の反撃つくことを起さないとも限らない

もうと見てゐる

期米 興味はやゝ薄く一般の觀測は[illegible]從來の四、五圓の開きで年を越す新の作柄の凶作と値頃關係で弱く[illegible]

此邊に小浮動

材料薄の折

現在大手筋の態度をみるに期近へ約八十石買掛つてゐた阪地の觀先一派は悲報の如くそれを賣退くと同時に阪地の賣玉を手仕舞ひして玉を固守して來た桑野一派は二月限の賣合と共に中限を一寸利喰ひして先物は押目狙ひに買進まんとする態度である、斯くして大手筋が何れも押目買ひの戾り賣りで玉の整理を行つて居ることが自然相場の値幅を局限させて居る事は勿論であるがそうなると小口筋としては他に材料の折柄目先主の出し様がないので正場は未だ當分此間に小浮動を繰返する外あるまいと見られてゐる

動けぬ相場か

問題の正米は內地當行き不良と內地の好惜みで此邊何れにも大して動けない狀態であり又仕手は年末[illegible]係で下地の玉を整理する以外新規に腰入れ深く乘出す向はなき狀態であるから相場も此邊動きやうかなく從つて今後何にか仕手の氣を變るが如き材料でも現れない限り本年は此邊で平凡なる大納會を告げる外あるまいとみられてゐる

實行良好で 外米粟は不足

最近納稅關係に伴ふ小農筋の賣急ぎに代用粟、外米の賣れ行き漸次旺盛となるも京仁在庫薄のため相場小堅き折柄八日商船ゼノア丸でクングン米一萬數千袋の輸入をみることになつたが品不足のため相場は依然強調賣れ行き良好である

堂島前場情報

【大阪電報】東京筋は強硬より寄付二百石跡…

穀信重役會

京城穀物信託會社では五日重役會を開き今期決算事項其他に付き協議したが、今期決算は左の如く無配と內定した

益金一千四百七十八圓九十五錢 前期繰越▲一千八十一圓四十三錢 前期繰越金▲計金二千五百六十圓三十八錢を全部後期へ繰越す

海外經濟電報

倫敦銀塊	近	二十二片八分五
紐育銀塊		四十六錢安
印度	對英	[illegible]
英米爲替		四弗八十八仙九分…
日米爲替		四弗八十八仙三分七
スチール		一六五弗二分一
アナコンダ銅		七六弗八分七

取引停止

一ノ四七 金弘鎬▲不詳 本町三

ノ二四 近藤彌太郎 映畫配給 銅貨

對外爲替鮮銀建値	（六日）
東京コール	
翌日拂	七厘五毛乃至一錢一厘
無條件	八厘 乃至一錢一厘
普通	八厘 乃至一錢一厘
對英	二志〇片一六分一五
對米	四十八弗一六分一
對支	八十八兩八分七

月限狀況（五日）

發行高	一二六、[illegible]	
正貨準備	一[illegible]	増
保證準備	先[illegible]	

鮮銀狀況（五日）

發行高	一四〇、[illegible]	増
正貨準備	五[illegible]	
保證準備	先[illegible]	

落穗

▲朝鮮穀頭取問題は投票は避けがたいとしても、どうやら渡邊氏の預任としてご落着きそうになつて來た▲ところで當の御本人は最近東京でぜんそくに惱んだ結果入院したと傳へられてゐる▲ぜんそくと頭取問題の双方で惱まされてはいかな剛毅の渡邊氏でもたまるまい▲それに一兩年前は一度の東京出張は三千圓と相場がきまつてゐて、商屋の女中にも三百圓のチップを切つてゐた派手ずきの渡邊氏であるが▲今度の上京には土木協會から金が出なくなつたばかりか京城商議に經費がなくやつと七百圓で我慢したといふから心細いに違いない▲もし後任者の御治世だ▲渡邊氏にとつてはたつた七百圓〃だらうが▲殺し人には一ケ年の稼ぎ高にもひとしい▲上を見れば限りはない下を見てあきらめることだ

つよきよわき

株式 前日は東新への敬遠から鐘紡を賣叩き鐘株も一齊に不振を演じた

▲しかし安値は軟派の警戒加はり透さず利喰的に買つてゐるので相場も一本調子の低落はなくかへつて底堅い處を見せてゐる

▲硬派なればこの變率節關係によ小餅搗き相場も現れ樂は一入る[illegible]ぼす處であるが本年はそれだにもむづかしい狀態である

▲これは中旬先に金解禁といふ大問題を控へてゐるため仕手の氣迷ひ甚らず目下その突込に迷つてゐる結果とも見られる、かくの如くなので今後に對する

株式（六日）

京取短期

銘柄	寄付	大引	高値	安値
京取 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京取 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

算定と日歩

銘柄	算定	日歩	代引
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
殖銀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝留三	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日全	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期市場

	寄付	大引	高値	安値
東新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

安東株式

	日本 前引	日本 大引	前日
前寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
光富	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期

銘柄	寄付	大引	高値	安値
大新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日蓄 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日蓄 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株長期

銘柄	前寄	前引	後寄	後引
大株	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
綿紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

短期 出來高

銘柄	賣方	買方	建玉數
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
短期 合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長期 合計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
當日	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京現株

銘柄	値段	銘柄	値段
株新	[illegible]	鐘紡	[illegible]
新東	[illegible]	同新	[illegible]
銀新	[illegible]	東拓	[illegible]
新鐘	[illegible]	富士紡	[illegible]
銀取	[illegible]	日石	[illegible]
東同	[illegible]	滿毛	[illegible]

期米（六日）

仁川

	當限	中限	先限
前場 一節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
後場 一節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七節	[illegible]	[illegible]	[illegible]
出來高(石)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
累計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
取組高	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇東京

	前場	後場
當寄	[illegible]	[illegible]
中寄	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
(一)	[illegible]	[illegible]
(二)	[illegible]	[illegible]
(三)	[illegible]	[illegible]
(四)	[illegible]	[illegible]
(五)	[illegible]	[illegible]
(六)	[illegible]	[illegible]
(七)	[illegible]	[illegible]
(八)	[illegible]	

◇大阪

	前場	後場
當寄	[illegible]	[illegible]
中寄	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
(一)	[illegible]	[illegible]
(二)	[illegible]	[illegible]
(三)	[illegible]	[illegible]
(四)	[illegible]	[illegible]
(五)	[illegible]	[illegible]
(六)	[illegible]	[illegible]
(七)	[illegible]	
(八)	[illegible]	
(九)	[illegible]	
(十)	[illegible]	

引アト 十七錢

	前場	後場
◇兵庫 先限寄付	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
◇下關 先限寄付	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
◇桑名 先限寄付	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]

鮮內延べ（六日前場）

	前寄	前止	後寄	後止
◇釜山 十二中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇大邱 十二末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇群山 十二中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪期米喰合

	賣方	買方	取組高
當限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇大阪棉花

	寄付	止め
前場 當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
後場 當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

大阪市中外棉唱

ストリクト・ミドリング	十一、十二月	[illegible]
ブローチ	同	[illegible]
ベンゴール	同	[illegible]

◇右は二十五センチメートル

◇大阪棉絲

	寄付	同引	寄付	同引
	前場		後場	
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇橫濱生絲

	寄付	止め
前場 當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
後場 當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

◇現物擬賣（一五〇圓）

◇鍾紡前日

	前寄	大引	前寄	大引
	前場		後場	
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪砂糖前後場

	寄付	大引
前 當限	[illegible]	[illegible]
後	[illegible]	[illegible]
前 先限	[illegible]	[illegible]
後	[illegible]	[illegible]

大阪砂糖現物

日糖（S・T）現物	二十一圓五十錢
賣買中値	

市中米標準値

丸キ四等新米	二四四〇〇
白米卸値(石)	一〇四〇〇
仁川一等白米	二六四〇〇

京城手形交換高（六日）

枚數	[illegible]
金額	[illegible]

大阪期米手振（前場）

賣方 荒畔、河村、田金▲買方田中、寄、磯甚、久保

仁川期米本玉表

當限賣方 ㊉四〇〇㊇四、〇〇〇㊆一〇〇

同買方 ㊊一、一〇〇㊐六〇〇㊁一、〇〇〇ヵネメ一、四〇〇㊇四〇〇

中限賣方 ㊉三〇〇㊌六、二〇〇㊐四〇〇㊇一、七〇〇ネカメ四〇〇

同 買方 ㊈三、七〇〇㊇三、七〇〇㊇一、六〇〇

先限賣方 ㊉三、〇〇〇丸ウ九〇〇㊉七〇〇㊁六〇〇ヵネメ三一〇〇

同 買方 ㊊二、二〇〇㊇三、三〇〇一、八〇〇㊇一、〇〇〇

回正米回

京城 ㊀等二十四圓九十錢 ㊁等二十四圓地搗玄米上二十三圓二十錢中二十一圓五十錢二十四圓八十錢一等精白二十四圓鮮白米上二十四圓八十錢母上六錢九厘中六錢七厘下六錢五厘

大豆 十四圓四十錢長湍十四圓七十錢 㑹寧十四圓四十錢通川十四圓七十錢 鐵原十四圓七十錢

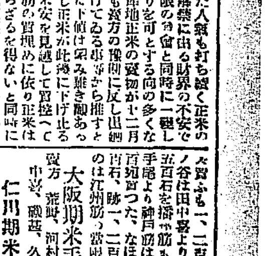
仁川 ㊀田三等二十四圓八十錢四等二十四圓四十錢石拔二等二十五圓六十錢九十錢四等二十三圓四十錢四十錢四等二十三圓八十錢粗上物六錢七厘至來種六錢四厘一等白米㊉印二十六圓二十錢精米組合一等白二十六圓六十錢を唱へ產地取引は前日より何れも一、二十錢高であるが取引は閑散である大豆連安長湍十四圓九十錢開山白川十四圓八十錢十四圓三十錢天安平澤十三圓七十錢新州十三圓四十錢にて產地賣物薄で此邊下げ過りの商狀である

釜山 內地より引々賣注ある商況はず商談捗々しく運ばれも指値合はず商談捗々しく運ばれず賣方手控へ模樣の折柄から賣値の手當要ひに無理漸く引戾し格筋の手當の際は依然十錢方反撥せしが無格は依然十錢十錢方下當ひ聚北報良二十五圓九十錢神力二十五圓六十錢良二十錢神力二十五圓十錢見當五四六十錢、六千九百七十叺の取引が出來た

大邱 廻米割合少なく賣約筋の手當買相當あり各地の鮮棉に氣配前日同樣と堅く殘良廿五圓丁度神力廿四圓五十錢見當を唱へた

群山 廻米二萬餘叺の大出廻りに內地よりの買付あるも賣物案外少なくこの邊で賣氣崩して氣配手堅く丸三二等廿五圓廿錢四十廿四圓七十錢見當を唱へ相當の取引があつた

(圖) 福 半期 仁



侠艶靈劍

【238】

平山蘆江 作 藤島一虎 畫 竹中英太郎 畫

春來る (四)

「お妙殿、もう歸りませう」と霜江は靜かに頭をあげていつた。

「えゝ、歸りませう」と二人が二三步釜茶を離れて土手を川下へ步きかけた時であつた

「お妙待てッ」と、不意に呼びかけた大兵の侍、お妙が振向く頭上に三尺無反の白刃の閃き……

「あッ、お前は金剛ッ」鬼藏の不意の出現に驚きながら、素早く身をかはしたが、この太刀は霜江をかばつてゐる隙に横になまれて、無惨……あッといふ暇もなく左の脇下にざつくと斬込まれて、思はずよろ〳〵と前によろめいたが、踏とまつた瞬間に、七首は空を飛んで鬼藏の三尺無反

「逃さぬと云ふのは此方の云ふ事だ、飛んで火に入る夏の蟲、うぬこそ卑怯な眞似をするなッ」

奈良茂の食客となつて、身心底に娘にかへつた淺間霧十郎。矢年の冬に江戶へ歸つて來た時と、は見違へるやうな男振だ。

「霧十郎さん……」

不意の救助に、ほつと吐息をつきながらしたお妙は、相手が霧十郎だと知ると、包みきれぬ喜びを面に湛へ、我を忘れて聲をかけた。

霧十郎は下段眼に、落ついた聲で。

「お妙、話はあとだ。此奴を叩ッ斬つてからだ。待つてくれ」

と、鬼藏も今日を最後と決死の眼付。狩江郎や自體の眼の前で

ていた。

「霜江樣、私に構はずお逃げなさいませ。早く早く」

と、第二の七首を構へながら、お妙は悲痛な聲に叫んだ

しかし、その時、すでに二人の逃げ路は塞がれてゐた。販部彌五郎を筆頭に、鬼藏、井之助の輩は、二人の背後に近いて、鬼顏悟しと見ればいつでも手を下す地備が成つてゐる。如何なる强合といへど、一寸の油斷もしないお妙が、今夜は余りにも油斷を仕過ぎた。不思議たつた二人の同樣、最早逃れる隙はない。

が、その時、救ひの手は意外な處から現れた。奈良茂が遊山の屋形船から、一艘の小舟が矢の如く岸に漕ぎつけたかと思ふと、船より躍り上がつて來た白面の侍

「金剛鬼藏、女子供を相手にするなッ。捕者が相手だッ」

云ふより早く浴びせた手裏劍の撥打ち、危く受けて流した鬼藏、相手の顏を見て思はず愕ッとした。

「貴樣は霧十郎だッ」

「金剛ッ、東京(?)では名ある男だ。手出は止めろ、今だッ」

…の大刀の鍔にシーッと火花を立てもある。相手を斬るか、自分が斬られるか、必死だ。捨身だ。

霧十郎とても油斷がならぬ。恰度この頃、絶交の船は白鬚あたりで引返して下つて來たが、櫓と花の下に白刃を交へる二人の姿が手に取るやうにながめられた。

と、其角は急に思ひついた如く懷紙をとり出してスラ〳〵と一句、何事ぞ花見る人の長刀

「如何で……」と絶交の前に差出した。他人が必死の命のやり取りも、其角に取つては好個の詩材だ。それを受取つた絶交は、

「見事」と文之丞の前に差出した。文之丞はそれを手にし乍ら、眼は堤上に走つて居た。

「おゝ、あれは確に霜江……そして一人は……」と呟いた〻「ヤッ矢柄を……」と一節に命令して。いで彼一騎の吸の間におりて行つた。

小舟馬は矢の如く、文之丞をのせて岸へ漕ぎつけた。

「あれッ、お妙殿」霜江の叫び。ひらりと堤上に飛上がつた文之丞の眼に、多勢の侍に取巻かれた霜江とお妙の姿が眼に映く〻

朝鮮及滿洲

十二月號　第二百六十五號　一冊六十錢　半ヶ年三圓六拾錢

口繪　草爾金頭—朝鮮官海異動に現れた人々

金解禁と我經濟界の現狀……第一銀行常務取締役　明石照男
家族制度の發達と個人主義……東京帝大名譽教授法學博士　穗積重遠
ベルゾナリストの國際觀……京城帝國大學教授　松月秀雄
海軍々備縮小會議に就て……朝鮮總督府囑託海軍中佐　作間應雄
英國戰後の勞働運動……京畿道財務部長　古庄逸夫

金解禁問答……朝鮮銀行計算課長　山田茂二　同調査課長　澁谷禮二　殖産銀行理事　植野勳

木を植ゑてから二十年の昔は過ぎた……總督府山林部技師　石田常英
朝鮮炭と朝鮮產業の發展……總督府燃料研究所技師　內田鯤五郎
李氏朝鮮時代に於ける倭館の變遷……京城帝國大學教授　小田省吾
武部學務局長と記者との問答……一記者
編輯室より
政黨と官海の淨化策……社長　釋尾東邦
朝鮮官海の大異動評
マラリア豫防上に於けるロッスの苦心と成功……京城帝國大學教授理學博士　小林晴治郎
太古の民の鑑詰……遞信局海事課技師　松崎嘉雄
秋から冬へ……長谷井一沫
貸間あり……吉野彦三
西鮮ところ〲……島元勸
中村土地改良部長と職を求むる鮮人青年との問答……一記者
俳句—自由詩—短歌
開業醫の歎息……一記者
家賃値下げ問答……數名士
年末を控えた京城の細民の生活狀態……本誌記者
昭和製鋼所設置所問題……新義州にて　本誌記者
財界漫言……市井隱士
滿鮮の富源—時事日誌—銀行取引停止—疑獄關係者—官海異動表
京城商議會頭問題……一記者
京城花柳界の淨化は聲計か?……一市民投
風聞駄語
何うして死ぬるのか……植村諦

京城蛤洞(西小門外)　發行所　朝鮮及滿洲社　電話光化門一二〇八番　振替京城一三一番

顔色が青ざめ、筋肉が引きつけ、機嫌が惡くて手が付けられぬ——斯ふいふお子達は必ず蛔蟲がわいて居ます。放つて置いたら益々ひどくなります。早くマクニンをお服しなさい

世界一の蛔蟲驅除藥(專賣特許)
マクニン錠
蟲下し菓子　マクニンゼリ

大阪道修町二　藤澤友吉商店

『恐ろしい蛔蟲』と題する册子を御申越次第進呈　M—一九

ひみ　あかだま　ぶどう酒
赤玉ポートワイン

お歳暮には　美味 滋味 情味の　赤玉こそ究竟!

三本入り御贈答用化粧函　各販賣店にあり!

模範全乳
東亞牧場(電本二五二番)

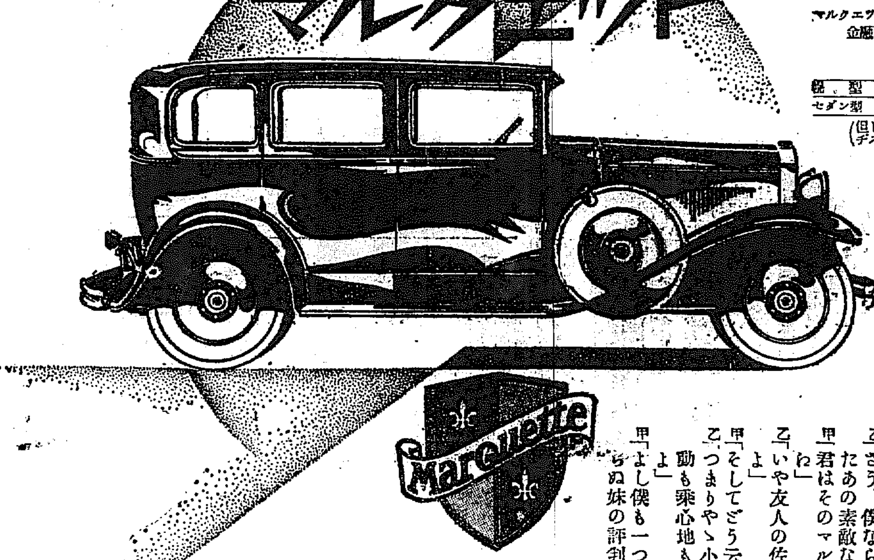
土木建築材料
釜山府幸町二丁目　角野商店　電話長二三三番　振替口座釜山三三三番

ライオン印作業服
品質優秀・價格低廉(好評嘖々)
ユニオン商會

Marquette マルクエット

マルクエット號はゼネラル・モータース金融會社による金融の便あり

箱型　定價 ¥3,995.(大阪渡)
セダン型　定價 ¥4,418.(大阪渡)
(但しスペーヤ・タイヤ二個デスク・ホヰール二個付)



姉に劣らぬ妹の評判

甲「美しくて乘心地のよい自動車を格安値段で買ひたいんだが、君なら何を買ふかネ」
乙「さう、僕なら近頃ゼネラルから賣出したあの素敵なマルクエットを買ふよ」
甲「君はそのマルクエットに乘つてゐるかね」
乙「いや友人の佐藤と北村が同時に買つたよ」
甲「そしてどう云つてゐるかね」
乙「つまりや、小型なビウイクで外觀も作動も乘心地も凡て素敵だと云つてゐたよ」
甲「よし僕も一つそれに極めやう—姉に劣らぬ妹の評判といふ譯らしいからネ」

各地一手販賣店

日本ゼネラル・モータース株式會社　ビウイク、マルクエット　ゼネラル・モータース・トラツク　特約販賣店

鮮一手販賣店　京城自動車株式會社　京城府長谷川町

日本ゼネラル・モータース株式會社

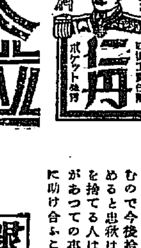
マルクエット號はゼネラル・モータースの製品なり

三人よれば
粟津ホーサン石鹸

成功者のポケットには必ず荒川のノーシンあり

小粒 仁丹 大粒

消化薬　口香劑



仁丹金言小話

◎仁慈決して他人の爲めならず(西諺)

阿部豐後守忠秋は情け深い大名で、道に捨子があると皆拾つて歸つて育てゝゐた。終には貧しい人達は忠秋の通るのを待てゐて子供を棄てるといふ有樣で邸には常に六七十人の子供が居た。そこで家老は費用も嵩むので今後拾ひ見だけはと諫めると忠秋は『世に可愛い兒を捨てる人はよく〳〵の事情があつての事ぢやろう、この※子供達も大人になれば何かの役に立つ人間になるのぢや、わしは今貧乏で困るといふ譯ではなし同じ世に生きてゐて相互に助け合ふことは當然なことぢや』と諭めたといふ。

銀粒新製仁丹、仁丹ミツキ
仁丹の煉歯磨、仁丹型体溫計
仁丹のハミガキ、仁丹歯ブラシ

商業登記公告
[illegible]
金堤出張所

商業登記公告
[illegible]
平康出張所

商業登記公告
[illegible]
龍岡出張所

遅くも本月下旬までに正式交渉開始されん
奉天當局解決を急ぎ 交渉委員の任命終る

【奉天六日發電】奉天當局では正式交渉の開始を急いでゐるが、交渉委員長に莫德惠氏、委員に蔡運升、李紹庚氏その他數名を内定、蔡運升氏は兩三日中にハバロフスクに向け出發することゝなり同地において露國代表と會見、さきにニコリスクにおいて假調印せる議定書を正式に承認し、正式交渉に關する一切の取決めをなすことゝなつたが、本月下旬までにはハルビンにおいて正式交渉開始の運びを見るであらうと

全支に瀰漫する反蔣運動の原因
蔣氏の下野實現せば政局混亂を豫想さる

【東京電報】全支にわたり蔣氏に對して起つた反蔣運動の原因は
一、國民政府は馮玉祥買收費に百萬圓、閻錫山氏の中央支持以來五百萬圓を投じて軍費枯渇し、不平分子買收不能となつたこと
二、張發奎氏の改組派、廣西派の買收討伐ともに不能となつたこと
三、蔣介石氏は腹心の楊永泰氏を汪兆銘氏のもとに派し汪、蔣聯立政府を計畫したが汪氏がこれを承認せざりしこと
等にあり、蔣氏の下野さへ豫想されてゐるがその後は汪兆銘氏以下改組派が張、馮、閻西北軍を背景に廣東臨時政府を作り、閻錫山氏を主班とする北方派は改組派と連絡し北平に新國民政府をつくり改組派有力ならば南京、北方派有力ならば北平に汪兆銘、閻錫山、馮玉祥、張學良氏等各派巨頭が參集し政局收拾にあたらうと見られてゐるがかく各派が協同し得るや疑問で今後の政局は曾つてなき混亂を誘致するものとおそれられてゐる

外交關係に鑑みて國民政府は現狀維持
灰色軍の領袖一齊に起ち 閻氏を首班に蔣氏に對抗

【天津六日發電】石友三氏の反蔣旗揚は蔣介石氏に致命的打撃を與へ韓復榘、陳調元、馬鴻逵、唐生智、劉鎮華、徐源泉氏等の各派灰色軍の領袖は呼應し獨立の宣言をなし閻錫山氏の出馬をまつて一齊に積極的行動に移るであらうと見られてゐるが今回これ等の目的は蔣介石氏一派の打倒にあつて國民政府は現在の外交關係に鑑み當分現狀のまゝ持續し、閻錫山氏を首腦として向ふべく着々進行中である、久しく洞ヶ峠にあつた閻錫山氏もこゝ數日中に極めて重要なる意志表示をなすべく北平か南京において國民會議を開催する筈により現在の時局を解決せしむるであらう

六十餘氏連名で蔣氏下野を進言
宣言と同時に四總司令發表

【北平六日發電】馮玉祥、宋哲元、何成濬氏等六十余名は連名にて本日左の如き宣言を發した

宣言

蔣介石氏が胡漢民、王正廷、宋子文氏等を重用して財政、外交を紊亂した罪は許すべからず、われ等は常に和平を念じ、蔣氏に對し屢々勸告せるもきかざるため遂に汪兆銘、閻錫山兩巨頭の意を受け武力を持して蔣介石氏の下野を慫慂し且つ左の如く總司令を推戴す
第一路總司令閻錫山▲第二路同張學良▲第三路同張發奎▲第四路同唐生智

蔣氏下野を斷念す

【南京六日發至急報】蔣介石氏は本日午後國務會議において下野の意を表明したが胡漢民氏の反對にて一時中止することゝなつた

南京に特別戒嚴令

【南京六日發至急報】南京には今夜九時から特別戒嚴令が布かれた

南京は孤城落日

【北平六日發電】石友三部下の叛軍は浦口を襲撃した、かくの如く反蔣軍蹶起して南京は孤城落日の觀を呈し、蔣介石氏は閻錫山氏の意志表示を待たず國民に先手をうつて一兩日中に下野し、閻錫山氏の出馬を請ふこととなる模樣である

鈴木總長けふ參内 支那情勢を伏奏

【東京電報】石友三氏の叛亂により支那情勢急變したので、鈴木參謀總長は七日午後一時參内、陛下に拜謁仰付けられ、支那最近の情況につき委曲伏奏することゝなつた

東鐵管理局長候補者

【ハルビン六日發電】東支鐵道現狀恢復の露支協定成立の結果、東支鐵道の管理局長として嘗て同鐵道の管理局長たりしヂウコフ氏、または露國鐵道設計者として著名なコジエウニコフ氏が有力な候補者となつてゐる、なほ露支會議目論見は頗る複雜してゐるので長期にわたるものと見られてゐる

降旗氏問題の善後策協議
民政黨三幹部濱口首相訪問

【東京電報】民政黨幹事長櫻内幸雄、小山松壽、富田幸次郎の三氏は六日午後三時濱口首相を訪ひ降旗問題の善後策につき協議した

降旗氏出所を許さる

【東京電報】五日夜市ヶ谷刑務所に收容された降旗元太郎氏は六日午後八時半出所を許され自宅に歸つた

難航の船室に軍縮對策研鑽
五日を二度繰返す

【サイベリア丸五日發電】今朝來の強い颶風で本船は動揺はげしく非常な難航をつゞけ、全速力をかけても僅十三、四ノツトしか出でず、この調子ではシヤトルに延着しはせぬかと氣遣はれるほどである、しかも若槻、財部兩全權は食事時間以外は會議室にこもり、問題の研究に餘念なく顧問隨員も忙しさにかまけるばかりである、今曉二時、百八十度の子午線を通過したので、けふもまた五日を繰返す、正午(日本時間六日午前八時半)本船の位置は北緯四十九度三十七、西經百七十六度〇三、シヤトルを距る二千百六十一マイルの海上にあり

米國無電圏内に入る

【サイベリア丸五日發電】けふは昨日に引かへ海上稍和らぎ、再び低氣壓の來襲を受けて陰慘な天氣となつた。若槻、財部兩全權はけふも船の會議室に出席し頗る元氣である、日本との距離が遠くなつたことゝて船と日本を繋ぐ無電も漸く困難多くなり、遂に通信困難となつたが一方米國が無電圏内に入り直接通路がきくやうになり、全權一行はシヤトルと打合せ等を開始した、十一日は岡本シヤトル領事の歡迎午餐會がオリンピック・ホテルで開かれ、シヤトル市長、ワシントン州知事をはじめ一流實業家多數出席のはずで席上若槻全權は米國到着最初の演説をなす豫定である

降旗氏問題疑議
安達内相を除き 法相の態度非難さる

【東京電報】降旗元太郎氏の收容は政府および與黨に非常な恐慌を來したが政府は數日來大いに狼狽し閣議散會後安達内相を除き、濱口首相以下數相が法相と會見し懇談協議を重ねた、もし政府が今日以上に窮狀をきたして更に政府部内の召喚を見る如きことあらば政局は重大なる事態に擴進すべしとして濱口首相は非常に憂慮してゐる、この間にあつて渡邊法相は降旗氏の收容を今朝の新聞ではじめて知つた容態で、政府部内では法相の態度に不滿をかこつてゐる

滿洲を感じる (八)
齋藤以久平

鞍山冷鑛爐の巻

十一月八日、發車時間の十六時廿三分鞍山に着いたトランクに目をつけた車夫達が旅館と見て、勢ひよく殺到して來たが『瀋陽館へ』と幾度叫ぶやうにくり返しても皆解しかねる風で、お互ひにペチャクチャ饒舌くり合つてゐた。誰かにたづねやうとしても四邊に日本人が見つからなかつた。暫く思ひついて手提鞄の中から鞍山製鋼所の案内圖を取だし表紙の製鋼所といふ字を指さして見たが、彼等は矢張り判らぬらしく、顔つき合せてゐる。そのうちの一人二人は『字が讀める位なら初めから車はひかねえ』といひたさうに薄く笑つた。今度は製鋼所の製と字を紙面にさして見せると、氣のきいたらしい一人が『わかる、〳〵』と連呼しながら梶棒を前へ持つて來てのれといふ。そして先達して一目散に走りだした。不安がつてゐる俥の上の旅愁などには無頓着な車夫達を尻目にかけて一散に街で十五六分間も町の中を引廻したと思ふ頃硝子戸の錆い一軒の入口へ梶棒を下した。そこは屋根に寫眞館と書いた看板の掛つてゐる家だつた。『馬鹿ッ』と聲の底から込み上げて來るそのまゝを思はず怒鳴つたが、然し怒鳴つた後のうつろな心に寂然が喰ひ入つて來た。翻譯のシヤクシヤする聲、惡の憂み出るやうな聲、それ等をいつくしみながら宿屋の玄關に乗り込んでいつて製鋼所のある所を聞き、ついでに車夫への通譯をも賴んだ。やがて車夫は『熔鑛爐、熔鑛爐』とたどり〳〵しくはあるがくり返しながら、今度は愉快さうに暗い梶棒を前に走り續けた。『熔鑛爐』といへば上つたのかた『熔鑛爐といへば』と氣のついたとき『馬鹿ッ』と怒鳴つた肥者はさびしかつた。

時間外の見物

製鋼所は自分のつくつた鞍山の町から截然とはなれた野原の中に煙々たる工場群をなしてゐた。時間外のことなので、初めの門はもう午後四時を過ぎた、いはゆる接待係がつたが、なかなか快みそうにない態度に取ふから折れて『見物させて下さい』といふことになつた。して取門の案内者がすでに退出後のことなので、この思ひやりの深い受付子に案内されて熔鑛爐を見たといふより、鑛石を運び上げる樋や、附設爐の嚙つてゐるやうに年から年中燃え盛つてゐる熔鑛爐が屹立してゐる姿や、それから赤々と流れ出る灼熱の鐵滓やらを、それ等のある場所から場所を見廻つた時の上ですかし見たのに過ぎなかつた。しかしそれで十分、何等賴ゆる所はなかつた。從つて側へ寄つて見ても差支ありませんが、といはれたが、八幡を知つてゐる吾等は餘り氣が進まなかつた。それより世界唯一の鞍山式還元焙燒法と稱して鼻高々と誇つてゐる貧鑛處理のための還元工場の方に氣をせかれ、それは工場の入口からだと聞かされて、折角の好意を謝しながら一度門を出てしかしその還元工場の方は、門を出てしかし退去せず、結局何のために鞍山下りまで遣車をくひに寄つたやら譯の判らぬことになり、圖急の目を光らせて引返すべき豫定の還元工場の方へも行かず、一旦は嘗めて十八時二十三分發で奉天へのりつけてしまつた。

銑鐵の生産力

鞍山製鋼所は、現在熔鑛爐二基その一日生産能力は六百トンであるが、この外に今年九月中には出來るはずの五百トン爐がのびのびになつて未だに建設中であつた。從つて年額は從來銑鐵二十萬トン内外で、シカゴ鋼板に同じである。事業としての經營は創設當時には行きかね何時も困難であつた。そこで昨年の大整理となつたのか、或は時の御大山本總裁のうけ賣によつてその事業經營者を選擇する、といふ三井王國に興信た方針が、陳べたのか要に角昨年は二十二萬屯をやら生産し、これまでの記録を破つてホク〳〵する程の實績を擧げたのだといふ。しかし銑だけでは仕方がない、銑鋼一貫作業を、といふ希望もあるといふのだが、その方は向ふの方から目下外れにかゝりつゝある。

銑鋼一貫の行衛

と、いふのは昭和製鋼所設置問題が、問題となつた當初は、鞍山も多分に洩れず、猛烈に新義州、大連、旅順など、等をならべてそれ〴〵製鋼所設置地所の引張り合ひをやつたのだが、その後の推移は餘りに鞍山を問題にしなさ過ぎることである。そこでこの點では中年増の色氣を押し殺して、といふか或は全く身の程をわきまへたといふか、乗馬將大連と旅順の兆間狙戰に鞍山も參加して仕舞つた

上海北停車場襲撃
武裝暴徒五百名 中央軍不利の報に 上海附近物情騷然

【上海六日發電】昨夜より今朝にかけ武裝暴徒五百名、租界に接續する北停車場に襲來してこれを占領せんとしたが、守備隊の應戰に遭ひ、死體數個を遺棄し敗走した。租界内外は武裝警官で嚴重警備中であるが、中央軍不利の報に當地も漸く物情騷然たるに至つた

閣議上程延期
選擧法調査會案 黨内の反對に鑑み改めて可否を協議

【東京電報】安達内相の選擧法調査會設置案については閣内および與黨部内に反對意見があるので濱口首相は六日の閣議前に先立ち安達内相と會見し種々協議の結果閣議上程を一時見合せる事になつたが黨側幹部と與黨幹部會で改めて設置の可否を協議決定することゝなつた

定例閣議で決定
三大審議會の廢止 新に產業政策關係の大調査會を設置

【東京電報】六日の定例閣議は宇垣、財部、田中三相缺席のまゝ午前十時半永田町の首相官邸に開會、町田、井上、俵三相から三大審議會につきすでに所期の目的を達してゐると報告し、いづれも年内に廢止することに決定したる上、產業合理化、能率增進、その他の重要產業政策に關する大調査會設置に決定、その組織、權限等につき協議した結果町田、井上、俵三相にて協議決定の上閣議に諮ることゝし、次いで幣原外相から對英米軍縮準備交渉の經過を報告し
軍縮の重要項目に就いては大體倫敦における會議にて各國それ〴〵想とするところを述べ細目協定は秘密會で決めることゝなる模樣である
と説明したる後最近の支那事情、露支交渉等を報告説明し正午散會した

產業合理化の指導機關内容
俵、町田、井上三相に具體案の作成一任

【東京電報】產業合理化指導機關につき六日の定例閣議にて協議されたが今や商工省獨自の時期でなく今後は如何にしてこれを實行せしめるかにある指導機關又は實行機關の設置をなす必要ありといふに意見一致し濱口首相は俵、町田、井上三相にこれが具體案作成方を命じたが本月末又は來春早々内閣直屬とし設置されるはずであるがその内容は
一、產業合理化、能率增進、國務(ママ)を奬勵に關する指導機關を設く
一、右は俵商相を中心とする國務大臣の命を受く
一、右指導機關は目的達成のため會社工場に對しアメリカに存する產業指導機關の如き役目を爲す
一、委員は關係各官吏、實業家を以て組織す
以上の方針で商工省當局の腹案を待ち、具體的細目を立案しなるべく速かに閣議に提出されることゝなつた

今度は副會頭問題
商工團體側から出したいとの希望

會頭問題がやゝ落ちつきかけると共に副會頭問題が擡頭して來た。今のところその候補者としては古城鐘之助、戶島祐次郎、陣内茂吉の三氏があげられてゐるが、渡邊氏が會頭席を擁はりとすれば副會頭は商工團體側から出したいとの希望があり、五日の幹部會に出席した商工團體側の代表者も大體これに一致したのである、かくて商工團體側から出すとすれば古城鐘之助氏と戶島氏の何れかといふ問題になるが一般には戶島氏を推さんとする空氣が濃厚である、即ち、副會頭として商工團體側は前々回と前回つゞけて士木系と見られてゐた西崎氏のために會頭の椅子を占められたので今回は商工團體から出すためには古城氏を立てゝ失敗するやうなことを繰返したくないといふのであるが、戶島氏自身では順序として古城氏が適當であらうとして推してゐる模樣である。しかし渡邊氏が引退したあとに銀行集會所側から會頭を出すことになれば當然副會頭の椅子が落ちて來る順序となるので、この際あせる必要もあるまいと見る向きが多い

外地產業施設と移殖民改善の方策
來る十七日工業倶樂部に 第二回拓務懇談會

【東京電報】拓務省では九月初め開催せる拓務懇談會の第二回を十七日午後二時より工業倶樂部にて開催、左記事項を附議することゝなつた
一、朝鮮、臺灣、樺太、關東州及び南洋群島における重要產業施設上施設を必要とする事項如何(説明)朝鮮、臺灣、樺太、關東州および南洋群島における產業に關しては政府は從來それぞれ適當なる施設を講じ、鋭意これが助長をはかり來れりといへども、近時經濟事情の變遷に伴ひなほ遺憾の點尠なからざるべくよつてこれが改善に努むると共に他面内地產業との關係又は外地相互間においても連絡統一をはかり、彼我相提携して合理的產業助長策を講ずるの要ありと認む
一、我國の現狀に鑑み、移植民の奬勵並に保護、指導上特に改善を行ひ又は新なる施設をなすを必要とする事項如何
一、我が人の海外における拓殖事業の指導奬勵上特に改善をなし又は新なる施設を爲すを必要とする事項如何

松隈軍縮隨員 六日東京出發
シベリヤ經由倫敦へ

【東京電報】ロンドン海軍會議隨員外務省事務官松隈廣嶋氏は六日午後九時二十分東京發シベリヤ經由にてロンドンに向つた

南阿軍縮代表 ウオタロー氏任命さる

【プレトリア(南阿聯邦)五日發電】南阿政府はロンドン駐在高等辯務官チヤールス・テー・ウオーターロー氏をロンドン會議南阿聯邦代表に任命した

文理科大學長 大瀨氏任命
六日の閣議で正式決定

【東京電報】六日閣議決定事項左の如し
東京文理科大學教授兼東京高等師範學校教授 任東京文理科大學長(一等) 大瀨甚太郎

丸山總監調停で市電爭議解決

【東京電報】東京市電從業員爭議につき丸山警視總監調停に立ち
一、ボーナスは一割減とす
一、昇給は一期(四ケ月)延期す
一、馘首從業員を復職せしむ
一、犧牲者を出さず
との妥協案を提出し從業員代表と當局の話合の結果六日午後九時二十分に至り漸くその解決を見た、七日よりは全線にわたり市電は運轉を開始することゝなつた

民間荒刻煙草廢止施行細則
本七日附公布

專賣局が來年度から實施する民間荒刻煙草廢止に關しては去る十一月十八日制令第十三號をもつて公布されたが、これが施行に關する細則が本七日總督府令第百六號を以て公布された

大橋新太郎氏取調べ終る

【東京六日發至急報】大橋新太郎、稻村辰三郎、稻村家治の三氏はいづれも六日午後八時に至り取調べをおへ東京檢事局より歸宅した

外客誘致の中央機關設置

【東京電報】六日の閣議は外客誘致の件を附議したが、大體左の如く内定した
一、中央機關を設置し内閣又は鐵道省内の一局とす
一、局事務は鐵道、内務、外務各關係省官吏をして執務せしむ
一、右機關に諮問機關を附設し、外客誘致に關する專門家を委員とす

十一月中の對支貿易出超
關東州、香港との合併

【東京電報】十一月中の支那、關東州及香港との貿易額は(單位千圓)
輸出 三四、七三八
輸入 二二、七八七
計 五七、五二五
出超 一一、九五一
で前年同期に比し、出超二萬五千圓を増した一月以降累計は一億五千七百三十四萬五千圓となつて昨年のそれに比し七百七十二萬八千圓を増した

十一月末現在預金部資產

【東京電報】十一月末現在預金部資產總額は二十七億五千百二十二萬圓である

鐘紡配當 三割五分可決

【東京電報】鐘紡は六日重役會で配當三割五分据置案を可決した

加藤咄堂氏近く來鮮

總督府の招聘により有名な東洋大學教授加藤咄堂氏は滿洲各方面を講演中であるが朝鮮を經て歸途に就く事となり全南道において講演後來る十二日午後八時五十分京城驛着、朝鮮ホテルに投宿三日間滯在し、府內を始め各方面よりの懇請により鐵道局、東洋協會等で『現時の思想問題と國民の覺悟』と題し講演し以て獅子吼する事となつた

會

◇京城醫學專門學校懇親會 六日午後六時半から佐藤校長主催で東亞で開催

人

◇松島清氏(仁川府尹)新任挨拶のため六日本社來訪
◇石田千太郎氏(平南警察部長)七日午前九時五十分京城發列車で家族同伴赴任
◇河野節夫氏(總督府事務官)六日夜七時の列車で赴任

暴風警報(六日午後三時三十分仁川測候所發)南の風強く降雨あるべし平南北の沿岸を警戒す 低氣壓は滿洲北部にありて七六〇ミリを示し東に進行してゐる

茶話

▲蔣介石氏も勝つは勝るのもと▲南京政府をあけ渡さねばならぬこととなるらしく▲下野問題も今度ばかりは眞實のひゞきを傳へる▲降旗元太郎なるもの收容せらる▲これも因果のひゞきを傳へる▲長野縣の選擧とあつて小川平吉、春日俊文と同鄉の誼あり▲同情を寄せていた▲元鐵相、現政友會人總々召喚と報ぜられる▲いつぞや在野の高官と在野の巨頭と領袖と雷霆と▲超特マルマルと號して一せいに總辭し▲石翁閣げんば立館の下野若すの外はチヨマでもよだれくりでも▲無職に慨况にかべすといふやうにするがよい▲家賃ねさげに茶話子の勸告をいれたるありいれざるあり▲いれずといへども茶話子の逹ドにある家主ならざれば徹底しがたし▲家主は強慾なるものにあらざれども▲強慾なるは往々家主にあり▲ね下げせざる家主強慾と斷じがたきも▲値下げせざるは間々強慾なる家主に發見せらる▲願くは櫻が國に遊べかし▲花を見捨てて行くかりがねをまたぶ要はあるまい▲下ぐべき時にさげざれば下ぐるにまさる恥がある▲鐵道局は鐵ぺんに拘々たらず▲京城驛の運賃の値下としやれる▲しやれもこゝまで進めば垢ぬけがして來る▲有る金をきたなく見せて分けるより垢ぬけばかりよきものはなし。

經濟

阿波汽船が航路補助を陳情
併し實現は困難

鎮南浦商業會議所會頭河村龍三、仁川阿波國共同汽船代理店野口文一の兩氏は六日遞信局を訪問し、新貝海事課長および大賀技師に面會、阿波國共同汽船の定期航路大連、鎮南浦、天津線を仁川に延長し、國庫補助を仰ぎたい、と陳情する所があつた、同航路は將來朝鮮總督府および關東廳の補助を豫想し、昭和二年六月より開始されたもので月二回の定期航路で、これが補助については昨年の商議聯合會に仁川から當局へ要望方を提案し、本年は鎮南浦商議所より本府に陳情した歷史を有してゐる、しかし明年度豫算はすでに確定し、新規事業を一切承認されぬので、この航路の補助も駄目であると

朝鮮郵貯增加

十一月中に於ける全鮮郵便貯金の受拂高は受入六百四十萬二千九百二十圓、拂戾六百二十五萬六千九百圓で、差引十四萬六千九百十一圓の預金高を增加したが、月末現在高は左の通りで、前年同月末に比し四百九十七萬圓即ち約一割八分の增加である
貯金現在高 三五、一五四、〇六五圓
預入人員 一、一〇一、三六六

承認組合總會

全鮮承認運送店組合では承認制度廢止と共に解散することゝなり七日午後朝鮮ホテルで總會を開き、組合解散と、收支決算報告並に殘金處分の件を附議する筈

株式

大株短期引跡
大新 五十八圓八(不變)
鐘新 九十九圓八(不變)
日產 卅二圓八(不變)
東新 百九圓五(卅錢安)

期米

各地期米後場止
下關 二七七▲桑名十一番 二八〇▲十二番 二八〇二▲名古屋 二七二▲金澤 二六五六▲熊本 二七一五
▲大阪最終氣配 十七錢(一錢高)

仁川穀物出入(六日)
輸移入
籾(貨) 八四一
同(俵) 三八五〇
同(叺) 四五五六
玄米(叺) 三九八五
白米(叺) 一六三八
大豆(〇) 七七一
輸移出
白米(叺) 二〇八二七
同二斗入(叺) 九一三九
玄米(袋) 五七五〇
大豆(叺) 二四〇一

群山廻米報(六日)
仙 玄米 一六、四三七叺
同 籾 一、二〇六俵
鮮 玄米 一四、二〇七叺
鐵 籾 二、五八六俵
中 玄米 一、一八九
鐵 籾 一、九 シ
計 玄米 三、一五三叺
 籾 三、二二九俵

新穀出廻り
五日鐵道局各運輸事務所管内における米穀發送數左の如し(單位トン)
釜山一、二〇五▲大田二、六七四▲京城五五三▲平壤九三八▲清津一六▲合計五、三八六▲十月以降累計一六七、〇九八

大阪市中在米
六日現在高は百四十五萬三千七百三十六俵と前日の在米高に比較して二千五百三十六俵の減少である

學生と社會性

田中文相はその聲明中において政治的な心持の上に文敎上のことに政黨政策として一ぱんむづかしい實際問題をいふて居る。それは學生の左傾問題であることを認めたことだ。文相は語る『立派な家庭の子や紳士の子が左傾する傾向あるのは心配だ』と。そこで文相の考へたとは『環境が惡いから赤化するといふのなら環境をよくしてやれば良いのだが相當の家庭的にも惠まれて居る學生が赤化するといふのだからこの點を十分考へなければならぬ』といふのである。なるほどいはゆる赤化は社會の缺陷から來ると思はるゝといふは不思議でなければならぬ。文相には『私はまだ其の思想對策は持つて居ないが』とある通り、對策の持ち合せはないやうであるけれども、この點は早晩何とかはッきりさせなければならないところとおもふ。

學生が思想上赤化するといふ、しかしてその赤化は社會の缺陷から來るといふ。されば學生が赤化するためには學生と社會との交渉がなければならないのである。學生は政黨の使徒ではなくして獨立の社會人なのである。少くも多分に社會性をおびたる學徒でなければならぬ。學生はもとより學術にして、研究なるがゆゑに社會的關係は乏しいのであり、たまたま社會科學が與へられゝば、それに强き興味を持つことはあたりまへである。やむなくんば學生を社會から隔離し國の國營に專門することであるが、現在學生の社會進出は決して一朝一夕のことではないのであつて、これをほかに誘回せしむるのは困難中の困難、むしろ不可能に近いのである。

赤化學生を警察の手にゆだね秋官職の下に置くことは、それが赤化學生である以上やむを得ぬといつても、學生たる身位に着眼すれば、これをいへばやむを得ない。けれども何といつても學生たるかぎりその身位に着眼すれば、これを警察と秋官との世界に驅逐せしむることは學生をさしはさむ餘地は存するのである。少くも學生の社會化は官職の名において公認せられたるものなるを否定することは出來ぬ。わが教へ子が罪なる獄に踏み入らんとしつゝありとて、教師が赤化學生の渦中に飛び込んで、これを救濟し、訓戒せしむるの有權なれば、われらはまだ何をかいはん。たゞ學制はやゝもすれば學校當局は直に警察と秋官との顏にさらさるゝのであつて、さういふ學生社會化が必ずしも歩まざる限りその赤化は個人的環境や家庭的位置によりて徹底的に除くことの出來ないものたるを知らねばならぬ。

要するに學生の、しかあることが然ふべきなりや否やは問題であるが、多分に社會性を帶び來つたことは事實である。しかも官職はこの事實に由して學生を社會人として遇しつゝある。教員は、もしくは教育當局全體は手を拱して傍觀して居る始末である。從つて學生を學生として取扱ふことを欲するならば、これを社會から隔離せしめ更に教育當局の指導にゆだねて赤化の目的を達しなければならぬ。たゞそれが學生を社會人として放任するを默許するならば、學校的環境の介入はまことに不當といはなくてはならぬ。いやしくも學生なるがゆゑに寛恕的態度を與ふべきではない。警察と學生との間に觸見するであらうところの數官の職權は、眼中に置かず、これを罪し越えて直にその頭上に臨する、斯東の過酷なる壓力を加へられざるを得ないのである。痛察考へざるを得ざる社會の癌腫の一である。

支那の治外法權撤廢
上海臨時法院問題

英、米、佛、蘭、伊、日の六國が支那を除く外大抵の國は支那に對して治外法權を有してゐる。治外法權に二つの區別がある。一つは外國人が被告である場合の領事裁判、いはゆる『會審衙門』制度なるもの、他は外國人が被告である場合の領事裁判である。

支那は、關稅自主權、租界、內河および沿岸航行權その他の利權回收に努めると共に、治外法權の撤廢を熱心に要求してゐる。

條件つき撤廢承認

昨年十一月から本年二月にかけてノールエー、ベルギー、イタリー、イギリス、オランダ、ポルトガル、フランス、スウエーデン等の國々と支那との間に通商條約又は關稅條約が締結された。この中に領事裁判權の撤廢が條件つきで承認されてゐる。それには明年一月一日より撤廢の效力が發生するといふ條件も交されてゐる。右の條件は右期日までに支那と他の國との間において法權撤廢に關する細目的協定が成立しない場合に適用されるもので、『治外法權を有してゐる列國の過半數が、同權の抛棄に同意するのを待つて』或は『ワシントン條約調印國と支那との間に治外法權撤廢に關する協定をはつてから後』といふのである。

なほ支那側ではベルギーとの條約附屬書中に『一九三〇年一月一日或はそれ以前に現行法規の外に民法ならびに商法を合法的に公布すべき事を宣言』してゐる。日本に對しては、支那は頻に治外法權撤廢に關する通告を發してゐない。日本は列國とは歩調に、支那と日支締約改訂交渉の經過に關係するからである。

眞意は婉曲拒絕か

支那政府が目指す所の、明年一月一日は漸々に近づいてゐる。然しその日が到來する前に、支那はまづ關係各國に對して治外法權撤廢に關する交渉をなし、その結果を見なければならぬ。これがため支那政府は、すでに去る四月以來二回の通牒を關係國に發し、交渉開始を促してゐる。然し列國からは滿足な回答は來ない。――去る八月十日には各國から、同法權の撤廢は、領事裁判制、又は商法、民法、訴訟法規、裁判所の設置等の事件を待つたり支那の改善をひきくるめての漸進的撤廢ならば交渉に應ずる用意があるといふ返事が來た。又十一月六日にはアメリカから、支那の法典が完備し法官が出來上がるのを待つて交渉をはじめやうと返答し、イギリス、フランス、オランダの三國は別々に支那內地の平定を待つてから交渉をすると返答して來た。これ等は極めて婉曲に撤廢を拒絕したものとも見る事が出來よう。

法院回收は可能か

上海共同租界に臨時法院なるものがある。いはゆる『會審衙門』の後身である。一九二六年秋、會審衙門の回收問題が持上つた結果、同年十二月末限り、既に領事團の手を離れ『上海臨時法院』と改稱し外國領事官吏の權限も若干縮小された。その回收章程によると支那の意向では、同法院は臨時機關的なものでその職能執行は三ケ年限りだといふのである。今年はその滿期の年である。支那政府は完全な回收をなさんがため、先般北平外交部とこれに關する會議を開き、その交渉を始めた。然し開會豫定日たる十一月十九日になつても各國代表は一人も會議地たる南京に姿を見せなかつた。その結果各國は公使館代理として上海總領事又は公使館參事官を出し、よく十二月一日から右の會議を開くことになつた。

然し日本に對し、支那側は[illegible]を理由として參加拒否の態度を持してゐたが後に態度やゝ緩和し、傍聽者としての參加を認める樣子である。

上海臨時法院が完全に支那側によつて回收されゝば、關係各國に如何なる影響をおよぼすであらう。まづ當面の問題としては上海共同租界內および租界外の一部における支那人を被告とする外國人關係の民刑事件に關し[illegible]外國人辯護士の出廷等が一切出來ない事になるであらう。然し支那の裁判制度の現狀に不安を抱く關係各國が全然無條件で回收を承諾するかどうか。イギリスの如きは支那の法典が整備し、法院と同一水準に達するまで現在の狀態を繼續する事を[illegible]旨をほのめかしてゐる。

府議選擧の全鮮有權者數
朝鮮人有權者は內地人の三分の二

去る十一月二十日行はれた全鮮十二府の府協議會員選擧について見るに、定員數は總數前の十四名が十六名となつて二名增員された結果、總數においても二名增加の二百三十二名となつた。外觀化なく、各都邑地の十二府有權者數は內地人一萬五千七十八名、朝鮮人九千八百十七名、計二萬四千八百九十五名で、朝鮮人有權者は大體內地人有權者の三分の二となつて居る。その內譯は次の通り

選擧有權者數

府名	昭和四年協議會員	昭和元年協議會員	昭和四年名簿登錄人員 內地人	朝鮮人
京城	三〇人	三〇人	五、八六五人	四、三六四人
仁川	二〇	二〇	六二三	三七七
群山	一四	一四	三三六	一六四
木浦	一四	一四	四四六	三〇四
大邱	二〇	二〇	一、四五一	四七八
釜山	三〇	三〇	三、二二一	四三六
馬山	一四	一四	四二七	三二六
平壤	三〇	三〇	一、一六九	一、二五三
鎭南浦	一六	一四	三六七	三〇八
新義州	一四	一四	四四六	一六九
元山	一六	一六	四三二	二五三
淸津	一四	一四	四三二	二二五
計	二三二	二三〇	一五、〇七八	九、八一七

飛行便の開始と旅費規定の改正
當然問題とならう

現在官吏の旅費規程は汽車、汽船賃は奏任官一等、判任官二等實費、車馬賃は一里につき奏任官一圓五錢、判任官九十五錢となつてゐるが飛行便の開始により飛行機利用者も漸次現れ遞信局の新見庶務課長の如きも金山から旅客機を利用して歸城したりして、飛行機利用の際の旅費は當然現行旅費規程の一部を改正し時代に順應せしむる必要にせまられてゐる。現在の飛行賃金は汽車の寢臺附一等料金と殆ど同樣で旅費を支給するとしても、やゝ汽車賃より高價になるが飛行機を利用すると行程を短縮し東京城間汽車によると大體二日を要するが飛行機によると將來半日しかからず日當宿泊料が一日短縮することになり高等官十三圓內外（五級以上）（六等以下）判任官十圓內外の經費の節約しうるので經費の點では大して負擔增加とならず、官吏の能率增進上に好影響があるので、現行旅費規程中に飛行機旅費の一項を加へることは最も機宜に適したことゝされてゐる

面協議員の定員數
と內鮮人有權者數

去る十一月二十日施行された面協議會員の定員數並に有權者數は總督府地方課調査によれば左の通りである

面名	定員	有權者內鮮人別 內地人	朝鮮人
水原	一二	一四三	一六七
永登浦	一〇	九九	七八
松都	一四	一一三	七六〇
淸州	一二	二六九	二一三
公州	一二	二〇一	一〇六
鳥致院	一〇	一二六	九五
大田	一二	七四九	一七三
全州	一四	三三五	二六二
益山	一二	三四一	一七三
光州	一四	四五八	二五一
金泉	一二	一九一	二〇九
浦項	一二	一七九	一二五
晉州	一二	二〇二	二五五
鎭海	一二	四一三	一七三
春川	一〇	一八一	九八
咸興	一四	三三七	四一七
羅南	一二	四六七	一二六
城津	一二	一二〇	二一二
會寧	一二	一九七	二八一
雄基	一二	一二三	二四四

なほ[illegible]の三面は[illegible]、また、忠州、天安、井邑、麗水、順天、安東、尙州、定州、宣川、江界、沙里院、安州、鏡城、北靑の十七ケ面の改選期は指定面施行期をことにするため昭和七年五月三十日である、更に江景、兼二浦の二ケ面は任期中に指定面になりたるため改選期は江景は明年八月三日、兼二浦は明年三月十五日である

金剛餘錄
（附江原道とところどころ）
【三】金剛山の四季　杉浦生

金剛山の四季をうたつた歌謠に次のものがある。

――春――

金剛山みねの白雲けふとけそめて晴れてうれしき雪の空溪間にかほる大山れんげ峰を御頭にみだれ咲き

――夏――

金剛の夏は谷々瀧しぶき聞けばぬるゝ袖ごろもはすひまもなき綠蔭の寒にほいまむ百合の花

――秋――

山や山谷また谷の金剛山、包むもみぢの紅るに行きかふ人の麗さへも秋は一しほ色まさる

――冬――

多くれば面白に裝ふ金剛の峰をたづぬる人もなき川邊のやどに悠々とひゞく長安寺のくれの鐘

金剛登山の時季は決してもみぢの時と限つたものではない。金剛山の形容として、『春は金剛、夏は蓬萊、秋は楓岳、冬は皆骨』といふがある如く、四季それぞれの自然美がある。」

すなはち、嶺の白雪解け初めて翻然、萬木の芽をふき出す頃、いはゆる金剛の季節に登山したら、そこにいひがたき[illegible]あり、峰も、谿も、流れも、緑したゝるグリーンの金剛は五、六月。大山れんげ咲き亂れ、夏近づく頃となれば、ライラック、ワシドヒの姸いふにいはれざる美觀を呈すとあり。夏となればヒメユリ、コマユリ、車ユリ、鬼ユリの類一切に咲き亂れて姸を競ひ、雲のゆきかひにこゝ瀑布の妙味あり、一峰高く聳づるかと見れば、一峰は全く雲に隠さるゝ文字通りの雲疊、つひに沛然として雨の來るを捨がたき眺め、或は灼熱の苦炎に、錦繡蒼き溪谷にいこふて、瀧しぶきに打たるゝも夏なればこそ。至山紅葉、錦を織れるが如き楓岳の金剛はいはずもがな。朔風一たび來つて雪も風に吹き飛ばされて、岩骨稜々、全くの裸の金剛、みな骨の金剛を眺むるも冬なればこそ、皆骨の金剛を眺めて溫泉につかるも忘れがたいものである。

守屋氏のはなし

かくて金剛は春夏秋冬登山の季ならざるはないことになるが、それが登山の時季々々によつて眺めが一樣でないといふから面白い。見る位置は同一であつても、眺むる風情、これによつて得らるゝ感じは全然異るといふから驚く。金剛山の雄大を表現するものでなくてはならぬが、四季それぞれの金剛山を見たものでなくては、眞に金剛山は語り得ないことにもなる。

これについてかういふはなしがある。故鹽大隈さんの話である。

あつて、今代議士の守屋さんが總督府時代に金剛山の探險に出掛けた。當時は所謂相談してゐたので守屋氏が『天下の金剛』と今年の金剛は逃つてゐる』といひ出したといふことである。右と同じに金剛は登山の時季によつて眺めが一變してゐるのである。

交通設備第一

『金剛山は朝鮮の山でない、日本の山でもなければ、全く世界の名山である』とは誰しも一度こゝを探險した人はいふ。先達、こゝを探險した[illegible]氏も、口を極めて金剛山を禮讃し、『全く世界に類例なき名山、比類なき自然公園の候補地』と批評したが、『惜しいことにまだ設備が充分でない』と批評してゐる。これは門外漢の肥著でも同樣に感じた。而してその設備の中でも交通設備が第一であらう。少くもわれら一行の眼目を皆一番に感じたところは交通の設備である。

來年四月頃までには、金剛山電鐵が現在の終點驛より、更に內金剛の入口近く末輝里まで延長するといふし、外金剛溫井里までは、現在の高城自動車が更によくなり、[illegible]の改定版も、この邊りから工事をはじむることになるだらうと思はるゝが、かくさるゝに伴ひ、內外金剛の入口までの交通が完成すると思ふのである。

大隈さんの理想は、金剛山を一週する自動車道路を開設し、これに基盤目のやうな道路網を設け山內幾ケ所に無料の山小舍を設けて貰ひたいといふのである。

これは甚だ結構なことであるが、今年春鮮鐵より九龍淵まで約三里の道路を金剛電鐵でつくつた工事は、四萬五千圓の工費でさへ、約一萬五千圓を要したといふことであるから、大隈さんの理想道路をつくるだけでも可なり莫大な工事費を要することであらう。さきに大隈さんがその理想をはなしたけで、龍內務局長生田さんを驚かしたといふことである。しかしこれが出來れば、まづ交通設備の第一關門を突破することゝはならう。世界的名山をを世界に紹介するために、是非その理想の夢を消せざらんことを祈る。

大隈さんの外、高城面海金剛組合理事渡邊安鎭さん、溫井里の上田一義さん、[illegible]さんなどから金剛山保勝會の事業より[illegible]など熱心なお話しを伺ひ、一々研究もに拜聽したが、かくて交通路の開發することは、金剛山保勝の趣旨にも叶ひ、遠い[illegible]て可成り繁榮の誘因ともなることであらう。

春畝公追憶（三）
（伊藤公全集を讀みて）
九日山房主人

公の朝鮮に渡航したるは前後十一回である。但後の七回は統監就任後のことに屬し、公の肥望として形態相伴ふ十數年たりし古谷久綱氏はわざと統監就任後伊藤公爵韓國往復一覽表なるものを作りこれを『藤公餘影』に採錄して居る。

統監就任後伊藤公爵韓國往復一覽表

往復	出立	搭乘軍艦	乘艦月日	發着港	到着	備考
第一回赴任	三十九年二月二十日大磯	和泉	二月二十八日	馬關―釜山	三月二日京城	
同上京	三十九年四月廿一日京城	浪速	四月二十一日	仁川―神戶	四月二十四日大磯	伊勢神宮及嚴島參拜鎭守府參觀
第二回歸任	三十九年六月二十日大磯	沖ノ島	六月二十二日	嚴島―釜山	六月二十三日京城	凱旋大觀兵式參列
同上京	三十九年十一月廿一日京城	沖ノ島	十一月廿三日	馬山―嚴島	十一月三十日大磯	[illegible]
第三回歸任	四十年三月十日大磯	須磨	三月十九日	馬關―釜山	三月二十日京城	
同上京	四十年八月十一日京城	笠置	八月十二日	仁川―馬關	八月十六日大磯	第二日韓新協約締結後
第四回歸任	四十年九月二十六日大磯	笠置	九月三十日	嚴島―仁川	十月三日京城	伊勢神宮參拜[illegible]同行
同上京	四十年十二月五日京城	滿洲丸	十二月五日	仁川―馬關	十二月十五日東京	韓太子殿下同伴
第五回歸任	四十一年四月五日大磯	吾妻	四月十四日	馬關―仁川	四月十六日京城	[illegible]
同上京	四十一年七月十四日京城	吾妻	七月十五日	仁川―馬關	七月二十一日大磯	中樞院副議長金允植同行
第六回歸任	四十一年十一月十四日大磯	春日	十一月廿三日	馬關―仁川	十一月二十五日京城	神戶沖觀艦式參列
同上京	四十二年二月十日京城	吾妻	二月十日	仁川―馬關	二月十七日大磯	韓皇陛下西南御巡行後
事務引繼渡	四十二年七月一日大磯	滿洲丸	七月四日	馬關―馬山	七月五日京城	
同歸京	四十二年七月十四日京城	滿洲丸	七月十五日	仁川―馬關	七月十九日大磯	

統監赴任以前の渡來の最初は明治廿一年九月である。西鄕從道侯と共に浦鹽視察の途次、釜山、元山に寄港したのである。」

關嶺遙迎宿雲晴　滿天秋色海雲晴
一條鐵路工將起　八道砲聲半未成
倒地講和既非計　交兵決戰豈爭衡
東方從是應多事　坐看洪濤拍岸生

一條鐵路工まさに起こらんとし、八道砲聲いまだ半ば成る。これが潮の撥朝である。歸地講和すでに非計、交兵決戰豈衡を爭はんといふて平和に努めたるものではあるが、戰方これより多事なるべきは疑ひを容れない。公の朝鮮に入るや『滿天秋色海雲晴』であつた。更に一時がある。

海門風落曉潮平　客舍晴窓對月明
韓北韓南秋一色　蒼茫[illegible]

二回の渡來は明治卅一年夏、滿洲に赴くの途次京城に立寄り皇帝に謁し鄭重なる待遇を受けた。まさに北京に向つて仁川を解纜せんとして一詩あり。

遙離闕闕向燕京　爲是微衷尋舊盟
不問風濤千里險　雄心直欲挽滄瀛

當時の公は、一月十二日臣內閣總理大臣、六月三十日依願免本官、七月四日[illegible]であれば、少閑を得て大陸觀光の途に就いたのであつた。

以血爭名非却願　推誠及衆復奚疑
堂々神武千秋業　正是功成在此時

三十一年夏日偶作にかゝるが公の當時の心事はば察するに足る。」

◇綱に殺さる　神戶東川崎町三菱倉庫構內上屋に組上げた六十二噸の綱が落下、作業中の仲仕梅倉兵吉（三〇）は頭部を粉碎即死。

◇復興の供水　復興事業完成で東京は高層建築の激增につれ飲料水の不足を來たし、加ふるに不景氣にたゝられ今や丸の內一帶だけでも空室六萬坪に上る。

◇人殺し無罪　和歌山縣海草郡長井長次郎方に押入つた山下家屋人村東松吉（三〇）がピストルをもつて侵入せるを同家族に射殺された事件は大阪控訴院で正當防衛と認め無罪。

◇首つり先生　岐阜縣加茂郡白川村小學校休職訓導西向勘太郎（三〇）は若妻を撲殺し、自分は鐵道に轢死、原因は神經衰弱のため。

登錄商標

たんせき
ぜんそく

龍 角 散

感冒流行期に入つて最も警戒すべき、たんせき、ぜんそくが流行出した。痰咳の病氣だけは、人間の呼吸を直接冒す手詰の病氣だから、これを油斷すると肺炎、肋膜炎、或ひは肺腺、肺結核等の重病に變症して、悔みても取り返へしのつかぬことになる。殊に、この變症の危險は、平常健康を以て誇りとしてゐる人でも、矢張り同じ事であるから、一旦、たんせき、ぜんそくに罹つたら悉く同一危險に見舞はれたものと思つて、これを輕視せず、この變症を未然に防ぐ作用のある龍角散を直ぐ一服試みて、この不幸から完全に免かれるやうにしなければならぬ。今や龍角散治療はたんせきぜんそく治療の最高標準となりつゝあるのである。

―龍角散三大誇―
藥效　藥質　製法

かゝる人は必ず試みよ

◎たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
◎ぜんそくにてゼイゼイ息切する人
◎せき頻に出で夜オチオチ眠り兼る人
◎流行感冒より起るたんせきの人
◎肺病にて常に力なきせき出づる人
◎たん臭氣を帶び時々血の交る人
◎音聲のかれ又は咽喉のいたむ人
◎百日せき又ははしかせきの小兒

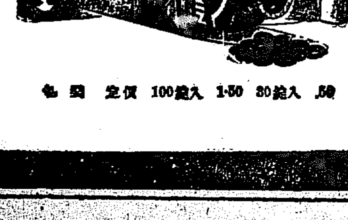
其他如何ほど頑固なる呼吸器疾患のたんせきも凡そ一二週間續けて用ひらるれば其効果顯著なり。

定價　四日分 三十錢　八日分 五十錢　十八日分 一圓　四十日分 二圓　六十五日分 三圓

東京市神田區豐島町　本舖 藥劑師 藤井得三郎　振替東京九[illegible]番　電話浪花[illegible]番

▽全國藥店にあり△

BS―7



包裝　定價　100錠入 1.50　30錠入 .50

リウマチ・神經痛に

醫學博士　菅野力氏創製

本品は古來よりロイマチス神經痛藥として賞用を受けたる東洋特產の藥用植物木防己（アオツヅラフジ）の全有效成分を抽出し、內服に便宜なる錠劑に調製せるロイマチス、神經痛特效藥なり

適應症　神經痛・ロイマチス・腰痛

デノミン

獻呈　說明書　無代贈呈

大阪道修町・東京日本橋岩附町
株式會社　塩野義商店

海州發見の二石佛（中）

海州　白井生

大きに第二の發見佛は錦山の大盤石の池洞、即ち有名な山城の溪谷下の溪谷に立たす彌勒佛で古くから里人に崇拜され、海州から瀑布を見物するために押掛ける士女の間にもよく知られて居たのを佛の金鳴岬君が武田博士に紹介して腰を拔かさしめた彌勒佛である。平の腹部心と肩拔けさ加減は今秋大城利武、田中十藏二氏と共に來遊に際し、はじめて發見されたもの、巖に隨從して遺憾なく露呈された。山城はこの溪谷に面する方に高さ約千二百尺におよぶ巨巖、即ち太鼓の胴形の大巖壁をつくり、これから剝離し來る花崗岩の大塊石は霜柯として彌勒佛の東方なる寺刹址に落ち重なり、眼い城の水は東門址の銚子口（高さ約八七五尺）から約四百尺の溪谷を流れ下つて深い紅葉の間に混々碎けし、泡沫は天風に誘はれて時に佛座の周圍を繞る巨大の松樹や水楢の林に發散し、折々鮮やかな虹霓を彼方此方に出沒せしめる。巨巖を下り大石を辯り彼自らのつくり成せる觀光路をたどる溪流は亂山の間を縫つて遠く抱川に大部に落入る。この山この水、縱横なし正に絶勝である。

わが彌勒佛は里人の更き上げた野石の高壇を据ゑられ、巖に千古斧鉞を知らぬ松や水楢の深い自然林に圍はれて、いとも靜かに立たせ給ふ。附近は清め清められて一點のあくた留めず、ちるにはおしき美しい落葉が一面に散重の錦を敷いて居る。

彌勒の高、目測一丈二尺位、下部二尺以上地中に埋められ頭部には平石より成れる冠を頂かせ眼細く長く眉は三日月形にて鼻白毫を頂き口元端正、相貌極めて端麗で遙々觀望を如き感覚をたゝへます。右手に蓮を持して、さだかに見分け難きが左手には大根を輪切にしたる如き物を後生大事に捧げます。このアットリビュートは蛙十に顧、モガにハントバッグの格にて孤獣の佛様が婦人で擬觀される持ち物であるが、われ等には上く判らぬ。服裝の衣紋や胸部以下はあらく／＼ときざみ成して特に頭部の端麗妙雛の御相貌を引立たせた所は凡手の企及し難き所。この顏容より推すと北鮮より、ずつと進んだ新羅の手法を繼承したものとおもはれ如何にも傑秀の御作と。恐らく高麗前期のものかと考へられる。たゞ迷信にとらはれたオモニーの仕業か、惜しいのは御鼻を缺き去つたことでハナハダ遺憾など月並の駄洒落どころではない。

この彌勒佛東方の寺址に八壁をもつ大鑑石があへてその表面には五重塔の塔身や屋蓋が狼藉として殘つたのは懶眼な大院先生により見つけ出され、殊にその塔式は同氏が高句麗塔として紹介された江原道塔山塔に類似する所からこの寺が高句麗時代の所建であらうと推測された所、奇なるかな、妙なるかな、この際この時自動車の團體手盛が瀧に遊ぶおよび魚の交ある古瓦、それは同先生によつて寵ひもなき高句麗瓦と鑑定された。この地方に初めて古瓦を探し出したではない。かず探險には誰かの行いて來た。一同血眼になつてこの珍瓦をあさり始めたが一隊は月が鳴いたか時鳥か、あとはとあきらめて引上げたが熱心家の早瀨氏は眼鏡や紙入を何れへか紛失されるなどの珍事が持ち上がつた。

平安南道

平壤商議の機能救濟に奔走
各有力者戮力して

一日も速かに平壤商業會議所を機能停止から救濟せよといふ氣運は日一日と濃厚になりつゝあるが大塚（平壤每日社長）、元頭（長谷川）、元平壤府（？）の諸氏は一柳、松井氏その他と共に屢々會合してこれが救濟にあたるべく種々努力しつゝあり平壤土木建築業組合の諸氏も同組合の幹部氏その他と共に努めこれ等の人々は相擕へて力を致すことゝなる模樣で今や定員數の問題の如きは問題とされず内鮮人共に機能救濟に向つて努力を致さんとしつゝあり、こゝ數日を出でずして會議所會員としての同所機能救濟運動化を見るべく觀測されてゐる

デーときめ當日は午後六時から同八時まで府内の要所に警官を配置して諸車の取締を行ひ交通事故防止に努めることになつたが自轉車の燈火は從來は提灯を片手に持つてゐても燈火したものと認められてゐたが今後は車體の前部に燈火してゐないものは前部に燈火してゐても違反者として處罰することになつたので一般に注意されたい（平壤）

家賃値下げ運動
各團體起つ

平壤における家賃値下げ運動は遂に擴大し今や内鮮支人により猛運動が續けられてゐるがその中でも借家人側の運動は一層猛烈で眼目ある團體となり各商業團體を糾合して値下げ運動の火蓋を切つてゐたが更に借家人大會を九日午後七時から白銀町府公會堂に開き協議の上借家人大同盟を組成することになり四日内鮮人有志が集まつて案内狀を發したがいよ／＼近く内鮮支人借家人擬總して家賃値下げの大運動が開始されるはずである（平壤）

選擧は何日？
噂にのぼる立候補者

平壤商業會議所議員選擧は何時行はるゝこととなるか見當がつき兼ねてゐるが停止されてゐる機能は近く復活すべく準備され機能復活と同時に名乘りをあげんと準備されてゐる向きも少くない模樣である。ある消息通の談によるとその理由はこれにする處があるとすると一度解職した關係もあり他面辭職した評議員諸氏は今度だけは出馬せず他の新顏を出馬せしめては如何との説が高まりつゝあり未だ明確せんとする向きは全くない實際で新顏として目下噂の三浦氏、朝鮮製糸會社の松井氏、内鮮ゴムの内藤直次郎氏、非同盟の非手米次氏、川崎平三郎氏、一柳兵五郎氏、督促部長の山本正藏氏など内地人側では早くも候補者の噂を生んでゐるが三浦氏は多分出馬せざるべく觀測されてゐる又鮮人側では未だ噂を聞かぬが新進の人々が出馬せんと觀測されてゐる（平壤）

學務局長視察　武部學務局長は五日平南黄海道より鎭南浦にて來浦各學校長學務組合議員の出迎へを受け府尹室にて小憩その間各學校、府尹室にて小憩その後府内の三高普學校を視察し午後は鎭南浦地方の學校を視察し南市場を觀て京城に向つたが途中江西古墳をも觀察した（鎭南浦）

高射砲隊開隊式
一月中旬盛大に擧行

平壤に新設される高射砲隊の兵舍は歩兵七十七聯隊の隣接地へ建設中であつたが去月二十五日竣工し屯營側の檢査も終つて正式に引き渡され今はたゞ聯山野砲隊から分離し獨立隊として、隊長の入隊を待つばかりとなつてゐるがいよ／＼來る十日午後三時六分平壤着列車…

車取締デー

平壤署では年末が迫り商品取引が頻繁になるにつれこれを運搬する諸車の交通が頻繁となり從つて交通事故が増加するので六日、十日、十六日、二十日の四日を諸車取締

慶尚南道

不安に襲はれた呪はしき五日
釜山の大火後報

五日の釜山は全く通り魔に襲はれた狀態にて同日午前一時過ぎ大新町四丁目以北末松方より發火して三棟九戸を燒失しポンプ一臺する間もなく午前五時頃狀の消防手三名まで出す慘事にて釜山驛の三階屋上まで延上する大火となり一時は消防手と警官とは燒け跡の整理その他に忙殺されへト／＼となつて漸く一段落だと思はれる午後三時頃になつて又々釜山谷町二丁目二四番地金某方より出火の警報があつたので府内消防組および多數の警官が出動して逸早く消しとめ損害も極めて輕微にしてすんだが釜山府民は今や極度の恐怖と不安に襲はれてゐる狀態である（釜山）

火を筆頭として今回の慘事までに大小百七回の火災にて總損害額五十萬圓をくだらぬ見込であるが最近の火災はいづれも燒家屋が多いのは防火設備の不完全なるに歸因し殊に五日燒燬の火災に當たつて出頭なる犧牲者を出すに至つたのは水產機械の顧る中心的防火設備

合財袋

◇…平壤府内船橋里大同江水上勞働組合長金基永は船夫の殺務方途を消した嫌疑で平壤署高等係りで召喚して取調べ中であつたが約一千五百圓を橫領費消していること確實となつたので五日金基永を檢事局へ送付されたので事件は司法係では金基永を橫領被疑者として拘置し引續き嚴重取調べ中である

◇…陸軍省活動寫眞撮影班の一行は七日來壤し八日牡丹臺一帶及船橋里忠魂碑等の日常の靈南を撮影の古戰場をフイルムに收めることになつた

◇…新任騎兵第二旅團長西田砲兵少佐以下騎兵將校二十名が先發隊として來壤し後程する兵卒約三百名の入營準備にとりかゝることになつた、同隊は十二月十五日頃隊式を擧行するはずであつたが意外に編成準備がとゝのはずために豫定より遲れて明年一月中旬頃晴々しく開隊式を擧行することに決定したので多年の懸案であつた平壤の防空も明年一月を以て完備し既設の平壤飛行隊六聯隊と相まつて東洋の防衛に一段と威力を加へ防空設備は完全無缺となる譯である（平壤）

◇…平壤第三十三師管下の各聯隊兵は九日七十七聯隊練兵場に於て上原二十師團長立會の上で觀閱官臨時中佐により施行されることになつた

◇…鎭南浦後浦里雜貨店主承鉉（二〇）は去る十月碑石里　崔某方に押し入り崔氏の妹（一八）を短刀で脅迫したが果さず捕はれた後四日公判に於て懲役六ケ月を求刑したが官渡しは來る十二日である

◇…平壤府内船橋里祖國方朴氏（四三）は約十年前寡婦となり一人淋しく暮らしてゐる同去る一月頃本籍地成川郡三德面新德里金燮俠（一四〇）と關係し姙娠したが世間態を恥ぢ五月頃來壤して前記伯父の家に寄寓してゐる中先月廿五日午前三時頃女兒を分娩したが始末に困り臍の緒を以て絞殺した後風呂敷包みとなし同家と隣家との間に隱してゐたこと發覺し五日平壤署員に逮捕された

山口校長葬儀

鎭南浦女學校長故山口宇造氏の葬儀は五日午後三時高野山大乘寺において執行した道知事代理鎭南浦府尹、學務課長平壤高等女學校長川添鎭南浦府尹、商議會頭外官民生徒父兄女學生等多數參列し近來稀な盛儀だつた（鎭南浦）

精勵格勤の
中上金藏氏

同氏は長崎縣下縣郡双加留村字志多保の人本年二十六才にて大正十二年九月より消防組消防手となり精勵格勤をもつて表彰されて今日に及び同氏は櫻木町三丁目賀島歸郎上藏三郎氏の甥にあたり家庭には一昨年結婚した妻千代（二二）との二人暮らしであるが兩氏とも府民よりいたく同情されてゐる

模範消防手
楠野與一氏
職に殉じた

府民のため最後の一線にたつて壯烈なる殉職を遂げた楠野與一氏は大分縣字佐郡高城村宇谷崎の人本年五十一歳、大正四年三月釜山消防夫として採用され大正十二年三月消防手を拜命し草梁詰所に勤務し大正十五年一月消防組長を受けて以來無缺勤にて稀に見る模範消防手として推奨され家庭には妻タケ（四〇）との間に長男義雄、三男慶雄（一九）四男敏男（二）五男敏一（二）長女　女學校（二）の五人あり

最初の組葬
盛大に執行

いたましき殉職消防手は釜山消防組始まつて以來はじめての

釜山の起債困難

釜山府では昭和四年度事業として工事、釜山鎭市場設置、公設質屋事業に何れも認可となつたので漸く施行方法について調査をすゝめつゝあるが下水道および釜山鎭公設市場費十四萬圓および公設質屋二萬圓の起債に就ては大藏省の如き擬議方法にて起債する豫定であるが難しく▲水木工事費起債十四萬圓四年度より十年間償還▲釜山鎭公設市場起債四年度より十年間に元利共に四二一五圓

馬山府議會

新年度の初顏合せ

改選後の馬山府議會は第一回を七日午後三時から府廳する今期は新議員の顏合せで新規の附議を兼ねる議會であり公有する公有水面埋立免許願に關する件、水道給水條例改定の件、水道給外水條例設定の件
を付議することゝなつた（馬山）

馬山埋立免許出願

京城府高藥派一および馬山府永樂久能の兩名は馬山府濱町三丁目および本町四、五丁目地先公有水面三千三百五坪八三に對し埋立免許を出願したがその目的は酒造業工場に鐵道工事を使用するのであるその工事設置せらることは確に南馬山方面においての希望もあり是非完成のあかつきは府内の繁榮を助長する意味において一般に好感を以て迎へてゐる（馬山）

府民の同情集る

釜山消防組に府民の同情は集中されてゐるが五日未明の火災に對して奮闘した釜山消防組の組長初め消防手に對して各方面より義捐金の寄附あり義倉氏より金百圓、福田宮長より五十圓および市弘中、那須各氏をはじめ各方面より續々酒肴料その他の寄贈があつた（釜山）

水道使用希望募集

馬山上水道は既報の如く近々完成することになつて居る、しかして一般に給水の開始をするのは昭和五年四月一日からであるが目下その專用栓および私設共用栓申込希望者の募集を開始したが府外の者にも特に條例を設け給水すること

記念章傳達式

御大典記念章傳達式は御大典地方の光榮に浴した全羅南道内千五百八十一名に對し慶尚北道より傳達すべく五日道廳に於いて擧行したので職員は即日各郡あて移送した（光州）

肥料講習會

全南農會では六日から二日間農會議室において水原農事試驗場より三原技師をまねき肥料講習會を開催した全羅南道農會の各郡技手、技術員百五十餘名の參列をみた（光州）

全羅南道

農事技術員會議

全羅南道農事技術員會議は三日午前十時より道會議室に於て内務部長指揮の下に開催せられたが日程は第一日知事の訓示および指示事項に入り午後は雜事項に入り第二日目は午後酒類品評會の件を協議し五日終了した

忠清北道

酒類品評會
褒賞授與式

忠北道第二回酒類品評會の褒賞授與式は五日午前十一時から道會議室において擧行し褒賞を授與した、入賞者氏名左の如し
▲優賞　清州郡本町　酒類同業　…
その他一等數十名、二等若干名である（清州）

一、早害地方に於ける稅務の保管二、水稻種下更新後に於ける品種に關する件
一、麥作改良其他に關する件
一、堆肥擴大督勵の件
二、各穀物の生産および成績に關する件

知事指示事項左の如し（光州）

阿火學議選擧

◇「まつ節約！」の標語ポスター一萬枚並に消口總理大臣および鄭山内務部長講演要旨等印刷のパンフレット數千部を府郡各所守當局あてそれ／＼配附した（大邱）

擧結果

慶北永川郡阿火學校組合會議員選擧は三日施行左の如く當選（大邱）
十七票　石井健太郎
十二票　久保友一
十二票　鈴木一馬
十二票　佐藤忍二
十一票　長岡正重
十一票　富阪市太郎

四人組强盜
全部捕はる

去る一日午前三時慶北高靈郡開津面金洞里徐某方へ短刀、鐵棒等を持つた四人組强盜が押入り時間を費やし二千圓の現金を奪つたが持ち合せなく家捜して一圓の錢品を強奪して逃走した事件に就ては高靈警察では犯人捜査中右は同洞金俊峰（三一）同洞金米頭（二三）同金且玉（三三）の四名と判明四日逮捕した（大邱）

感心な家主
二割五分の値下げ

昨今家貸値下げ問題が全鮮的に論ぜられてゐるが慶北道内にはこの興論に從つて家貸を値下げするものもない折慶北泉川郡の太洞二六金希宅氏は自己の貸家八戸に對し約二割五分の引下げを斷行施行してゐるが同氏はかつて同地に十一月にさかのぼつてこれを實施したことがあり社會事業、教育長をつとめたことがあり社會慈善家で同氏の借家人は他の借家人の羨望のまとゝなつてゐる

慶尚北道

訓示を聞きつゝ惡心を起す
奉化郡廳の雇員が救濟費を騙取逃走

慶北奉化郡廳に勤務してゐた雇員李某は二日午前九時頃郡廳で郡守訓示中に若月郡守が郡守室にあつて訓示中になる一團にて郡に出張中の郡職員扶助救濟費として送付した慶北道の書類あて給與の決裁を經て慶北道より本物の書類を盗み出し前記押捺書類を出して發信帳を作り認印を押しそのまゝ郵便局に入り二千四百圓をおろし逃走したが郡では第二回目の騙取が二千四百圓を受け取り行方を晦ましたが東に三日に至り郡から道への照會と警察とにより初めてこの事が判明したことによつてこの事實が判明した

慶北奉化郡面邑吏出兩班の息子李（二三）は果自轉車は同郡の城山面衛兵里に乘つて逃走してあつた犯人は今だ逮捕されない

先づ節約

パンフレットを配布

慶尚北道では近來の農業の慘禍と金解禁の實施に伴ふ經濟界の不況とに鑑みすでに十月二十六日附を以て管内一般に通牒を發して各郡公署、學校、各種團體に對して一般節約についての申合せをなし實行中であるがその成績に就ても大々的にこの趣旨を普及徹底する必要を認め道内一齊に經濟節約緊縮運動を強調すること

南鮮

二日旅（四）

徒詩三

晝月とかいふ家で午飯をとることになつた、酒の都の同業諸君には可なり左利きの人も多いらしかつたが、晝間の酒は落ついて嗜へないのが物たりなかつた。それでも朝鮮の定期船が出るまでにはとうとう醉なる事が出來た。

◇

灌漑通りの小型船で鎭海に向つた。海を見ることはすきだが、島にはあまり親しんでゐないらしい自分ではあつたが、すべる樣に進んで行く鮮かな船の風光はまたなく嬉しいものだつた。日川事遊の鎭海の船長の仕事さんがしきりに説明してくれたのは、この船のうしろのあをかの灣を見なれた目ではあの澄みわたつた紺碧の海がめづらしかつた。へさきに碎くる浪がしらが奇麗だつた。また秋の名殘りが殘つてゐる島山もたゞ通りすがりに一瞥するだけでは惜しいとも思つてみた。

◇

鎭海が見える。陸運鎭三、四連が手持無沙汰に停泊してゐる。すばらしい戰艦だ。鎭海要港を苦もなく呑み込む灣だ。外海に面して自然の防波堤をなす島が海軍に騎へて深紺色に浮いてゐる。そうして、都る／＼鎭海をこきまぜたこの風光にはとめいたそのかみのミリタリズムの景観が鎭海のなかに殘はつてゐる。

◇

て思た。旅客にかけては鎭海の通中猶ひでもこれには一指も染ぬだから、もつてその間の事情が察知されやう。汽船からあがつて直に日本海々戰の記念塔にあがつた。灣内を一望におさめる丘陵の上に白亞の塔がそびへてゐる。東鄉さんの題字や、齋藤さんの碑文やらがあつた。

◇

記念碑から海軍の飛行機落定地やつと出來あがりかけた鎭海要港工事を見た。將來は千二百萬坪にま で擴張するといふことだつたが旅館に來たところに今まで見たどの驛舍よりもいゝと思つた。たゞ安樂と遊興と聯わくの作業があからしいと思つてあとを見いたら將來の鎭海を誇示したものだつた。

◇

海軍だから完成を目標に順序的にあゝしたのだそうだ。

◇

鎭海の要港部を見た。水産試驗所長にいはせると東洋一だそうであるが多數の技師がすつかりとりのつてゐた。熱心に案内して説明してくれた。主任さんの話では、鎭海で盛んに起る水利事業の水源池に灌漑する一大事業の予供を竣成するのが差あたつての目的だといふのである、五月頃に生れた鯉子が十月頃には目の丹七、八寸になると聞いて驚くほどの發育振りだつた。こゝ四、五年したらおいしいひごくが鮮内至るところで食べることになると聞いて「はゝア」と分つたやうな顏をして襟を正した。

◇

配布した鯉りの鯉子がなほ少しあつた、こんなのをつくだ煮にでもしたらどうだらう」と誰かゞいつたら後から「主任さんどうです食つたことがありますか……多少は役とくもありませうネ……」と空氣を入れるも、興味目一方のこの主任さんのことだ「いや決して……尤もたゞ一度大きいのを釜山の本所で試食しましたがおいしいです」といふ。この鯉は鄕國湖の鯉だとか、これがすんだら今度は「カルメイチ」の孵化にかゝるとかいろ／＼聞かされて、さかなの孵兒院の大將になつてゐるのも容ん氣でよからうと考へて見た。

消防の充實を計る

多期のいはゆる火災シーズンに入つた釜山は最近に至つて殊に頻發の傾向で府民の不安は極度に達したが本社所屬以來二月二十七日の大倉町商品陳列館の

京畿道

簡保最初の受領者

一回掛けたのみで死亡

仁川山根町自轉車工場主谷地太郎（三）は去る十月簡易保險に加入し一回一圓の掛金をしたばかりであるが十一月十七日腸チブスで死亡し三日契約額三百五十六圓を受領したこれが仁川府内における簡易保險受領の最初の人である（仁川）

仁川の小火

五日午後一時二十分頃寺町三〇の西岡勝典（三二）方から出火し居間若干を燒いて四十分鎭火したが原因は不在中オンドル内に火鉢を置きその上に衣類をかけてあつたものが落ち込んで發火したらしい（仁川）

獻金

仁川府山手町カフエー小川釧市氏は弟登（二〇）氏が本月一日一年志願兵として入營する筈であつたが病氣のため不合格となり入營に際して諸費まで賄つたことは誠に相すまぬとて五日仁川府に對し金百圓を國防費へ獻金した（仁川）

龍山だより

◇近人の文士。軍人といふても無藝の軍人が多い間に文士になつても食ひはぐれのない將校もある。殊に龍山歩兵第七十八聯隊第五中隊の軍守中尉の如き然り文士になつてしまつてゐる。同中尉はかねて文藝に志厚く

◇鑑賞に熱心。

地方人事

▲白根龍四郎氏（國際通運會社釜山支店長）京城より五日歸任
▲栗田源作氏（鐵道局池事務所長）四日朝釜山上陸更に京城に一泊
▲家族同伴五日着任
▲今村鮮北知事　出張中の處四日歸京
▲北鮮消防務課長　同上
▲安藤全北内務部長　六日大田官舍に於て公衆來訪の挨拶をなした
▲多賀慶北財務部長　六日大田通過赴任
▲南黄海道參與官　七日大田通過赴任
▲同　氏（全羅郡守）前忠南知事送別會列席のため三日上京し四日歸公
▲李泰九氏（唐津郡守）同上
▲市野澤西之助氏（論山郡守）四日公州へ歸任
▲瀬谷陽氏（禮山郡守）前忠南知事見送のため四日上京五日歸公
▲洪淳栢氏（洪城郡守）同上
▲金容晟氏（保寧郡守）同上
▲神谷慶南財務部長　八日午前十一時十二分裡里通過赴任
▲大島平壤府尹　七日午前十一時十二分裡里通過赴任平壤へは十日午後三時六分
▲石本前平南警察部長　五日家族同伴退鮮
▲三浦釘氏（日本郵船事務）五日東上
▲松井前平壤府尹　八日午後二時一分平壤發途中京城に於いて事務の引繼をなし上海の管
▲堀川市治氏（鐵南浦府尹）十四日就任の豫定
▲齋藤平南學務課長　五日鎭南浦へ出張

黄海道

朝鮮人溺死

六日午後五時頃仁川府に面する海岸に四十歳前後の朝鮮人の溺死體が發見されたが住所氏名不明なるも發掘行の印鑑を所持してゐた（仁川）

◇官民の懇親會　南軍司令官は八日夜官邸に顧問した官民數十名の職員である

◇忘年會　警務局では出入記者を七日夜朝鮮ホテル食堂に招いて忘年會を催く。また軍司令部でも九日夜花月に出入記者を招いて忘年の宴を張るはずである

◇關東の許可を得て大塚記念館建築委員長に黒板勝太郎の假名で寄附「一團を開く」を出して一等賞、賞金一千圓を得た

沙里院から

◇阿波氏の醜聞　沙里院面長留氏の交際問題が醜聞として同氏から鄭面の地人に醜聞を見出したから今地方議會に醜し排成者では二回にもわたり答敷の會合を求めたがその都度出席者が少いで流會となつた、それだからゆかね

◇理屈家にいはせると朝鮮人側から一人面會員長が出て居るのに殊に内地人側からこれをえらんで増加する必要など認めないのだそうだがそんな事をいつて居た日には又々問題は逆戻りだこの際面民の理解をはかるならば阿波氏の意思を尊重するに限る

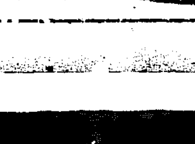
◇論壇がならうと、別に報酬のいる譯ではあるまいし、なんなら三人でも五人でも選出して然るべしだが餘りに又新顏が多くてはかへつて事に船を越ざあげやう、この意味においても内鮮各一人とする事は最も適宜の策であらう

結核性の貧血と食慾不振に
ヘパトーゼ

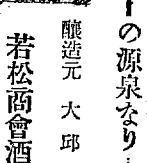
日本最初の肝臓製劑

動物の肝臟は古くより結核患者の强壯劑として民間的に賞用されましたが今やその効力は科學的に確證さるゝに至りました。ヘパトーゼは最も良き肝臟製劑として各地の大病院及び結核療養所に於て賞用され効果が非常に的確で短時日に元氣を恢復し、血色を良くし、抵抗力を增强すると喀血又は吐血後の衰弱に對しては缺く可からざるものとして愛用さるゝに至りました。

發賣元　東京市日本橋區本町　株式會社田邊元三郎商店



最優等銘酒



晩餐の卓上
ワカマツの一盞は……
エナーヂーの源泉なり……
釀造元　大邱
若松商會酒造場

育兒の寶
マルツエキス

肥らぬお兒樣や
通じの惡いお兒樣の
唯一無二の營養劑

▲詳細説明書は御申越次第郵呈す
▲全國有名藥店食料品店にて販賣す
▲近頃にせものあり和光堂製と御指名御買求めを乞ふ

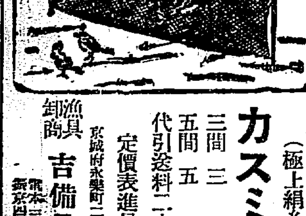
本店　東京市神田區鍛冶町九
支店　大阪市南久太郎町
株式會社　和光堂

〇模造品あり製造元に御注意

營業課目
米穀　雜穀　米穀
精米　委託　賣買
外米　輸入
私設保稅倉庫
一般倉庫代理業
保險代理業

朝鮮鎭南浦
新井新藏商店

電話長　三四四・三四四七六
振替口座　京城一四九七一三
電略（ア）又は（アライ）



國産捕鳥（極上絹糸製）
カスミ網
三間　三圓
五間　五圓
代引送料二十五錢
定價表進呈

漁具卸商　吉備商會
京城府永樂町二丁目
電話本局三一一四番
振替京城四三三八番

京城通信

朴相駿知事退耕

京城　一記者

咸鏡北道知事朴相駿氏、このたび知事を罷め鏡城郡外邑面里に退耕す。一詩を賦して感懷を寄せ來る。」

民衆依然不改容　從勞心血熱還々
仁天雨露恩無始　從作昭代一動々
多年戶位無光榮　代謝當然世莫怨
起覺心身知羽化　來時事荷去一輕
卿於物皆返損非　同國公私總算還
一部無事頭半白　歸時自恨太過歸
人世不關閑門　半生獨步幾消魂
三間選羨躍朔菜　今日方知當我分
退臥田廬忘是非　但教伴友前無還
閑居始知江湖樂　明月清督昇約

×

あたかも歸去來辭を讀むの感がある。先生齡五十二歲、いまだ大いに春秋に富み、これよりみづから野に田を以て居らんとす。從來昭代一動とはけだしその意である。先生は少壯寒耕に從ひつぶさに艱苦をなめつくし、牧民に從ふて遂に「百姓知事」の稱を得て居る。今退耕するもまた朝鮮の農事改良に心力を傾注すべしと語つて居る。

×

記者は朝鮮に二宮尊德なきを憾んで居る。これを大にして朝鮮統治の樣式について左右の施設は、これを小にして民生福祉の增進について百千の口舌なきにあらず、たゞ記者はそれ等の喧噪を厭ふて、白衣を着て草鞋を穿ち長老の、村から村へ百姓の本、農事第一の大自活道を弘布するもののなきをなげかつて居るのである。劍岡先生はすなはちそれに近い。

忠清南道

社交機關 交友會

十日發會式を擧ぐ

大田郡守崔敬恒氏の提唱にかゝる各官廳、銀行、會社、學校の主腦者相互の親睦、聯絡を圖り社交機關を組織し隔月一回會合して意見を交換し大田の發展に寄與すべく交友會を組織すべく來る十日午後五時より松葉亭において發會式を擧行すべく準備中である（大田）

婦人懇話會

大田高女の試み

大田高等女學校では近時實際されつゝある社會問題或は生活改善に資すべく七日午後一時より生徒の母姉および市內各方面の主なる婦人の會合を求め婦人懇話會を開催し左記各項目に關し懇談をなすはずである（大田）

一、どんな家計簿をお使ひになつて居ますか
一、物の買ひ方はどう云ふ風にして居られますか
一、臺所に要する時間を少くする工夫
一、食物の料理法で特に注意せられて居る點
一、燃料
一、衣服問題に就て
一、子供の躾方につきてのお考へ
一、子供の間食はどの程度でどういふものを
一、子供の小使錢
一、衛生上の注意
一、勉強の指導法
一、宗教々育につきお考へ
一、兄弟喧嘩、言葉遣、行儀等に就て
一、家庭娛樂、運動
一、結婚（相手の選擇法、見合交際、式、道具、衣裳）等につきお意見とお心付

全羅北道

群山港輸移出米

十一月中二十五萬石

群山港十一月中における輸移出米は玄米二十萬二千余石、精米四萬一千余石、碎米八千余石、その他の米二千余石合計二十四萬六千余石で前年同期に比し八萬九千余石を增加し一月以降の累計實に一百六萬一千余石に達したが前年同期に比すれば三十七萬五千余石の減少をなして居るが一面から見れば農家の好成績を擧げて居る點も昭和二年十二月中の輸移出數量は二十九萬八千余石で群山開港以來の記錄を作り大正十五年の十一月はこれにつぎて二十四萬一千余石を移出したが當月は五千余石を增加し開港以來の第二の記錄を作つたのであるがその第一の理由は一般農家が比較的有利であり逐年增加し本年は特にその生產を激增したこと第二既往二ケ年にわたる減收のため中流以下の農家は殆ど貯藏米を有する者なく既往の負債が輕迫せる結果收穫を待つて賣急ぎたるため第三收穫後の天候良好なりしため乾燥に便なりしを、第四內地の品揃れにて需要多かりしこと、第五相場の順調なりしこと、第六先安の見込なること等が原因をなした理由と當事者は語つた（群山）

裡里青訓設置打合せ

裡里における青年訓練所はさきに面事務所に職員の關合を進めてゐたが豫算削減のため本年中には實現不可能とされ頓ら悲觀されてゐたが、裡里在鄕軍人分會は最近當局より頻に交涉し來り本年中設置せぬときは徵兵の特典を失ふとのことで守田分會長は各地の狀況を視察し河本面長と種々打合せ六日在鄕軍人分會役員會を開きこれが下打合せをするところがあつた（裡里）

裡里懇話會　裡里懇話會にては八日午後一時から殖銀會館階上にて月例會を催す

裡里から

◇この間裡里では全北を去る三部長の送別會が開かれた。消費節約、財政緊縮、廢止緊縮の聲からであらう、宴會は特に安く二圓で會費は普通であつた

◇所が終り近くなつて二次會を一樂でやるから希望者はないかといふ布れを廻したものがあつたが記者はそれなら何で一番から一樂に開かぬのだ、それでは折角主催者が實行した節約も意味をなさぬではないかといふ心持ちが先に立つて遂に行かなかつた

◇行かなかつたもののやつぱり記者は氣持ちが惡かつた。行かなかつた人も記者と同じ心持ちであつたらう。

◇裡里では今までこんな時には何時も緊縮がこつそりやつたものだ。又やるならば一般にはごく內所でやつて貰つたが行かない者も氣持ちがいゝ。行きませんかといはれては一寸でも行かねばと思ふのが人情だ。それが迷惑でも。

◇この間なんかは殊に主催者が時節に氣をつけたやり方だけに公然二次會の勸誘は出席者も困り、存の主催者も無意識にし定めし主催者は本意なかつたであらう

咸鏡南道

道を擧げて公私經濟の緊縮

一府十六郡に委員會設置

大々的運動を開始

政府の緊縮方針に基づいて咸南道では道廳を始め道內一府十六郡に公私經濟緊縮運動實行委員會を設け緊縮運動をおこすべく既に委員會組織準備中の處道廳における委員會はすでに五日組織を見たので一府十六郡の委員會設置と共に一大緊縮運動を開始するとゝなつたが右の外左の如く一月四月七月十月の一年四回にわたり勤儉貯蓄の實を擧げるとゝなつた（咸興）

十五日　早起日
十六日　汗の日（勤勞日）
十七日　克己日
十八日　節食日
十九日　愛の日
二十日　時間尊重日
廿一日　貯蓄日

虛禮を廢止

咸興署では緊縮節約の點から從來慣習的に呼ばれるやうになつたので今年は署員間における年末年始の贈答および過禮等虛禮にわたるものは廢止するやう五日署員一同および管下各駐在所に署長より通牒を發した（咸興）

賣藥違反者を告發

咸興署では數日前咸興市內における賣藥業者および賣藥請賣業者に對し藥品巡視を行つたが賣藥業者で患者を診察し齒科醫生等にわたり藥品巡視を行つて藥を調劑してやつたのをはじめとし十數件の違反者を發見したが內四名を告發した（咸興）

賭博團捕る

咸興面中荷里二二二番地張某（三二）外十一名より成る賭博團は咸興郡西湖里の自宅で賭具を設けて「モイッチョ」と稱する賭博を開帳してゐたが五日夕咸興署員に踏込まれ一網打盡に逮捕された（咸興）

平安北道

零下廿五度

咸北地方の四日の氣溫は零下二十五度を示した（雄基）

吹雪の爲め針路を誤る

自動車顚覆の原因

平北碧潼郡北新面における熙川平安自動車商會の大型十七人乘自動車顚覆事件の現場は道路幅十二尺のところで左方は山に接し約九十度の傾斜をなし右側は鴨綠江に面し約三十尺の斷崖になつてゐるところでその日は折あしく吹雪のため運轉手柴崎の窓硝子に雪が積つて見通しがきかずカーブに氣がついたときにはすでに自動車の前輪が道路の中央にあつたのであわてゝ制動機をとめたが左に廻ることも出來ず惰力によつて江中に轉落したものであるなほ當時の乘客たる慈城署に赴任の途にあつた金群主任は生命危篤に瀕し江界邑金明俊氏は手當ての甲斐なく三日遂に死亡した（新義州）

松澤內務部長着任

新任平北內務部長松澤國治氏は夫人同伴五日午前十一時半新義州驛着列車にて來任したが驛に伊達知事、道內務部長、西野平北警察部長、道參與官、渠山財務部長その他道各課長、伊藤府尹、新讀商事正、伊藤警察署長、田部第二守備隊長、淺田稅關長、加藤商議會頭、平田製紙工場長等多數官民の出迎へあり驛頭は一時混雜したほどである氏は語る

「新義州には大正十三年の春から約一年半ゐたので大分知己もあり何かに就て都合がよいと思ふ其の當時は營林廠にゐたので仕事こそ違ふが上流地方も視察したことがあるから多少の豫備知識は持つてゐるが今度はこんなものは全部洗ひ流して新規蒔き直しでまた平北を研究し平治に盡す考へである」（新義州）

咸鏡北道

會寧雜俎

◇會寧公立普通學校では去る二十七日午前十一時二十分安藤校長は職員の訓練を目的として職員の非常召集を行つた時刻は零下八度の嚴寒深夜をものともせず彼我競ふて登校したが約一時間にして二十二名全員集合安藤校長一場の訓示あつて午前二時三十分散會した

◇會寧大正通りでは例年の如く一日から月末迄景品付き大賣出を開始した

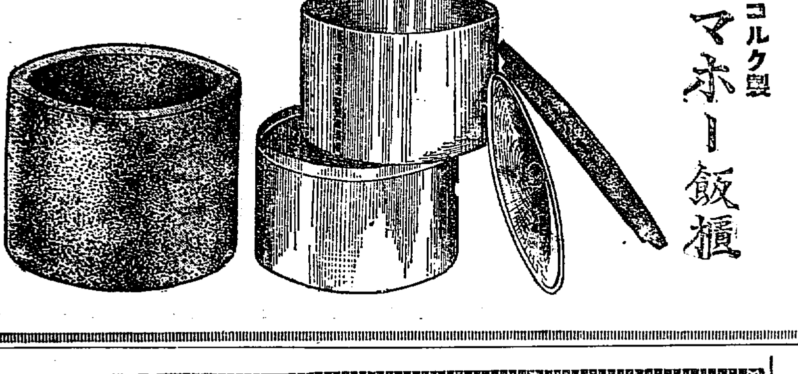
◇會寧公立普通學校工業補習科は工業用器具を內地に注文中であつたが漸く器具一切到着したので三十四名の生徒はこの目的の工業實習が出來るとて大喜びをして居る

◇會寧月浦會では一日午後九時から會寧神社々務所で月並會を催した出席者十七名席上有益な發表あり特に時間勵行の實風は他にみざる痛快であつたといふ本會は最初氏子の代表代の會の月並であつたが最近に至り敬神者の入會希望加入者あり日を追ふて盛會に向ひつゝある

◇會寧京畿道で金物商を經營しつゝある小島三吉氏は今回商業一切を同島非村山商行に讓渡することとなり同商行はこれを會寧支店となし小島三吉氏を主任として從前の通り金物業を營む同商行代表者伊藤福一氏は小島三吉氏と共に市內各方面へ挨拶をする所があつた

◇保溫十二時間◇

特許　炭化コルク製　マホー飯櫃



特約店　京城本町　Ⓗ　平田百貨店

馬山清酒

緊縮時代には!!　馬山清酒を召せ

家庭の常用や正月用に　一般から最も歡迎される

名實共に全鮮第一

朝鮮の灘として隆々たる名聲を博せる慶尚南道馬山には現在屈指の酒造家十三軒を有し、夫々特色ある十三種類の清酒が年と倶に年々著しい伸展力を以て全鮮はもとより滿洲及び內地までも進出し斯界の白眉として素晴しい人氣を呼んで居る。

◇即ち馬山酒は明治三十七年早くも創業されしを濫觴として大正五年に朝鮮に酒稅令施行年に生產が三千五百九十五石の昭和三酒造年度に於ては一躍壹萬八百二十三石に激增し、其の生產明かに朝鮮內第一の造石數を示しである。而も各酒造家は相擧りて規模の擴張をなすあり、遂に造石數參萬石を突破するは此處十年を出でざるべしとは一般の觀測するところ、又故なきに非ず、實に我釀造界の權威と謂はねばならぬ。

◇◇由來馬山の地は釀造地として地の利、氣候、水質等天惠の宜敷を得て居るのみならず、近傍に優秀なる原料米の產地を控えて、これに當業者が至誠と、獻身的努力と相俟ち、今日の名聲を博したことは云ふまでもなく、從つて其の特色ある品質と其の芳醇とは全く他に其の比を見ないのである。

今や國產奬勵緊縮節約の聲は各家庭に迄唱されて居る際、正月用を始めとし御常用に內地酒を排し、內地酒以上品質優良の馬山酒をお奬めするには最も適切な時機となつた。酒を愛する人々よ、各位は即時に內地酒を排し、即ち其の芳醇なる馬山酒を酌んで、朝鮮の灘、馬山酒の眞價を賞味せられんことを。

寫眞は馬山酒を生む馬山府全景

馬山酒造同業組合（イロハ順）

總督　井手酒造場
大典正宗　石橋酒造場
寒牡丹　原田酒造場
濱鶴　濱田酒造場
雛林　西田酒造場
富久鶴正宗　永武酒造場
艶綠　村崎酒造場
月の浦　松本酒造場
彌生　遠藤酒造場
櫻泉　昭和酒類株式會社
松の色　三好酒造場
大正櫻　清水酒造場
イヅツ平正宗　平井酒造場

一番よくきく

アレ止めは　クラブ美身クリーム

クラブ洗粉本店謹製の

此のクラブ美身クリームは素顔の美を增し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして……

大好評大人氣の　衛生的唯一の美身クリームなり

優良な技師に依て作られた優良な品

どうも頭が働かない……ては早速ノーシンを

辰馬汽船仁川出帆
昭吉丸　十二月　日　阪神、門司
辰山丸　十二月八日　阪神
天長丸　十二月　日　門司、阪神、名古屋
嘉泰丸　十二月　日　清水、芝浦
天正丸　十二月　日　阪神、名古屋、芝浦
辰東丸　月　日　阪神、清水、芝浦
仁川本町四丁目　仁川代理店　朝日組回漕部　電話五二八番・九六四番

尼ヶ崎汽船　仁川出帆
群山、阪神　正丸　月　日
群山、生木浦、阪神　玉丸　十二月六日
群山、城津、阪神　赤丸　十二月　日
伏見、群山、阪神　丸　十二月九日
群山、木浦、阪神　西福丸　十二月　日
尼崎汽船部　仁川代理店　高杉回漕部　仁川海岸町（電話九番）

大阪商船仁川出帆
神戸、大阪行（群山、木浦經由）　十二月　日
各船　名古屋、清水、横濱、東京行　十二月　日
大連行　十二月八日　日前九時
長崎、鹿兒島、三角行　十二月十四日
清津、雄基行　元山出帆　十二月　日
內地各港出帆主要航路
[illegible]
大阪商船株式會社仁川支店

嶋谷汽船仁川出帆
仁川、群山、木浦、釜山、浦項、伏木、新潟、函館、小樽
大連天津直行（大連、天津航路）
京城代理店　國際通運株式會社　仁川本町
仁川港町六　國田組支店　電話七二四番

仁川發　大連、長明、春成丸　十二月　日
鎭南浦發　日本北海道、樺太行（群山、木浦經由）
代理店三和町　日鮮商運出張所

森信汽船仁川出帆
江華線、延安線、白川線、牙山線、唐津線、南陽線、瑞山線
仁川代理店　森信汽船株式會社

鐵筆家間所氏の來城 東都刀筆界に特異を謳はれ、先年今上陛下登極御大典に際し『瑞雲高韻』および青竹の二種の作品を献上し御嘉納の光榮を擔つた間所錦帶氏が今秋金剛山探勝を思ひ立ちて來鮮、目下府内大和町曹谿禪寺に滞留中であるが、氏の來遊を傳へ聞いて、特色ある刀筆作品の依頼する向きも多數あり、暫く滞京を延期してそれらの需めに應ずると。こゝに揭載の寫眞は當地滯在中の作品である。

今日の文壇に對する要求（上）

神近市子

私どもの前に起こつていつも私どもの驚異となつてゐる近代工業の特徴の一つはその大仕かけな分業制による生產の樣式である。近代の工場で働いてゐる多くの勞働者は、つねにピン乃至はマッチの製造に從事しながら然も自分だけが製造するピン又はマッチの全體としての姿を見ることは殆ど許されてゐないのが普通である。彼等は僅に極く一部局限された小さな仕事を無限に繰返しながら生產されて行く物品を見るといふ喜びを全く奪はれてゐるのである。そしてその結果として生ずる彼等の肉體的、精神的の損傷については、永く何ものにも知られずに過ぎてゐたものであつた。」

然し最近に至つて、」この職業上の分業がこれに働く勞働者たちの肉體と精神とにどんな惡影響をおよぼすかといふことが一般によく知られて來た。時にそれが人類の精神に致命的な分裂と衰退とを與へて、そこから人間の生活に破綻を來してゐるといふ事實については人類は永く無關心でゐられるはずはなかつた。」

この科學的分業法は、生產組織の圏内で人間に全體としての生活意識を妨げ、勞働そのものによつて受ける人間の幸福と悦樂の大部分を奪つただけでなく、他の精神文化の範圍内においても同じ現象を誘導したものであつた。政治、宗教、教育、文藝などのやうな最も統一的であり全的であるべきを要するものにいたるまで分れて分業となり、そこに多種多樣の職業を生じ、一つ〳〵の職業につくものは限定された、自分の職業の圏内にあつて、自分たちが從事してゐる職業の全體としての目標なり目的なりを、何時の間にか見失つてゐるといふ滑稽で悲惨な狀態に陷つて來てしまつた。

◇

かうして職業化された文藝がその本質を喪失されたため、自分の目的と使命とを忘れかけたといふことは事實である。このことを今日の文藝の問題として考へ直して見ると、自然主義の勃興以來作家はいつも自分の極くせまい範圍の經驗もしくは體驗をあまりに重んじ、自分の個を離れた事象については、それを正視することさへ出來ない狀態に陷つてしまつた。その結果としてせまい自己とその周圍の生活が描かれる傾向となり、從つてその作品はごく偏狹な斷片的なもので一般にひろく讀者に訴へる力を缺いたもの となつて しまつた。

米の歌

角田不案

米といふ草の實を食らふべく豐葦原の民は命をいとほしみ生くか

米を食らふべく七千萬のはらからのいのちつなぐとは現のやうな眞實

はらからの數まさりゆくに米し足らず心もとなき世とはなりてけり

米といふ草の實無しに生きられずとは豐葦原の人等は實にこそあはれ

一粒の米の尊さたまきはるいのち生きのぶ國にてありけり

たまらなきありがたき心にじみきて一粒の米もいただきてみるか

しみじみと一粒の米をみつめつつ人の命を考へるなり

多忠亮氏の死

板垣生

傳へられるところによれば、わが樂壇の逸才、提琴家の多忠亮氏はこの三日遂に不歸の人となつたといふ。この春、閨秀畫家の女史が渡歐の途次、當地に立ち寄つた頃には、氏は病床について居て、女史の東京出發の時にも、氏の奧さんだけが見送りに見えたと女史が語つてゐたが、わが社が招じたハイドン・クワルテットが當地において、本年中の最高度の演奏會を催した前後には、餘程病勢の險いことを報ぜられたのであつた。その後あまり氏の噂を耳にしなかつたので、多分快方に向ひつゝあることゝ思つてゐたのだつたが、この訃報を得て今更のやうに諦め切れぬ樂界の損失を思はれてならない。

◇

いかなる方面の藝術においても さうであるが、藝術家特にステージに立つ人々の中には、隨分その生活態度なり私行なりに非難される人々が多い——それが藝術の方面なり、物質の方面なり、或は職業の方面なりに、餘りにも強く自分を伸ばし過ぎてる人々を數多く見る。かつての時代にはかうした自由なき窮激の生活態度が『藝術家らしい』ものに見做——寛容されたこともあつて、特技をもちその特技の世の中に認められることの大なる誤いはゆるこの『藝術家らしい』態度もひどかつた。多氏の場合においても、同時代の人々にかうした仲間が決して少いものではない。が氏は稀に見る人格者であつた。私の知つてる限りにおいて珍しく謹直な、しかも深みを持つた謙讓な藝術家であつた。その學究的な態度、落ちついた眞味な態度を持しながら、今日の樂壇の地位を得たことゝそれ自身が氏の人格を公正に値づけるものといつていゝだらう。それだけに氏の逸逝を惜まずにはをれない。

◇

鋼琴家の榊原直氏の名聲を冠した榊原トリオにおいて、平井保三氏と共にそのメムバーとして活躍した氏は、榊原氏のあゝした性格の持主であつたにも拘らず、隨分長い間堅實な結束振りで、榊原トリオをしてわが藝壇樂壇の權威たらしめたのであつたが、遂にこの團體が誇むべき破綻の日を見ずには濟かなかつた。がそれは決して多氏のひくべき責ではないであらう。その後の氏はハイドン・クワルテットのメムバーとして重きをなしてゐた。ハイドン・クワルテットにとつても氏の死が大きな打擊でなければならぬ。たとへ現在氏に代るべき第二ヴアイオリンひき手があるにしても。

◇

ハイドン・クワルテットは、第二ヴアイオリンの位置については多家によつて二重の大なる損失を蒙むつた。もと忠亮氏の以前には氏の令弟忠直氏がその位置を保つてゐたのであつたが令弟の病沒後氏がその位置を補たして來た。氏自ら『誰（忠直氏）は僕よりうまい』とほめてゐた令弟の占めた位置において、遂にその深い悲みをまぎらして來たのであつたが、それも長い年月ではなかつた。氏も亦令弟の後を追うて逝つたのである。かうしてハイドン・クワルテットの第二のヴアイオリンは多家からはのろはれたものとなつた。

逝つた多忠亮氏は主として東洋音樂學校に教鞭をとり、東京市民管絃樂のリーダーにも任じてゐた耳が少し遠かつたので仲間からは『ツン的』（つんぼ）などゝからかはれてゐた——それで私けいつも不思議に聯想する一人の女性があるが、矢張り耳が遠いのに立派に貢獻の歌澤の名取であり、最近文藝元の名を取つた。耳が遠いといふことが、ほかの人の歌に自分がうたふといふことに妨げがない事實において、多忠亮氏の場合も、あの堂々たるトリオやクワルテットのメムバーとして私は特異な興味を持たされてゐた。かうした樂手としての才能をもつてゐたばかりでなく、嵐滋のやうに大きな偶像を指揮することも出來たし、眞面目な研究的態度は、氏に作曲の力をも多分に與へた。がそれは死とゝもに永久に葬はれてしまつた。たゞ跡づけてのこされたレコードだけがいつまでもいつまでも謳ひつたへられるであらう——あのポピュラーな『待宵草』など……

（四、一二、五夜）

餘燼

『愚なる父上』と紙の上でおやぢをこき下してゐた大猫題者、今度おやぢが政友會の總裁となつてからは、安保爺に筆をそめず昨今勅額役として寧ろ振を始め、時には本官に代つてお客さんを呼んだりするさうだが、擬國守正氏のやうに政界へ飛び發せぬかと心配してゐるものもあれば、又けしかけてゐる御仁もあるとか。

◇

イギリスの文藝、社會評論雜誌エデンバラ・レヴユーは創刊以來百二十七年の歴史を持ちながら、『世の中のテンポが急激になつて年四回發行の雜誌ではとうてい間に合はない、そうかといつて月刊にするとよい原稿が集まらない』と振つた理由でこの程廢刊した。

◇

最近東京の女大生が『社會は再び原始時代にみられた母權時代を現出する』といふ假説の下に、『男性衰死』を大いにやつたら『風紀紊亂』といふ名で警察にひつぱられたが彼女ら平氣で『女性飯鬪異狀なし』

元祿・天明期の俳句に見出されるジアヅ的觀照（四）

難波敬舟

第五 女人の姿態

次ぎに女人の姿態をこの形式に見出しよう。

ひざ見する一とはだ舞に紅粉哉　中國

「あぶな繪」のやうに艷麗だ。この形性はジアヅ文藝には見られない。『源』の世界である。

山から〳〵く早き紅粉かな　蕪石

この時代にも職業少女は市非に溢ちてゐた。『かゝれて』に隱綴な感覺があつたか否か。

君佗て居見より蕭夏花の　園江

山犬の眼明は細めきかな　召波

職業婦人の嬌媚な姿態、私娼である。前者は日本風に花やかだが後者は歐洲大陸の文藝だ。たゞ捉へ方が俳句なのだ。ジアヅ的に獻つしてはじめて理解される句だ。山犬の姿態の把握は完全である。

枝ぶり日に〳〵向陽しや女郎花　芭蕉

時間的に把握した文藝はかういふ風に行くものらしい。芭蕉にはこの世界の總角的な表現は無理だつたかも知れぬ。生活は充分に見てある。しかしジアヅ的表現は困難で充分にその力量がみられる

米の家の鬮にをみなへし　芭蕉

人格の背景があり生活があるので、職業や感覺をこえた世界に生きてゐる。近代人はこれを斷定として見返す價値がある」——第五

第六 主張の文學

次ぎに句を舐談、訂正しない。そのまゝの形式で、現在行はれてゐる文藝論の適用するものをならべてみる。昭ち故人が現在の文學論をいかに巧みにとらへてゐるかを知りたい。今までに擧げた句にもかういふものは少くなかつたがそれらにジアヅの形式にかへることによつて價値の認められるものを見て來たのである。

菊作り汝は菊の奴かな　蕪村

初あらし女は頭の上にびけり　其角

芥川氏等によつて代表された多數の作家に通つたものがあるはずである。共円のはいかにもその人らしい。今のカフエー文學をこの人はとらへてゐる。」

物の秋死ぬ者は問はし人にあふ　明台

芭草に用の唄ぎ出す雨かな　捨石

正宗白鳥氏や牧顧社同人等の探偵文學であらう。

目立ちや持ちる日傭かな　沾蓮

天皇おさへる河豚哉　嵐蘭

これ等は自然主義的プロレタリア文學である。この程度の聯照がまだ聯想してゐる。前にも一寸ふれておいたが、召波の山犬、芭蕉の美濃の句等はこの部類に屬する（描き方は自のある刺を持つた表水魚）

味は鬼灯砂糖は土の山根の家　素堂

腹の中へ幽靈子の種子かな　蕪村

（その他入て猶雅性の表現と見た指定する句全部）

對照時代にゐた臨氏の諸藝家は禁はまだ表現態を表現してゐる

その他今まで擧げて來た句の九割……

發の調つた凝縮形式といふものをこれ等の句が語つてゐる。」

（以下略）

しかしこの一聯の句は現代までの生命はあつたが今後の保證はわれ〳〵には出來ない。次ぎの時代では前に並べた句と同じやうな形式に呪縛されなければなるまい。

第七 變態性慾の表現

次ぎの句は變態性慾の表現を見せてゐる。

枝ぶりとや明る野分かな　太祇

秋風や白木の弓に弦はらん　去來

白張の人しほ〳〵る祖師かな　伯白

菊の葉に〳〵ずと伝る祖師かな　嵐生

卯月の腹見上る庄や舟の上　其角

蕭條の山に對して夜さかな　嵐雪

腹めあ中へ蛙の子種子かな　蕪村

更めて一項を設けたのは全體をかういふ見方で見てゐることを主張したいからである。ジアヅ的な觀照、諧謔の最も自然な機縁である精神分析の主張の一つによつても解剖さるべきだが最後に殘る一つの鍵は變態性慾である。このことの說明を今しやうとしてゐるのではない。」

第八 結語

餘韻や餘やありとあらゆる鳴物を鳴らせ。飛役のジアヅを聽いて銃を鳴から。

吹田すれ茲もう角力かな　太祇

脱すてゝ角力になりし家中かな　太祇

むらく〳〵と起き花咲く卓の上　去來

尻拭て馬飛ばする花芒　嵐雪

物喰いて顏引き込りかな　芭蕉

お前もこの文章を張襲いてしまへ——昭和四、八、一八——

京日柳壇 九月號（三）

井上劍花坊選

オモニーの留守居のみとりしらみ哉　京師　園画寛史

妹の按腹いつしかゐねむりて　同

マクワ畑の聞鳳番な番がつき　同

藥罐がてきめんに來る晩の隠き　太田　山口雄心坊

片肌を入れて巡査へ恐れ入り　同

保險屋の口に乘つてる病みあがり　同

綿張提げへお國自慢を見せてあり　京城　上山風浪木

男踊へ女中お嘗り高くつぎり　同

男招にポスター赤い色で見せ　同

干物を串ごめ入れる役雨　同

詩話會

十二月八日（日曜日）午後七時

場所　錦町洞十九（銀曾洞停留場前醫屋の隣）　佐藤清先生宅

會費（不要）

京日詩壇投稿者に限る。參會者は詩一篇持參の事

學藝界

◇淺川伯教氏　二日東京日々樓上に於て『朝鮮陶器に就て』の講演をなし、三四の兩日に亘り丸の内日本クラブに於て『朝鮮陶器展覽會』を開催した

◇朝鮮陶器研究所　來る十三、十四、十五の三日間本社來賓閣において開催同人佐藤九三男、松田正雄、堅山坦、多田毅三の四氏に伊藤秋畝、加藤松林、土居彩畝、前田金七、池邊貞喜、村上英里、石黒嶺保、河野々卿、日吉守各氏の賛助出品がある筈

會報欄

春風會（京城、華頂報）

菖もみじ小降りがけ清水哉　雪子
山越に一と休みするいは清水　依愛
腰下す岩も冷つく清水哉　游鯉子
斷崖の松に月ある岩清水　白陰
かけ茶屋のおくに湧あり岩清水　九起
七五三は大樹に清水哉　草夢
洞窟の奥におとする清水哉　梅雪
清水くんで明も漸く峠越ゆ　都天子
新竹の丸菰へて汗る清水哉　皆夢
細くとも我命なり岩清水　羽崎
注連張て松の木影の岩清水　飛骨
岩に文字苔にかくれた清水哉　子待
松風の底に音あり岩清水　麗陵
神垣や心もすみて岩清水　不老
鯉飛んで碧潭に入る清水哉　擬雪
注連張る杉の世にわく清水哉　春霞
佗ひとつ浮かべて見る清水哉　泉翠

石城吟社（京城、錦村報）

秋祭社頭に菊の霜りけり　亭陽
秋祭の子供罘けり秋祭　周山
秋祭街のどよめき聞く夜哉　蝸村
燈明に人のぬくみよ秋祭　幸女
新なる袖の林根や秋祭　保堂
秋祭りに化粧させぬ家の妻　蘇坊
秋祭り人に押されて歩き居　葉庵
山に響く神樂の笛や秋祭　蘇庵

青津石楠會（多城報）

落葉焚く圍りに寡き山家哉　南窓
落葉嗅ぐ畑や東午さがり　刀寸
時雨るゝ女うらずたか落葉の中　苔骨
山鳥の日に賜見えし落葉哉　氷月
落葉沸く耳の盆は冊きかも　多城

京城石楠偶會（鶴仙居）

返り花明の雨が光りたり　信子
我もふとさみしき思ひ返り花　狐南
砂に疲れて潮風あびぬ返花　京二
鳥館の手入返り花見付たり　丈雪
返り花睡などなめられて　鶴仙

映画俳優人氣大番附

文藝倶樂部新年附錄

阪東妻三郎　大河内傳次郎　栗島澄子　岡田時彥　市川百々之助　夏川靜江　林長二郎

東西の横綱は果して誰か？

日本映畫俳優の總出動!!　各俳優の月給、年齢、寫眞、趣味、嗜好まで入れた戸籍謄本のやうな正確な大番附!!　何度見てもあきない面白い〳〵大番附です!!

【第二附錄】開運大銅貨占ひ

當世花形亭主女房孝行譚

○細君に頭の上らぬ譯？……鈴木傳明の卷
○惚れ拔いた妓の据膳さへも食はぬ男……新井淳の卷
○實は見る眼も辛い女房孝行……牛原虛彥の卷
○彼の熱愛ぶりの度こそ？……岡田時彥の卷
○初めて女房を呼び捨にする……栗島澄子の卷
○喧嘩に家出したら百圓のお小使……英百合子の卷
○彼女ならばこそ數萬圓の工面……五月信子の卷
○ロケーションの出張中にさへお百度通ひ……東栗子の卷

美女倖話　天王寺小町……細谷茂傳次
探偵小說　島の娘……渡邊溫
江戸巷談　捕物煎餅火事……香好弘一
悲戀　指環……奥村みさ子
哀情　あやかし雨……天童雲城

芝居と活動（美麗色刷大繪卷物語）

濡れ場殺し場

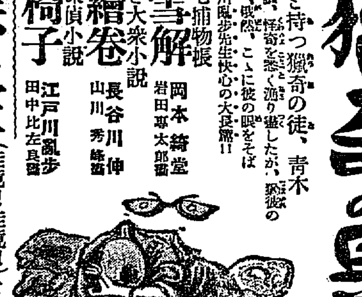
○切られおとみ　○お七吉三　○お夏狂亂
○八ツ橋殺し　○カルメン　○椿姫
○カチューシャ　○湯殿の長兵衛　○縮屋新助
○お祭佐七　○三人吉三　○鳥邊山心中

新版 大岡政談 魔像　林不忘

お正月早々の殿中に生首が投げ込まれた!!　惡の勝利者となりながら、實女も顧ず神尾喬之助は凄惨の旅に出たと思ひきや職人姿でひよつくり再度江戸に現れた。

怪奇大探偵 獵奇の果　江戸川亂歩

時と金とを飽くほど持つ獵奇の徒、青木愛之助!!　彼は世の不思議、怪奇を悉く漁り盡したが、猶彼の獵奇心は滿足しなかつた。が、偶然、こゝに彼の眼をそばだてた事件が起つた!!　江戸川亂歩先生快心の大長篇!!



名作選集 新版

◇春の雪解　お馴染の半七捕物帳　岡本綺堂　岩田専太郎畫
◇地獄繪卷　評判益々高き大衆小說　長谷川伸　山川秀峰畫
◇人間椅子　御存知怪奇探偵小說　江戸川亂歩　田中比左良畫

長篇小說　春秋隱れ笠　吉川英治（佳境!!佳境!!　興味愈々深く大長篇）
新載長篇　北極光　戸川貞雄（男、女、男女、眼まぐるしき事件）
捕物綺譚　まごと狂女　國枝史郎（名與力!!　十三碑功名手柄譚）

右は内容のホンの一端!!　此他面白い名篇傑作澤山!!

文藝倶樂部新年號

二大附錄つき◎定價五十錢（送料三錢）◇東京市小石川　博文館（振替東京二四〇）

驚くべきこの事實!!

冬も着物が一枚違ふ程の温かさ
身体を心から溫めて抵抗力を増す

かぜねつ
婦人冷込みに

純和漢藥

家庭藥として推奬される

和漢藥 守妙

複雜なる處方と的確なる藥効

洋藥は適量を誤る時は大害あり往々中毒の危險があります守妙は和漢藥中の高貴藥を數十種合せたものでその各藥種の作用が相依り相助けて全身的に効果を現します、しかも如何なる体質にも絶對に中毒の恐れはありません家庭藥として安全第一です特にお寒さの折冷症の御婦人方の御常用をお勸め致します

特に守妙を急いで服む必要の時は

ぞつと寒氣を感じた時
急に發熱した時
足腰の冷込を感じた時
頭痛、眩暈、逆上する時
惡寒の出る時
婦人冷込から起る諸病
鼻風邪にて水鼻液出る時
何となく風邪心地する時

定價
一日分　二十錢
三日分　五十錢
七日分　一圓
十五日分　二圓

賣丹本舗　守田治兵衛
本店　東京市下谷區池之端仲町　振替東京二九八五番
支店　大阪市東區平野町一丁目　振替大阪五七七三九番

◎全國各藥店にて販賣す

料亭からカフェへ
忘年會への面白い現れ
花街淨化の聲も手傳つて
宴會月にこの青息

歳晩風に吹き捲くられる昭和十四年の師走——泣いても笑つてもこの年を忘れやうがための忘年會今年の會費の調べをやつて見る。例年十一月末頃から十二月初旬、中旬にかけてはひつ切りなしに忘年會の申込みに

忙殺　されてゐる料亭方面も今年は何となく火の消えたやうで歳晩風の上に本町署の花柳淨化の聲に脅かされて十一月末までに十二月十日頃までに月末までの申込をうけて廻り食ひをしてゐたものが十二月も一週間になるにこゝ旭町新町本町邊の大小料亭にはトンと申込はない、それでゐて料亭側では料亭の他の中ゆゑ、出來るだけの勉強ぶりまづ千代本についてその献立を見ると七八圓からゝ成になつて十五圓位それで料理は七、八品から十一品位突き出し、おさしみ、吸物、焼き物口取、焼き出し、お茶碗、酢の物、煮物、果物にお酒が三本位、これに藝者といつた處、段々値の張るにつれて藝者の數が殖えるさうだ處がこゝに一般的に現れた新らしい傾向は

緊縮　の世の中と兎角好はうるさいものなので大仰な料亭での忘年會が敬遠すたつて來た反面實際的安價な方面が大流行、花月食堂、松葉亭食堂、江戸川等の簡單な處からさては丸ビル、ホワイト・ランチ、野木食堂といつた洋食店への申込が殺到してゐる有樣であることゝらではせいぜい金をかけても二三圓處からうんと張り込んで四五圓位が止り、しかも大仰な料亭で出る料理とさして變らぬ勉強ぶりでなりふりよりか實際的に——といつた形、そこでその献立を調べて見ると花月食堂で一圓から二圓五十錢處でお酒三本、おさしみ、焼物、吸物、煮き出し、混ぜ物、御飯、おしん香、一寸大料亭の献立と違はぬではないか。大きな洋食店の方に移つてカフェー丸ビルについてたゞせばこれ又大繁昌ですでに十人から廿人位の申込は

幾組　も引受けてゐるそこでこの献立が幼稚な料理次第でどうでもなるがお酒三本スープ、肉物、鳥、コール物、果物、ケーキ、コーヒの七品で二圓位からもう三品位つけて五圓位まで、勿論忘年會とて女給さんがお酌をしてくれるそうである、まあ歳晩風にふきまくられる昭和十四年の忘年會に現れた新相ザット右の通り

除隊兵全部に就職の斡旋
憂き目は見せたくないと
軍司令部が奔走

せちからい世の中ではあるが、心身共に健全に營門を出た純真な若人だけには職業にありつけぬ憂目を見せたくないと、朝鮮軍司令部では各部隊司令部、各部隊で除隊兵の就職斡旋に力を入れてゐるが、六日までの調査によると、歩兵第七十九聯隊、騎兵第廿八聯隊、馬山重砲兵大隊、工兵第廿大隊および飛行第六聯隊の除隊兵八百余名のうち、入營前の職業に復歸しうる者が大部分を占めて七割七分余の六百四十余名、また入營前の職業には復歸できないが除隊前すでに就職口が決定した者が四分七厘の約四十名、入營のため失業し除隊後就職口をさがさねばならぬ氣の毒な人が六分餘の五十八人、本人自ら入營前の職業を變更するためまだ就職口が決定しない者が七分八厘の六十余名、師團で周旋した結果就職し得た者四名、師團その他で周旋して就職させた者廿五名で、なほ師團司令部で成案の斡旋その他に周旋して年内には除隊兵全部に職を與へてやりたいと奔走してゐる

大繁盛の職業紹介所

京城府營職業紹介所十一月中の求人數は内地人男卅八人、女百七八、朝鮮人男二百四十五人、女五百五十人合計内地人百四十五人、朝鮮人七百五十八人を示し求職者内地人男百七八、女六十八人、朝鮮人三百七十六人、女三百七十五人合計内地人百七十五人朝鮮人七百五十一人の増加した數字を示してゐるがこの就職成績は内地人男十六人女廿八人計四十四人、朝鮮人男卅三人女二百人計三百廿三人合計三百六十七人の好成績である

首魁崔養玉に十年の求刑
金は八年、李は五年
自動車強盜の公判

【平壤】夕陽戰慄の如く寧川街道三人組ピストル強盜、崔養玉、金正運、李鐘九、の公判は、六日午後二時

再開　引つづき事實審理が續行されたが、筆頭の崔養玉の取調べは打ち切り、次ぎに金正運の取調べに入り一時間足らずの間に審理を終了、最後に、自動車運轉手李鐘九の審理に入つたがこれは單なる、利用價値のみの被告であるため、共犯關係のみに對する審理にて簡單にかたづけられ、午後三時、三人の審理を終了した、中野檢事より別項の如き理由により崔養玉に懲役十年金正運に同八年李鐘九に同五年の各求刑がありのち各辯護士の辯論一時間半にて、末廣裁判長より來る十三日

判決　する旨い渡し午後五時閉廷した

檢事の論告

午後三時久方振に公判廷に立つた中野檢事は罪状なる口調で大要左の如き峻烈極まる論告を約卅分にわたつて試みた　崔養玉、金正運は共に鳴岡長安某の勸誘に從ひその主義を知つて右團員になつた、これは治安維持法に觸れる。小生調べに押入つた、平北での強盜及び計畫的の兇行強盜自動車強盜、「寧川街道」事件は明に強盜及び郵便法違反、である、安東縣より新義州に官憲の許可なく移入したピストル三挺彈丸二十數發は銃砲火藥法違反である。崔養玉は今回の犯罪主謀者であること、を強調して、しかも、大正八年に制令違反で懲役七年の判決を受けたことあるもので主謀者として懲役十年を、金正運に對しては同八年を更に、李鐘九に對しては強盜の所爲にない前に自動車を運轉したに過ぎぬと言ふがしかしこの重大なるものとして強盜及び郵便法違反として懲役五年を科するが至當である

弘法大師の新祠　料亭

京喜久の主人佐藤勝太氏の長男博（九）君が去る四日大正館の階上から墜落して重傷を負ひ當時到底助かるまいといはれてゐたが、石村弘法大師の信仰によつて全快した御禮の意味で、同氏所有の富平農場に祠を建て、來る八日約二百名の官民知人を招待、盛大な落成式と火渡りの式を行ひ、餘興映畫、模擬店を開く、さうである

恐ろしい放火魔
大同署に逮捕さる

【平壤特電】平壤府西城里、金雪珠（二〇）は五日午後八時頃府内に當る大同郡大寶面反川里金先珠方へ放火して全焼せしめた外同族がやくざもので相手にせぬを憤慨し前後四回にわたり親戚の家屋に放火全焼せしめた兇悪犯人で大同署に逮捕された

坂本テル女の家庭（圓内は岩野呉服店主人）

山下氏らの幹部の檢束頻り
東京市電爭議に
輿論は贊否半々

【東京電話】山下市電從業員部長は六日午前四時頃愛宕署に檢束されたが、その他の幹部も取調べを理由として續々檢束されるので幹部はいづれも行方を晦め移動指揮をやつて居る、一方當局では爭議を認めはしないと聲明しつゝ、罷業運動は職場放棄と稱して居るなほ一般の市民の輿論は減俸の緩和問題の際の態度の行動もあり不便は感じつゝも贊否半々である、因に市會幹部協議會は六日午後一時より開會のはずであつたが各派の足並揃はずお流れとなり開會時日今の處未定である

檢束者六十名
九名は既に釋放さる

【東京電話】東京市電爭議に關する警視廳の取締は嚴重に行はれてゐるが六日午後三時までの檢束者は六十名に達し市電より首謀者と目されて檢束されたものは山下第一部長外九名である

憲兵隊が繰出す
市電罷業の彈壓振り

【東京電話】東京憲兵隊長岩佐大佐は六日午前九時東京市電氣局に宜長を訪問し從業員罷業につき懇談を申出で協議の結果總罷業の意見に一任づゝの憲兵をのり込ませて就業者を説得するといふ前例なき處置方針に決定した

爭議決行の僞電

【東京電話】東京市電今朝の爭議決行の指令は本部より發せられたものでなく僞電たることが判明したので憲兵隊でも何者かが陰に策動を圖るものとし僞電犯人の檢擧に努めてゐる

降旗氏を繞つて
更に新疑獄展開
大橋新太郎氏の召喚は
單に參考人として

【東京電話】大橋新太郎氏は石炭問題の取調べを受けて居るが事件の内容は大宮鑛業所に關し參考訊問を行つたものであるが、降旗元太郎氏も同社に關して收容されたものらしく新疑獄が展開される模樣で同社監査役植村澄三郎、取締役植村家治兩氏も召喚取調べを受けた

兩重役も召喚

【東京電話】東京大宮鑛業監査役植村澄三郎、同取締役植村家治兩氏は六日午前十時東京檢事局に召喚され石郷岡、黒田兩檢事の取調べを受けたが右は降旗氏が越後以外に昨年四月創設の石炭鑛の認可運動をなしたにからまる瀆職嫌疑につき參考人として召喚されたもので夕刻歸宅を許されたが、事件に相當重要な關係を有し今後も召喚を見る模樣である

鐵窓の人々に保釋の便り
お正月を控へて
豫審を急ぐ各疑獄

【東京電話】私鐵、賣勳、疑獄等の疑獄で夥しい名士が收容されてゐるが、この中公職にある疑獄關係者は小川平吉、佐竹三吾、森恪、降旗元太郎、堤清六、窪田甚の三の被告五氏は一應は議員に豫審が日に確定すべき資格喪失を有してゐるので、これ等の未決拘留收容者には特に豫審を急ぐ事となり小原次官より田中刑事局長に正式通告された　十五日から二十日頃までには公職にある疑獄關係者は全部保釋出所となるであらう、これと共に天岡直嘉、前田、澤田、長田、久原の美、前原の元代議士數名重役の面々も獄中にてお正月をさせてはとの同情論で豫審判事も出來る限り日曜祭日を返上して審理を急いでゐるので廿四、五日頃には保釋出所を許されるはずである、日増しに加はる寒氣に火の氣一つない冷い獄窓の下に生活に身も心も寂しく鐵窓の下に健康を破壞した者も相當多いといはれてゐる

井上虎氏の
襲爵御裁可

【東京電話】故子爵井上良馨氏の遺言にそむいて宮内省宗秩寮に襲爵願ひを屆出でた嗣子虎氏は蓋何故で旬余にわたり議論の結果、子爵の襲爵辭退の遺言は民法上ことに違し華族令には抵觸せぬと決定、七日中に襲爵の御裁可あることゝなつた

例年と大差ない
遞信局のボーナス

ボーナス時季になつたので遞信局でもそれぞれ俸給を繰め本府の指令を待つてゐる處であるが例年ならすでに本府の指令が到達してゐる頃であるが今年は何等の通知もない如何に緊縮と聯年でもボーナスだけは大體例年と大差なきことを豫想され判任最高二十五割、奏任官二十二割程度までは出しうるのではないかといはれてゐる、しかし最高は非常時まで出し得るかどうかは蓋をあけて見なければわからぬが、本府と聯絡もあり非常時のことでもあり、現業員には四回にわけて賞與金を支出してゐるので、現業員は年末のボーナスも割合に少い譯である

地味だが王者の絶對
近く第四豫審の新設で
段々成下る佐々木書記

豫審の人々

の興行つゝがなく豫審判事が登場つて來た——私鐵疑獄事件の立役者、賣勳事件の肖南判事、ニコラス獄太子事件を擔當したいはゆる幽南事件の土井判事、あるひは肝腎事件の瀧川判事とセンセイショナルな事件の裏話は常に豫審の帳の陰で豫審判事の豫斷を借りては居たが、疑獄オペラのプリマドンナ豫審判事が揃つて來たのはこの疑獄時代を彩りぬく人氣者である、しかし疑獄洪水の一九二九年ほど豫審判事の存在を明確に世人に認識させた年はない。全く豫審判事は——從つて京城においても——中央には豫審判事は、宮木判事、五井判事の二人で只今この疑獄時代を彩りぬく人氣者である

◇

だが豫審判事は司法官の有機的組織の上では甚だ裏面的存在をもつ存在だ。『秘密審理』といふ豫審の殼殿は、一面被告人の名譽を庇護すると同時に、豫審判事の地位を社會的に重要なものとする點はやむを得ない。社會人が描く司法官なる映像に、まづ豫審判事の華やかな映像は花火線香の如く花々しき豫審の活躍である。然らずんば豫審の判官の『ラシャ』である

しかし豫審判事の性格は全くこれらと縁を一にしない。彼らには、そのやうな外面的活躍は一切めぐまれてないが、法を楯に豫審廷を命運裁斷する王者の態度がある。勿論『お裁きの御意勢』もないではないが、豫審者としての絶快さははるかながら縱横に快きの比ではない。政治上の選手も、上司の命令も、主義も、宗教も、豫審廷のドアはそれら外部のものとは一切に無縁である。そうして豫審への段階に立つて被告保護の大切な判官を誰もが犯さないのが豫審判事の向きの英雄だとすれば、豫審判事は刑法へのデッサンに余念なき藝術家であるといへやう

◇

豫審法『刑問禁術……讃辭出來せぬ』文句は古いが、愉快なる疑問の一般的の下にこそ豫審の正常な豫審判事にも、判門廠官にも一世の眞價を定めることゝなつてゐる。さうた如何なる權力にも屈しない一面に給仕に向つて『お茶を差し上げたかい』と呼びかけて丸で被告人をお客樣扱ひにするのが豫審判事である。この點柔が、このうま味が大衆にとつては一寸理解し難いのも無理はない

◇

ずらりとならんだ廿一の豫審廷。これでも手が足りないといふのは東京地方裁判所の話。さすがは疑獄王の都である。京城地方法院には豫審廷三つ。年約百五十件の疑獄事件を處理しつゝある。それも一概に一人とは限らない五六十人を珠子つなぎにした大ものも少くない。疑獄の私的裁判は必然的に化、疑獄の傾向は一割二分の豫審事件の増加となり、今でさへ東京豫審廷は慢性的な疑獄事を授ふ京城の豫審廷は、當然にその擴張が要望されて、第四豫審廷の設置計畫はすでに當局者の腹にちやんとたゝみ込まれてある

◇

京城における豫審廷の増加は、豫審の名物男佐々木書記にダンゼン因果關係が生じて來る。佐々木書記は豫審廷開廷十六年、第一豫審のいまの第三豫審の豫審判事と、第二豫審の宮本判事、五井判事に毎に段々成り下つて永年鍛えた豫審のコツを若い判事に奉仕して一人前の人々にしてあげるといふ、いはば豫審のパイロットであり生字引である。生れんとする第四豫審廷よ、わが古參書記よ（豫審は佐々木書記）

讀者週間の
娯樂殿堂開く
きのふ第一日は
記録破りの盛況

評判の映畫『馳入馬賊』以下二本立をおさめた大正館の娯樂殿堂、讀者週間の第一日目六日の

晝間　は午前十一時半頃から熱狂せるファンは時半過ぎ階上、階下ともに滿員の記録破りの盛況さである。映畫はまづ柳咲子主演『新婚十八番集』にはじまつた、可憐の咲子が斯界の尖端に興くレビュー樣式をとり入れる映畫はまづ滿足をファンにあたへた、次いで田中絹代、藤田稔の共演になる『大學は出たけれど』は全篇にみなぎる輕い微笑と終始愉快なる氣分を滿堂にみたした、やがてファンの期待する『馳入馬賊』となり萬雷の如き拍手、ワツトあがる熱狂とファンの叫び、待つこと久しくして、われらのスクリーンに投じた月形龍之介の勇姿はまさに興奮の最高潮に達してゐる、映畫の

進展　につれ、水をうつた如く靜けさにかへり鬼才、伊藤大輔ふるふ腕のさへと、各俳優の熱演はファンの心をつかみ午後四時半、未曾有の盛況に晝間を終つた、夜は午後六時半から

夫に去られて
極寒に泣く母子
歸國の旅費集めに
小松署長がまづ醵金

千代八千代を契つた夫君は何れとも無く去つて行つた——八才を頭に三人の兒を抱えた彼の女はヒシと迫る寒さと飢えに惱むか三人の子を殺して自分も果てやうとしたが、けれど無心な子供の寢姿を見ては殺められず泣く泣く生命の手綱に縋られて來た、その時——温い人の情は漸くこの氣の毒な家庭に注がれてこゝによみがへらうとしてゐる。

◇

京城府本町四丁目、若草町一四三番地居住坂本勝兵衛の妻テル子（三一）は昨年まで夫と共に京城府の某所である料亭の女とねんごろになり家庭に返りあり三人の子あることを忘れていづれとも無くへ逃げてしまつた。殘されたテル子は女の細腕しかも美惠子（九）信男（七）光子（五）いづれも假名の三人の子をかゝへて路頭に迷ふ許りどうして口を糊して行くことが出來やう、家にあるありとあらゆるものを或は質屋へ、古物屋へと金に換へ、今日は歸るか明日は便りがあるかとそれこそほんとに首を長くして待つたのである

◇

然るに若々しい女を得て新しい家庭を顧みる余裕がどうしてこの薄情者に起らう、九月が十月になり十月が十一月になつても夫は歸つてはくれぬ、近頃ではほんとに文字通りの赤貧洗ふの有樣、長女美惠子は小學校へ通つてゐるが、學校の帳簿も持つて行けぬ、家では僅かばかりの米におかゆをすゝり、この寒夜に火鉢につぐ炭さへない、一枚のせんべい布團に四人が抱いて寢るといふ有樣、このみじめな樣は見るに見兼ねたのが本町三丁目の岩野呉服店の主人『たとへどんなことがあらうとこの樣を見てをられようか』と涙を流して朝夕のたべ物には不自由させぬやうにと世話のかぎりをつくし來た、しかしいつまでかうしてゐても仕方がない思ひつめたテル女は郷里元へ歸國旅費の算段方をいつてやつた、三日をはつても五日たつても何等の沙汰がない

◇

こゝまで來た時岩野さんはもうこうなれば六日小松本町署長を訪問して『見るに見兼ねます、私の力で歸國旅費を捻めますからせめてことだけのお許しを』と願ひ出た小松署長もこの憐れなる家庭に岩野さんの奇特な申出でに早速金一封を贈つて眞つ先にこの企てに賛し稻田代署長はじめ次ぎ次ぎと同情が集まつてゐる

見るに見兼ねて
岩野さん語る

右について岩野さんはこのことが外に洩れたことを恥ぢらふやうな面持で語る　餘りに氣の毒な家庭なので色々と世話して來ました、處が近頃では段々つまつて三度の食事が二度に二度の食事が一度になるといふ有樣です、押し迫る歳晩の季、ヒシヒシと喚び寄る極寒これが見て居られませうか、何とか世間の同情によつてこの氣の毒な家庭を救つてやりたいと發起した次第です

アナウンス

官吏の食堂は食費の引下げをしてゐるが▲銀行郵便局所はさすがにブル連の集まり場所とて、一食の午餐が二圓、木曜日の午餐が一圓五十錢、銀行所では一圓五十錢に一圓廿錢くが所から惠まれてゐたが▲今度ロータリー・クラブ一圓卅錢と五十錢の二種とした、一圓五十錢を節約して一圓二十錢に引下げする譯ださうだ

海軍省指定工場
サンベルト
阪東式調帶合資會社
神戸市明和通二丁目
THE SUN BELT
滿鮮代理店　京城府　サンエス調帶營業所

專賣特許　ハクキンシ懷爐

皮黴科　淋疾　黴毒　生殖器障害
京城明治町一丁目
塩井醫院
電本三〇九〇

新ホード新シボレ及ビック等各車練習○通信教授有○學則無代進呈
公認東京　エンパイヤ自動車學校
陸軍中將坂内信水閣下指導　東京市外大井町（京濱電鐵鮫洲驛前）

地圖兵書軍需品　龍山練兵町　川林又七出張店　電龍五一二　振京五〇〇

遞信局　購買　入札　詳細ハ十二月七日ノ本府官報ニ在リ

京日案内　五號活字十五字詰五行一回　五拾錢

肺病ロクマクカタル　肺セ　山口市後河原一六八　梓泉堂

筆生　男女經驗不問他に類例なき安全收入確實自宅執筆　帝國文藝クラブ　大阪市港區

東カゼ藥

高級　NSK　鳳梨　スムースパイン
『一度召上つたら到底忘れられぬ其處に否み得ないスムースパインの眞價がある!! 益々御愛用を乞ふ』
SMOOTH PINE PINEAPPLE

頭痛にノーシン

賛化病院　京城府明治町一丁目　電本局二四一〇
醫學博士　古城憲治
内科　小兒科　入院隨意　普通病室及傳染病室

毛皮　ほねつぎ　恩給　ラヂオ　貸室　恩給　融通　古着　割引　看護婦　ぢ疾　内地人　齒科

運命の浪【183】

遠藤柳雨作　多田毅三畫

悲劇への路（一）

八千代は喜びと、不安と様悶せる態度で自分の席に着くと、一座の女達たちは、彼の女をとり圍んで坐つた。

『どうつてかうつて、意外なことばかりなのでねえ』

八千代はいま井村と會つて話をしたことの一切を一同の前で話した。無論なぞの五千圓の一件もつけ加へたのだつた。

『五千圓？』

『まア』

一座には意外と不安との、空氣が滿ち、流れた。

八千代は東京における、榮江と阿久澤との以前の關係を知つて居たので、二人だけ廊下へ立つて行つてその話をすると、榮江はいままで、人知れず心の底に潜行して居た、燃ゆるやうな復しう心が、堅い堅い塊となつて、心のとびらに燒きついた。然しそこはさすがに榮江である、その心の底の意思のみなぎりを、八千代にみせないやうに、素知らぬ顏を裝つたのであつた。

『まア、とう／＼、東京をくひつめてしまつたのねえ』

といつて榮江は、一面に深い快感を覺ゆると共に、一面に冷嘲を味はつた。五千圓が不正の金であらうが、八千代がそれを使はうが使ふまいが、もうそんなことは彼女にとつて問題ではなかつた。東京で阿久澤が與し得なかつた、父佐平に對する怨恨を、異郷の到來、彼れに報いさうと、深く深く決心した。

『上海ホテルですねえ』

『え、さう』

『榮江さん、出かける氣？』

『いゝえ』

と、彼の女はその場を濁したが、場合によると出かけまじき樣子もあつた。一時彼女は精神的に彼に復しうする考へだつたのだが、いまはもうそんな、消極的な考へは、彼の女の心から消えうせて居た。

『ピストルで彼の生命をとらう』と、榮江は自分の心にさゝやいた。

「一層徹底的の復しうにかぎる。相手が紳士の面をかぶつた悪漢だから凶器をもつて向うより仕方がない。またそれが適當な手段だ」

廊下の自分の側から、八千代が立ち去つた後、彼の女は一人壁に寄つて、月を仰ぎながらさう考へた。考へたのぢやアない、固い決心をしたのだ。同時に彼の女の心に深い不安を感じたのは、阿久澤が上海が自分のために危險區域となつて、上海から他の地點へ立去ることであつた。折角同じ地點で一緒になつたものを、他ににげられては一大事だと考へた。

『さうだわ、色じかけで、上海から立去らないやうにしなけりやア」

さう刹那に考へたので、榮江は直ぐに八千代の側へ來て

『私、その井村といふ方に會つて私からもお禮が申し上げたいの、どうでせう、直ぐに行つたら會へるでせうか』

八千代はそんなことゝは氣がつかなかつた。

『え、會へるでせう、でも今はなしたやうな事情なんだから、いつどこへ行つてしまふか分らないわ』

さう聞くとなほのこと、一刻も猶豫できないと思つて、直ぐさま榮江は飛びだした。八千代を初め一同は、榮江の異様な態度に眼をみはつた。

十字街

◇府協議員候補非買同盟一氏の落選御禮　立候補もだが、[illegible]所二氏が西大門署に落選同僚の立候補をたてたついでに自宅で祝賀會を[illegible]。◇[illegible]の自治論り、豪末で腹はつて[illegible]た。落選慨嘆がすたれて、落選に[illegible]

よるものが多くなつて來た[illegible]の御禮といへば、背廣氏の新[illegible]は非常なもので、[illegible]の如きは、今なほ町に第六支店を新設

燻製鮭の食べ方

◇…燻製法に二種
◇…食べ方は種々

燻製鮭には冷燻法と温燻法の二種あります。冷燻の方は華氏六十度内外で夜間丈け燻煙し、晝間は風乾しにし、約三週間かけて仕上げたもので大變長保ちがします。

温燻は華氏七十度乃至百二十度で短いものは三時間、長くは三四日位かけて仕上げたものですこれは美味しいが、冷燻程長保ちがしません。燻製鮭の食べ方の例として、次に二三の方法を記しませう。先づ極めて簡單な方法としては一尾の儘、或ひは一尾を三切位とし火で焦げない程度に炙へて食べるのです、又前の様に切つたものをフライパンを用ひ、バタにていためて用ひます、その際胡椒をかけると一層美味しくなります。次に米國式の食べ方としては、熱湯中に數分間入れて、肉の澁み氣味になるまで浸しておき温いのを食べます

その際はバタを塗ると美味しさが加はります、次にオリーブ油に二三分間浸し火で炙つて食べる方法もあります、一尾を三つ切り位としハムエッグスの様に調理して食べるのは英國の上流家庭或ひはレストラント等にて行はれて居ります、或ひは肉のみを取り擂鉢にて粉碎しバタを加へていためたものに馬鈴薯を裏漉したものを加へてすりまぜ、胡椒、砂糖と加へて味をつけトーストとし、パンに挾んでサンドウイッチを拵へるのも特殊の風味があります。燻製の裝置があれば、家庭でも燻製鮭が出來ますが、上手に出來たものを求めて來て右の様に調理するが良いのであります

讀者らん

▲大和町の御住人様に、御忠告深謝致しますと共に御迷惑をお掛致しました事は誠に申譯がありません。車掌と運轉手、車の方向を御知らせ下さいましたので監督、車掌所長が確に判りましたので將來を深く戒めて置きました、車も飛乘り飛降りを附して乘客人を運轉の中で[illegible]いて逃げもかくれも出來ません、惡い習慣は明日をも待たず直したいと存じます。で、夫だから飛乘りするぞでは路面電車の運轉が圓滑なくなります、危險な運行、これが飛乘物の最後の惨劇の様になつて來ました。過失のない様に不都合な行爲や行届かぬ點は將來共嚴重にも御指導御鞭撻を願はしく、幾重にも御禮致します（電車課長）▲

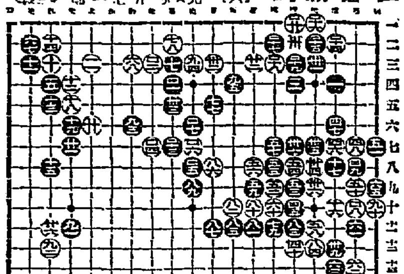
三日午後露地一反お忘れの方は取りにお出でくださいませ、お預かりして御座いますから（日韓雜貨）▲去る三日午後七時から同四十分までの間に朝鮮山から南大門に至る電車中で蛇扇子（銀細工皮緞の骨もの）を入れました赤革製扇子袋を落しました、若し御氣つきの方がありましたら本紙らん御一報下さいませんかお願ひ致します（龍山澤田）▲内地の鐵道寢臺値下げに對し朝鮮鐵道局の御意見によれば現在二十錢寢臺の需要なく四十錢のもの許り賣れるから、朝鮮にては値下げの余地なしとの御説ですが、余りに皮相の觀察にて御目出たいにも程があると思ひます。二十錢の寢臺が賣れぬのは賣らぬから賣れぬので、どこの驛でも四十錢の寢臺より持つて出ぬから仕方なく旅客は高い寢臺を買はされるのです、この頃の經濟に鑑み寢臺も下げ、下宿料も下げ一般物價が低下して來た時ですから、朝鮮も内地同様に三十錢に値下げすることの出來ぬ理屈はないと思ひます、お茶代も同です値上げ時は大正八九年頃の時で考へたことで時代を知らぬ愚策です（旅行狂）

出版界

▼年代文藝（十二月）往時の長崎における唐紅毛小唄（熊本正氏）隨筆海豚の秋（大塚牛步氏）扇港の點描（二木祥氏）その他（東京市本郷區駒町二築入社三十錢）
▼自然（十二月）詩話（東京市外千住町横戸米倉方自然詩社五十錢）
▼教育（十二月）教育時評（飛律加人氏）中等學校における修身教授振作（湯原元一氏）その他（東京市小石川區大塚窪町東京文理科大學内教育學會三十錢）
▲果物（十二月）東京市外中野町三七六一内外果實新報社二十五錢
▼心靈と人生（十二月）横濱市鶴見區東寺谷一六錢一心靈科學研究會二十錢
▼青年（十二月）共産黨事件批判（吉田路雄氏）謎の國ロシア（伊藤昭雄氏）その他（東京市四谷區日本青年館十錢）
▼廣島之友（十二月）廣島市段原町五四その社二十五錢
▼戰友（十二月）東京市牛込區原町三ノ八帝國在郷軍人會本部十錢
▼監察新報（十二月）安全會監號（東京市下谷區仲御徒町三ノ五九その社四十五錢）
▼木曜（十二月）俳諧（福岡市春吉遊通四ノ三四四木曜發行所廿五錢）
▼警醒（十一月）先進としての親鸞聖人（津田賢氏）その他（京城南山町三ノ三三眞宗大谷派本願寺京城別院文書傳道部十錢）

圍碁新局

（六）　先　瀬越　／　向井一男　（四）（四二）〔氏段〕



演藝案内

大正館　六日より掲尾を飾る特別大興行　假然人氣は此の光彩を放つ大映畫公開　松竹蒲田新映畫レヴュー映畫　師走に集る　大久保忠素監督　[illegible]
絢爛集　全卷
松竹蒲田特作　あやめ浴衣　[illegible]
[illegible]

東亞倶樂部　オールスターキャスト
新人斬馬劍　十二卷　[illegible]
大利根の殺陣　[illegible]

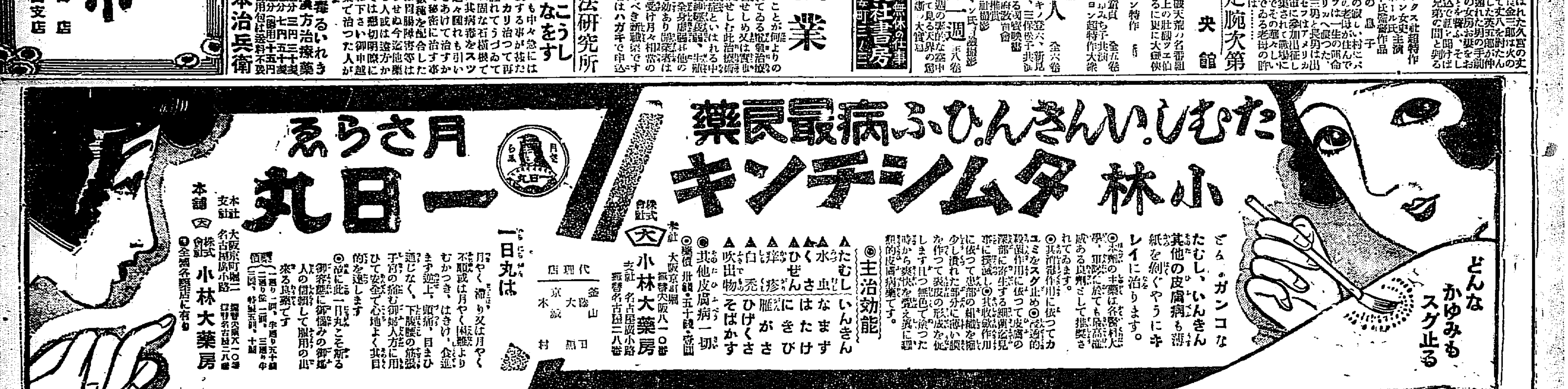
中央館　マキノキネマ
大潜紹男一疋腕次第　[illegible]
奴浪人　全六卷　[illegible]
空中世界一週　全八卷　[illegible]

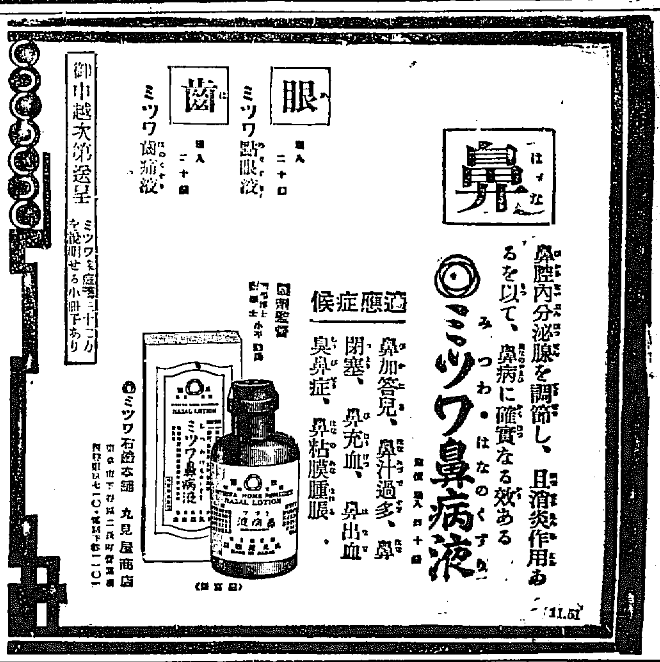
妍筆生募集　最近認可問はず自宅で執筆する收入確實年中無休の仕事　三友社書房

高級 有利新職業　求職者の福音　[illegible]　東京電氣療法研究所

よこねは切らずになをす　[illegible]　よこねかんそ治り難い慢性淋病梅毒るいれき頑固なる皮膚病の實驗漢方治療藥　家傳 結毒内掃丸　本家 山本治兵衛

宮内省御用達　**菊正宗**　京城 前田商店　釜山 本喜納釜山支店





朝鮮郵船

博多航路（博多行）
●咸北丸　十二月二日　西華各港經由博多行
●釜山丸　十二月一日　北鮮各港經由博多行
西湖津直通船連絡船　咸北丸
[illegible]

○仁川出帆（代理店國際通運支店）
東京行　長門山丸　十二月一六日
大阪行　芝浦丸　十二月一七日
長崎三角鹿兒島行　羅南丸　十二月一四日
木浦行　昌慶丸　十二月一一日
濟州行　[illegible]
大連行　[illegible]
釜山上海行　平安丸
[illegible]

○木浦出帆（代理店國際通運木浦出張所）
東京行　長門山丸
大阪行　芝浦丸
濟州島行　[illegible]
仁川行　[illegible]
釜山上海行　平安丸
[illegible]

○釜山出帆（取扱店大池回漕店）
[illegible]

○元山出帆（代理店國際通運支店）
[illegible]

右之外各港共臨時船ヲ配船致シ船舶ノ都合ニ依リ取扱ヲ變更スル事アリ

○日本郵船出帆
歐州行　諏訪丸
桑港行　淺間丸
濟州行　丹後丸
[illegible]

朝鮮汽船出帆廣告
○釜山出帆（扱店釜山本店）
[illegible]
京城南大門通り　朝鮮郵船株式會社　釜山支店・本店・仁川出張所・元山支店　[illegible]

仁川汽船出帆
●濟州行　直行、毎日出帆
●延安行　[illegible]
●仙峯行　[illegible]
●德島行　[illegible]
●唐津行　[illegible]
●舊禮行　[illegible]
●外浦行　[illegible]
●馬山行　[illegible]
各沿岸行帆船旅客荷物取扱　鐵道局貨物取扱
仁川府本町四丁目　仁川汽船株式會社